

## 学 会 発 表

## Titles of Speeches Scientific Meetings etc.

Takao HAYAKAWA : Regulating biotechnology products.-  
Comparability of biotechnology products and cell  
substrates.

10th International conference of drug regulatory  
authorities (ICDRA) (2002. 6)

早川堯夫 : バイオ創薬へのアプローチ

慶応義塾大学リサーチパークシンポジウム (2002. 12)

早川堯夫 : 医薬品製造とウイルス安全性確認の基本的考  
え方

第1回日本医薬品等ウイルス安全性研究会シンポジウム  
(2002. 12)

早川堯夫 : バイオロジクスフォーラムに期待するもの

第1回バイオロジクスフォーラム (2003. 2)

早川堯夫 : バイオ創薬におけるレギュラトリーサイエ  
ンスの新展開

日本薬学会123年会 (2003. 3)

早川堯夫 : バイオ医薬品の製法変更における諸問題

日本動物細胞工学会研究会 (2003. 4)

青柳伸男 : 我が国の生物学的同等性試験

平成14年度薬事衛生管理コース (2002. 5)

伊豆津健一 : 凍結乾燥によるタンパク質の構造変化と添  
加剤による安定化

低温生物工学会第48年会 (2002. 5)

N.Aoyagi : Requirements for New and Generic CR product  
in Japan

Controlled Release Society Workshop (2002. 7)

伊豆津健一, 青柳伸男, 小嶋茂雄 : 水溶液の凍結濃縮相  
における溶質混合性 - 凍結相分離現象とその制御 -

日本化学会コロイドおよび界面化学討論会 (2002. 9)

青柳伸男 : 薬局方試験法の国際調和の現状と将来展望

第39回全国薬事指導協議会 (2002. 10)

青柳伸男 : 日本の後発品の品質について

第3回医薬ビジランスセミナー (2002. 10)

Izutsu, K., Aoyagi, N., Kojima S. : Relationship between  
protein and excipient molecular weights and their  
miscibility in frozen solutions.

American Association of Pharmaceutical Scientists Annual  
Meeting (2002. 11)

青柳伸男, 香取典子, 伊豆津健一, 小嶋茂雄 : 溶出試験  
の変動要因 : ピーカー間の溶出速度の差

日本薬学会第123年会 (2002. 3)

伊豆津健一, 青柳伸男, 小嶋茂雄 : 凍結溶液中における  
溶質の分子量と混合性

日本薬学会第123年会 (2003. 3)

吉谷隆志, 香取典子, 鹿庭なほ子, 青柳伸男, 小澤正吾,  
小嶋茂雄, 長谷川隆一, 澤田純一 : パクリタキセル並び  
にその代謝物の同時定量法の開発

日本薬学会第123年会 (2003. 3)

青柳伸男 : 経口固形製剤の製法変更の生物学的同等性試  
験ガイドラインについて

製剤機械技術研究会平成15年度特別講演会 (2003. 4)

Aso, Y., Yoshioka, S. and Kojima S. : Prediction of protein  
release rate from cross-linked biodegradable hydrogel  
based on gel mesh size as determined by NMR relaxation  
time

29th Annual Meeting & Exposition of the Controlled  
Release Society (2002. 7)

Yoshioka, S., Tajima, S., Aso, Y., and Kojima, S. :  
Inactivation and aggregation of  $\beta$ -galactosidase in  
lyophilized formulation analyzed by Kohlraush-Williams-  
Watts equation.

American Association of Pharmaceutical Scientists,  
Annual Meeting, (2002. 11)

吉岡澄江, 阿曾幸男, 小嶋茂雄 : 凍結乾燥製剤中の高分  
子の $^1\text{H}$ について測定した $T_1$ および $T_{1\rho}$ の帰属と分子運  
動性の解析

第41回NMR討論会 (2002. 11)

阿曾幸男, 吉岡澄江, 小嶋茂雄 : ニフェジピンと水溶性  
高分子の分散状態に関する固体スピン拡散NMR解析

第41回NMR討論会 (2002. 11)

吉岡澄江 : ブラケットティングおよびマトリキシングによ  
る安定性試験の省力化

第12回固形製剤処方研究会 (2002. 11)

吉岡澄江, 阿曾幸男, 小嶋茂雄 : 非晶質医薬品の保存安  
定性を支配する分子運動性のNMR緩和による測定

日本薬学会第123年会 (2003. 3)

田島紳介\*, 吉岡澄江, 阿曾幸男, 小嶋茂雄, 牧野公子\*,  
大島広行\* : インスリン凍結乾燥製剤の保存安定性及び  
分子間相互作用の検討

日本薬学会第123年会 (2003. 3)

\*東京理科大

阿曾幸男, 吉岡澄江, 小嶋茂雄 : スピン - 格子緩和時間  
の平均化からみたニフェジピン - 水溶性高分子固体分散  
体の分散状態

日本薬学会第123年会(2003.3)

宮崎玉樹, 吉岡澄江, 阿曾幸男, 小嶋茂雄: **誘電緩和測定による水・高分子間の相互作用の検討**

日本薬学会第123年会(2003.3)

吉岡澄江, 阿曾幸男, 小嶋茂雄: **グルコース含有凍結乾燥剤のガラス転移温度の分子動力学法による推定**

日本薬学会第18年会(2003.4)

阿曾幸男, 吉岡澄江, 小嶋茂雄: **PVPとの固体分散体におけるニフェジピンの結晶化速度のAdam-Gibbs-Vogel式に基づく解析**

日本薬学会第18年会(2003.4)

坂本知昭, 檜山行雄, 森川 馨, 小嶋茂雄: **国立保健医療科学院及び国立医薬品食品衛生研究所によるGMP査察官を対象とした薬事衛生管理コースの紹介**

第39回全国衛生化学技術協議会年会(2002.10)

坂本知昭, 檜山行雄, 小嶋茂雄: **品質試験におけるデータ評価 その1**

日本薬学会第123年会(2003.3)

檜山行雄, 西畑利明<sup>\*1</sup>, 小山靖人<sup>\*2</sup>, 森川 馨, 只木晋一<sup>\*3</sup>: **厚生労働科学研究(H14-医薬-04)医薬品の品質保証システムのあり方**

日本薬学会第123年会(2003.3)

<sup>\*1</sup> 参天製薬

<sup>\*2</sup> 日本イーライリリー

<sup>\*3</sup> 埼玉県衛研

檜山行雄: **医薬品GMPにおける品質試験室管理**

第165回液体クロマトグラフィー研究懇談会(2003.3)

片山博仁<sup>\*1</sup>, 和田 力<sup>\*2</sup>, 小川昌幸<sup>\*2</sup>, 小山靖人<sup>\*1</sup>, 徳永雄二<sup>\*1</sup>, 檜山行雄, 森川 馨: **無菌換気回数とグレードBゾーン気流滞留域の清浄度回復能**

日本薬学会第123年会(2003.3)

<sup>\*1</sup> 藤沢薬品

<sup>\*2</sup> 大気社

小山靖人<sup>\*</sup>, 片山博仁<sup>\*</sup>, 徳永雄二<sup>\*</sup>, 檜山行雄, 森川馨: **無菌室の三次元気流解析によるワーストスポット推定**

日本薬学会第123年会(2003.3)

<sup>\*</sup> 藤沢薬品

鈴木倫典<sup>\*</sup>, 菊池弘和<sup>\*</sup>, 小林一三<sup>\*</sup>, 播磨 武<sup>\*</sup>, 檜山行雄, 森川 馨: **熱負荷によるガラスバイアルのフレックス発生に関する検討**

日本薬学会第123年会(2003.3)

<sup>\*</sup> ファイザー製薬

石井(渡部)明子, 内田恵理子, 水口裕之, 川崎ナナ, 川

西 徹, 早川堯夫: **プラスミンによる血小板形態変化の機構 - Ca<sup>2+</sup>依存性およびCa<sup>2+</sup>非依存性経路の存在 -**

第3回Pharmaco-Hematologyシンポジウム(2002.6)

日向須美子<sup>\*</sup>, 川崎ナナ, 日向昌司, 花輪嘉彦<sup>\*</sup>, 早川堯夫: **HGFにより誘導される細胞分散とc-Metのチロシンリン酸化に対する各種ガングリオシドの効果およびc-Metへの結合解析**

第61回日本癌学会総会(2002.10)

<sup>\*</sup> 北里研究所東洋医学総合研究所

川崎ナナ, 伊藤さつき, 袁 進, 太田美矢子, 石井明子, 川西 徹, 早川堯夫: **nanospray LC/ESI-MSによる糖タンパク質糖鎖の微量分析法の開発**

第75回日本生化学会大会(2002.10)

伊藤さつき, 川崎ナナ, 太田美矢子, 川西 徹, 早川堯夫: **nanospray LC/ESI-MS/MSを用いた微量糖タンパク質の構造解析**

第75回日本生化学会大会(2002.10)

原島 瑞<sup>\*</sup>, 新見伸吾, 長岡陽子<sup>\*</sup>, 関 泰一郎<sup>\*</sup>, 有賀豊彦<sup>\*</sup>, 早川堯夫: **初代培養肝細胞においてプロテアソーム特異的阻害剤であるラクタシステンはグルコシルコイド依存的なチロシニアミノトランスフェラーゼの誘導を阻害する**

第75回日本生化学会大会(2002.10)

<sup>\*</sup> 日本大学生物資源科学部

川西 徹, 柴山理恵, 河合 洋, 鈴木琢雄, 小林 哲, 早川堯夫, 田中 光<sup>\*1</sup>, 重信弘毅<sup>\*1</sup>, 大幡久之<sup>\*2</sup>, 百瀬和享<sup>\*2</sup>, 中村 竜<sup>\*3</sup>: **カルシウムの動きを追いかけるバイオイメージング学会公開講座(2002.10)**

<sup>\*1</sup> 東邦大学薬学部

<sup>\*2</sup> 昭和大学薬学部

<sup>\*3</sup> カールツアイス

柴山理恵, 河合 洋, 鈴木琢雄, 小林 哲, 川西 徹: **ミトコンドリア蛍光プローブの光と影**

第11回日本バイオイメージング学会学術集会(2002.11)

川西 徹, 河合 洋, 鈴木琢雄, 柴山理恵, 早川堯夫, 大幡久之<sup>\*</sup>, 百瀬和享<sup>\*</sup>: **心筋細胞・肝細胞等のマルチカラーイメージングと分子機能解析 - カスパーゼ活性化の画像化 -**

公開シンポジウム「バイオイメージングとナノテクノロジー」(2003.2)

<sup>\*</sup> 昭和大学薬学部

Toru KAWANISHI: **Japanese Regulatory Perspective PDA/IABs Conference "Scientific Considerations or Comparability of Biologicals"**(2003.2)

河合 洋, 鈴木琢雄, 柴山理恵, 小林 哲, 川西 徹, 早川堯夫: **GFPを用いた融合タンパク質によるチロシ**

**ンリン酸化の検出**

第76回日本薬理学会年会(2003.3)

川崎ナナ, 伊藤さつき, 太田美矢子, 袁 進, 川西 徹, 早川堯夫: **LC/MS/MSを用いたN結合糖鎖のプロファイリング及び糖配列解析**

日本薬学会第123年会(2003.3)

伊藤さつき, 川崎ナナ, 蜂須賀暁子, 太田美矢子, 袁 進, 手島玲子, 澤田純一, 川西 徹, 早川堯夫: **Capillary LC/MSによる電気泳動法で分離された糖タンパク質のN結合型糖鎖解析**

日本薬学会第123年会(2003.3)

Yuan, J., Kawasaki, N., Itoh, S., Ohta, M., Kawanishi, T., and Hayakawa, T.: **Monosaccharide composition analysis of glycoproteins by pyridylation and capillary LC/MS.**

日本薬学会第123年会(2003.3)

河合 洋, 鈴木琢雄, 柴山理恵, 小林 哲, 早川堯夫, 川西 徹: **細胞死におけるカスパーゼ活性化およびミトコンドリア膜電位の時間変化の解析**

日本薬学会第123年会(2003.3)

小林 哲, 新見伸吾, 川西 徹, 福岡正道\*, 早川堯夫: **フタル酸ジ・n・ブチルエステル投与後のラット肝臓におけるインヒピン $\beta_A$ およびホリスタチンmRNAレベルの調節**

日本薬学会第123年会(2003.3)

\*昭和薬科大学薬学部

合田幸広: **食品及び食品素材の抗アレルギー活性の解析**  
国立健康栄養研究所セミナー(2002.6)合田幸広: **食薬区分と規制**

日本薬学会関東支部第27回学術講演会(2002.9)

Goda, Y.: **Health damaged diet pills imported from China and studies on their analyses**

International Seminar on harmonization of oriental herbal medicines(2002.9)

近藤誠三\*<sup>1</sup>, 佐々木 博\*<sup>1</sup>, 山本恵一\*<sup>1</sup>, 山本藤輔\*<sup>1</sup>, 武田修己\*<sup>1</sup>, 中田孝之\*<sup>1</sup>, 磯見幸夫\*<sup>1</sup>, 合田幸広, 関田節子, 佐竹元吉\*<sup>2</sup>: **アリストロキア酸純度試験法について**  
第18回生薬に関する懇談会(2002.12)\*<sup>1</sup>日本漢方生薬製剤協会・技術委員会\*<sup>2</sup>日本薬剤師センター合田幸広: **脱法ドラッグに関する最近の話題**

九州大学大学院薬学研究院特別講演会(2003.1)

柿原芳輝\*<sup>1</sup>, 合田幸広, 穂山浩, 松藤寛\*<sup>1</sup>, 千野誠\*<sup>1</sup>, 豊田正武\*<sup>1</sup>, 武田明治\*<sup>1</sup>: **市販豆腐からの組換え遺伝子****の検知並びに原料サイズ中の組換え体比率の推定**

酵素法による食品分析研究会(2003.3)

\*<sup>1</sup>日本大学生物資源科学部下村裕子, 関田節子, 合田幸広, 徳川斉正\*<sup>1</sup>, 徳川真木\*<sup>1</sup>, 佐竹元吉\*<sup>2</sup>: **徳川家康の薬「烏犀圖」**

日本薬学会第123年会(2003.3)

\*<sup>1</sup>水府明徳会彰考館徳川博物館\*<sup>2</sup>日本薬剤師研修センター合田幸広, 川原信夫, 代田修, 酒井英二\*<sup>1</sup>, 瀧野裕之, 関田節子, 佐竹元吉\*<sup>2</sup>: **「FHH」とその取り組み**

日本薬学会第123年会(2003.3)

\*<sup>1</sup>岐阜薬科大学\*<sup>2</sup>日本薬剤師研修センター酒井英二\*<sup>1</sup>, 合田幸広, 関田節子, 佐竹元吉\*<sup>2</sup>, 田中俊弘\*<sup>1</sup>: **FHH局方生薬の基原植物**

日本薬学会第123年会(2003.3)

\*<sup>1</sup>岐阜薬科大学\*<sup>2</sup>日本薬剤師研修センター佐竹元吉\*<sup>1</sup>, 瀧野裕之, 飯田 修, 川原信夫, 合田幸広, 関田節子: **日本のGACPとWHO及びFHHにおける国際調和**

日本薬学会第123年会(2003.3)

\*<sup>1</sup>お茶女大中村高敏, 合田幸広, 荻原幸夫\*<sup>1</sup>: **一般用漢方処方の見直しについて**

日本薬学会第123年会(2003.3)

\*<sup>1</sup>名城大薬川原信夫, 袴塚高志\*<sup>1</sup>, 合田幸広, 関田節子, 佐竹元吉\*<sup>2</sup>: **骨代謝関連遺伝子の発現変調活性を有するブラジル産薬用植物 *Canna angustifolia* の成分研究(2)**

日本生薬学会第49年会(2002.9)

\*<sup>1</sup>東京理科大学薬学部\*<sup>2</sup>日本薬剤師研修センター高 慧媛\*<sup>1</sup>, 黒柳正典\*<sup>1</sup>, 川原信夫, 中根孝久, 梅原薫\*<sup>2</sup>, 中村好志\*<sup>2</sup>: **カリンの抗発癌プロモータ物質の研究**

日本生薬学会第49年会(2002.9)

\*<sup>1</sup>広島県立大学生物資源学部\*<sup>2</sup>静岡県立大学薬学部大竹 寛\*<sup>1</sup>, 増田和夫\*<sup>1</sup>, 塩島憲治\*<sup>1</sup>, 中根孝久, 川原信夫, Kuber J. Malla\*<sup>2</sup>: **シダ植物成分: ネパール産 *Adiantum philippense* のトリテルペノイド**

日本生薬学会第49年会(2002.9)

\*<sup>1</sup>昭和薬科大学\*<sup>2</sup>ネパール植物資源局

川原信夫, 代田 修, 鎌倉浩之, 江崎勝司, 尾崎幸紘,

関田節子, 佐竹元吉\*, 合田幸広: **漢方・生薬製剤のアリストロキア酸分析について**

第39回全国衛生化学技術協議会年会(2002.10)

\*日本薬剤師研修センター

多田敦子\*, 糠谷東雄\*, 飯島奈月\*, 川原信夫, 杉村隆\*, 若林敬二\*: **トリプトファンとグルコースの反応により生成する変異原物質の単離・構造解析**

日本環境変異原学会第31回大会(2002.11)

\*国立がんセンター研究所

川原信夫, 井上真由美, 河合賢一\*<sup>1</sup>, 関田節子, 佐竹元吉\*<sup>2</sup>, 合田幸広: **オートムセージの成分研究(1)**

日本薬学会第123年会(2003.3)

\*<sup>1</sup>星薬科大学

\*<sup>2</sup>日本薬剤師研修センター

石川真孝\*<sup>1</sup>, 増田和夫\*<sup>1</sup>, 高野昭人\*<sup>1</sup>, 塩島憲治\*<sup>1</sup>, 中根孝久, 川原信夫, Kuber J. Malla\*<sup>2</sup>: **シダ植物成分:**

**Aleuritopteris 属のケモタキソノミー**

日本薬学会第123年会(2003.3)

\*<sup>1</sup>昭和薬科大学

\*<sup>2</sup>ネパール植物資源局

叶 英樹\*, 八百屋さやか\*, 黒柳正典\*, 猪谷富雄\*, 川原信夫: **アサガオ毛状根によるフェノール性化合物の glucosyl 化**

日本薬学会第123年会(2003.3)

\*広島県立大学生物資源学部

黒柳正典\*<sup>1</sup>, 石井宏美\*<sup>1</sup>, 梅原薫\*<sup>2</sup>, 川原信夫, 沖原清司\*<sup>3</sup>, 杉本広之\*<sup>3</sup>, 山田英生\*<sup>3</sup>: **ミカンモラセスからのフラボノイドおよびリモノイドの分離**

日本薬学会第123年会(2003.3)

\*<sup>1</sup>広島県立大学生物資源学部

\*<sup>2</sup>静岡県立大学薬学部

\*<sup>3</sup>山田養蜂所

鎌倉浩之: **試験操作とその問題点**

平成14年度食品衛生指定検査機関協会健康食品試験説明会(2002.9)

鎌倉浩之, 代田 修, 川原信夫, 合田幸広: **無承認無許可医薬品の買い上げ調査について**

第39回全国衛生化学協議会(2002.10)

鎌倉浩之, 代田 修, 川原信夫, 合田幸広: **未承認医薬品の成分分析について**

日本薬学会第123年会(2003.3)

斉藤君枝\*, 加藤 大\*, 豊岡利正\*, 代田 修, 合田幸広: **シロシン, シロシピンのHPLC分析**

第15回バイオメディカル分析科学シンポジウム(2002.8)

\*静岡県立大学薬学部

Caroline Imelda B. Biales\*<sup>1</sup>, 近藤健児\*<sup>2</sup>, 山路弘樹\*<sup>2</sup>, 寺林 進\*<sup>2</sup>, 雨谷 栄\*<sup>2</sup>, 代田 修, 合田幸広, 佐竹元吉\*<sup>3</sup>: **フィリピン薬局方収載生薬の形態学的研究**

日本生薬学会第49回年会(2002.9)

\*<sup>1</sup> Department of Health, Bureau of Food and Drugs, Philippine

\*<sup>2</sup> (株)ソムラ 生薬・資源研究所

\*<sup>3</sup> 浴用剤工業会

代田 修, 関田節子, 佐竹元吉, 森田博史\*, 糸川秀治\*, 竹谷孝一\*: **南米産 *Maytenus* 属生薬より得られるトリテルペンダイマーの構造多様性について**

日本生薬学会第49回年会(2002.9)

\*東京薬科大学薬学部

代田 修, 袴田 航, 牧野由紀子\*, 合田幸広: **サイロシンおよびサイロシピンの簡易大量合成**

日本薬学会第123年会(2003.3)

\*関東信越厚生局麻薬取締部

斉藤君枝\*, 加藤 大\*, 豊岡利正\*, 代田 修, 合田幸広: **蛍光標識化による psilocin, psilocybin の高感度分析**

日本薬学会第123年会(2003.3)

\*静岡県立大学薬学部

丸山卓郎, 代田 修, 合田幸広, 横山和正\*<sup>1</sup>, 牧野由紀子\*<sup>2</sup>: **ITS 遺伝子の塩基配列解析による幻覚性キノコ(いわゆるマジックマッシュルーム)の基原種の分類**

食品衛生学会第84回学術講演会(2002.11)

\*<sup>1</sup>滋賀大学教育学部

\*<sup>2</sup>関東信越厚生局麻薬取締部

丸山卓郎, 横山和正\*<sup>1</sup>, 牧野由紀子\*<sup>2</sup>, 合田幸広: **TaqMan PCR 法を用いた幻覚性キノコの鑑定**

日本薬学会第123年会(2003.3)

\*<sup>1</sup>滋賀大学教育学部

\*<sup>2</sup>関東信越厚生局麻薬取締部

太田富久\*<sup>1</sup>, 富瀬杏子\*<sup>1</sup>, 長橋実\*<sup>1</sup>, 車 培天\*<sup>1</sup>, 宮本康世\*<sup>1</sup>, 宮川慶子\*<sup>1</sup>, 丸山卓郎, 木内文之\*<sup>1</sup>, 細井信造\*<sup>1</sup>, 塚本佐知子\*<sup>1</sup>, 阿部孝政\*<sup>2</sup>, 濱田季之\*<sup>2,3</sup>, 廣田 洋\*<sup>2,3</sup>: **食品に由来する薬物相互作用物質の化学**

第44回天然有機化合物討論会(2002.10)

\*<sup>1</sup>金沢大学薬学部

\*<sup>2</sup>理研

\*<sup>3</sup>横浜市立大学

尾崎幸紘: **川芎の薬理作用**

第18回生薬懇談会(2002.12)

江崎勝司, 佐竹元吉\*<sup>1</sup>, 合田幸広: **宮内庁より移管を受けた生薬標本について(1)**

日本薬学会第123年会(2003.3)

\*<sup>1</sup>日本薬剤師研修センター

花尻(木倉)瑠理: 医薬品分析におけるHPLC法のバリデーション

分析化学会LC研究懇談会(2002.5)

Kikura-Hanajiri, R., Kaniwa, N., Ishibashi, M. and Kojima, S.: LC/APCI-MS analysis of opiates and their metabolites in rat urine after inhalation of opium

The International association for Forensic Toxicologists (TIAFT) Annual Meeting (2002.8)

Kikura-Hanajiri, R., Kaniwa, N., Kojima, S., Hasegawa, R., Goda, Y., Ueno, H., Ozawa, S. and Sawada, J.: Development and validation of an analytical method of gemcitabine and its metabolite in plasma using LC-ESI-MS

American Association of Pharmaceutical Scientists (AAPS) Annual Meeting (2002.11)

\* 国立がんセンター

花尻(木倉)瑠理: 乱用薬物の合成について(フェネチルアミン系薬物を中心に)

東京税関講演(2002.12)

花尻(木倉)瑠理, 鹿庭なほ子, 石橋無味雄, 小嶋茂雄, 合田幸広, 牧野由紀子\*: あへん喫煙ラットにおけるあへん成分の尿中排泄に関する研究

日本薬学会第123年会(2002.3)

\* 関東信越厚生局麻薬取締部

最所和宏, 花尻瑠理, 合田幸広: 日本薬局方及び英国薬局方によるあへん中のモルヒネ定量

日本薬学会第123年会(2002.3)

酒井信夫, 穂山 浩, 豊田英尚\*, 戸井田敏彦\*, 米谷民雄, 今成登志男\*: コンドロイチン硫酸の免疫化学的活性について

第15回バイオメディカル分析科学シンポジウム(2002.8)

\* 千葉大学大学院薬学研究院

酒井信夫, 穂山 浩, 高橋真弓\*, 豊田英尚\*, 戸井田敏彦\*, 米谷民雄, 今成登志男\*: コンドロイチン硫酸糖鎖構造と免疫化学的活性の構造活性相関

日本薬学会123年会(2003.3)

\* 千葉大学大学院薬学研究院

田中理恵, 坂野勇一<sup>\*1</sup>, 六鹿元雄, 菅沼大行<sup>\*2</sup>, 稲熊隆博<sup>\*2</sup>, 渋谷雅明<sup>\*1</sup>, 海老塚豊<sup>\*1</sup>, 豊田正武, 合田幸広: Monogalactosyl diacylglycerolのヒト由来ラノステロール合成酵素阻害活性について

日本食品化学学会第8回総会・学術大会(2002.6)

<sup>\*1</sup> 東大薬

<sup>\*2</sup> カゴメ総研

小田嶋和徳<sup>\*1</sup>, 白井直洋<sup>\*1</sup>, 西條亮介<sup>\*1</sup>, 田中理恵, 和佐田(筒井)祐子<sup>\*2</sup>, 雨宮 成<sup>\*3</sup>: ホモオキサリックス

[3] アレーン誘導体によるドーパミン選択的膜電位変化の基礎解析とホスト-ゲスト錯体の安定構造

日本分析化学会第51年会(2002.9)

<sup>\*1</sup> 名市大薬

<sup>\*2</sup> 名市大システム自然科学

<sup>\*3</sup> ピッツバーグ大化

NAGATSU, A.<sup>\*1</sup>, TANAKA, R.: Chemical Modification of Naturally Occurring Monovalent Ionophore, Monensin, to Divalent Ionophores, Their Ion Transport Activity and the Conformations in the Solvents International Symposium on Biotechnology, Metal Complexes and Catalysis (2002.11)

<sup>\*1</sup> 名市大薬

田中理恵, 坂野勇一<sup>\*1</sup>, 六鹿元雄, 菅沼大行<sup>\*2</sup>, 稲熊隆博<sup>\*2</sup>, 永津明人<sup>\*3</sup>, 渋谷雅明<sup>\*1</sup>, 海老塚豊<sup>\*1</sup>, 合田幸広: 糖脂質MGDG, DGDGのヒト由来ラノステロール合成酵素阻害活性について

日本薬学会第123年会(2003.3)

<sup>\*1</sup> 東大薬

<sup>\*2</sup> カゴメ総研

<sup>\*3</sup> 名市大薬

内田恵理子, 日方幹男<sup>\*1</sup>, 村田充弘<sup>\*1</sup>, 佐藤功栄<sup>\*2</sup>, 岩田明子, 石井(渡部)明子, 山口照英, 早川堯夫: レトロウイルスベクターに混入する増殖性レトロウイルスの高感度検出法の開発

第75回日本生化学会(2002.10)

<sup>\*1</sup> JSR-KK 筑波研究所

<sup>\*2</sup> 埼玉県赤十字血液センター

高 建青<sup>\*1</sup>, 形山和史<sup>\*1</sup>, Soares, A.L.<sup>\*1</sup>, 水口裕之, 早川堯夫, 中山隆志<sup>\*2</sup>, 義江 修<sup>\*2</sup>, 堤 康央<sup>\*1</sup>, 真弓忠範<sup>\*1</sup>, 中川晋作<sup>\*1</sup>: ケモカイン及びサイトカイン発現アデノウイルスベクターの併用による癌遺伝子治療の最適化

日本薬剤学会第19年会(2003.4)

<sup>\*1</sup> 大阪大学大学院薬学研究科

<sup>\*2</sup> 近畿大学大学院医学研究科

小泉直也<sup>\*1</sup>, 増山 茜<sup>\*1</sup>, 近藤昌夫<sup>\*1</sup>, 藤井まき子<sup>\*1</sup>, 水口裕之, 早川堯夫, 中島恵美<sup>\*2</sup>, 宇都口直樹<sup>\*3</sup>, 渡辺善照<sup>\*1</sup>: ヒト胎盤由来細胞へのアデノウイルスベクターによる遺伝子導入効率の検討

日本薬剤学会第19年会(2003.4)

<sup>\*1</sup> 昭和薬科大学

<sup>\*2</sup> 共立薬科大学

<sup>\*3</sup> 帝京大学薬学部

水口裕之: 次世代遺伝子治療薬の開発基盤研究

日本薬学会123年会(2003.3)

徐 志利\*, 水口裕之, 山口照英, 真弓忠範\*, 早川堯夫: 遺伝子発現ユニットの最適化による高効率遺伝子発

**現アデノウイルスベクターの開発**

日本薬学会123年会(2003.3)

\*大阪大学大学院薬学研究科

小泉直也\*, 水口裕之, 山口照英, 渡辺善照\*, 早川堯夫: マウス静脈内投与後の組織移行性を抑えたアデノウイルスベクターの開発

日本薬学会123年会(2003.3)

\*昭和薬科大学

細野哲司, 水口裕之, 石井(渡部) 明子, 山口照英, 早川堯夫: siRNA 発現ベクターの標的配列に関する検討

日本薬学会123年会(2003.3)

櫻井文教, 水口裕之, 山口照英, 早川堯夫: 35型アデノウイルスを基本骨格とした新規アデノウイルスベクターの開発および遺伝子発現効率の検討

日本薬学会123年会(2003.3)

浅野長祥\*<sup>1</sup>, 近藤昌夫\*<sup>1</sup>, 増山 茜\*<sup>1</sup>, 小泉直也\*<sup>1</sup>, 藤井まき子\*<sup>1</sup>, 中西 剛\*<sup>2</sup>, 伊藤徳夫\*<sup>2</sup>, 田中慶一\*<sup>2</sup>, 水口裕之, 早川堯夫, 石村隆太\*<sup>3</sup>, Soares, M.J.\*<sup>4</sup>, 渡辺善照\*<sup>1</sup>: 胎盤の亜鉛輸送に関する研究・In vitro 細胞系への遺伝子導入効率の基礎検討

日本薬学会123年会(2003.3)

\*<sup>1</sup> 昭和薬科大学\*<sup>2</sup> 大阪大学大学院薬学研究科\*<sup>3</sup> 国立環境研究所\*<sup>4</sup> カンサス大学

立花雅史\*, 形山和史\*, 古木理恵\*, 大橋興三\*, 堤康央\*, 中川晋作\*, 水口裕之, 早川堯夫, 真弓忠範\*: 改良型アデノウイルスベクターを用いた胎盤への遺伝子導入

日本薬学会123年会(2003.3)

\*大阪大学大学院薬学研究科

関口文子\*<sup>1</sup>, 衛藤佑介\*<sup>1</sup>, 高 建青\*<sup>1</sup>, 形山和史\*<sup>1</sup>, 堤康央\*<sup>1</sup>, 前田光子\*<sup>2</sup>, 川崎紘一\*<sup>2</sup>, 水口裕之, 早川堯夫, 真弓忠範\*<sup>1</sup>, 中川晋作\*<sup>1</sup>: RGDペプチドを付与したポリエチレングリコール修飾アデノウイルスベクターの機能評価

日本薬学会123年会(2003.3)

\*<sup>1</sup> 大阪大学大学院薬学研究科\*<sup>2</sup> 神戸学院大学薬学部岡田直貴\*<sup>1</sup>, 飯山さやか\*<sup>1</sup>, 西田雅也\*<sup>1</sup>, 舛永安繁\*<sup>1</sup>, 岡田裕香\*<sup>2</sup>, 水口裕之, 早川堯夫, 中川晋作\*<sup>3</sup>, 真弓忠範\*<sup>3</sup>, 藤田卓也\*<sup>1</sup>, 山本 昌\*<sup>1</sup>: RGDファイバーミュータントアデノウイルスベクターにより抗原遺伝子とIL-12遺伝子を共導入した樹状細胞の特性

日本薬学会123年会(2003.3)

\*<sup>1</sup> 京都薬科大学\*<sup>2</sup> 武庫川女子大学薬学部\*<sup>3</sup> 大阪大学大学院薬学研究科岡田裕香\*<sup>1</sup>, 喜多村紗千子\*<sup>1</sup>, 野尻宣仁子\*<sup>1</sup>, 岡田直貴\*<sup>2</sup>, 水口裕之, 高橋幸一\*<sup>1</sup>, 早川堯夫, 真弓忠範\*<sup>3</sup>, 水野巨恭\*<sup>1</sup>: 腫瘍特異的プロモーターを搭載したRGDファイバーミュータントアデノウイルスベクターの構築とその遺伝子発現特性

日本薬学会123年会(2003.3)

\*<sup>1</sup> 武庫川女子大学薬学部\*<sup>2</sup> 京都薬科大学\*<sup>3</sup> 大阪大学大学院薬学研究科森 直樹\*<sup>1</sup>, 岡田直貴\*<sup>1</sup>, 舛永安繁\*<sup>1</sup>, 山中美由紀\*<sup>1</sup>, 岡田裕香\*<sup>2</sup>, 水口裕之, 早川堯夫, 中川晋作\*<sup>3</sup>, 真弓忠範\*<sup>3</sup>, 藤田卓也\*<sup>1</sup>, 山本 昌\*<sup>1</sup>: RGDファイバーミュータントアデノウイルスベクターによりメラノーマ関連抗原遺伝子を導入した樹状細胞の腫瘍免疫誘導機序の解析

日本薬学会123年会(2003.3)

\*<sup>1</sup> 京都薬科大学\*<sup>2</sup> 武庫川女子大学薬学部\*<sup>3</sup> 大阪大学大学院薬学研究科佐々木明德\*<sup>1</sup>, 岡田直貴\*<sup>1</sup>, 大久保米起\*<sup>1</sup>, 岡田裕香\*<sup>2</sup>, 中山隆志\*<sup>3</sup>, 水口裕之, 早川堯夫, 中川晋作\*<sup>4</sup>, 真弓忠範\*<sup>4</sup>, 藤田卓也\*<sup>1</sup>, 山本 昌\*<sup>1</sup>: ケモカイン発現RGDファイバーミュータントアデノウイルスベクターを応用した新規樹状細胞免疫療法の開発に関する基礎的検討

日本薬学会123年会(2003.3)

\*<sup>1</sup> 京都薬科大学\*<sup>2</sup> 武庫川女子大学薬学部\*<sup>3</sup> 近畿大学大学院医学研究科\*<sup>4</sup> 大阪大学大学院薬学研究科

Nakamura, T. \*, Vongpunsawad, S. \*, Peng, K-W. \*, Mizuguchi, H., Hayakawa, T., Cattaneo, R. \* and Russell, S.J. \*: Cytoreductive cancer gene therapy: targeted adenoviral delivery of a targeted therapeutic gene Vector Targeting Therapeutic Strategies for Gene Therapy Cold Spring Harbor (2003.3)

\* Mayo Foundation, Minnesota, USA

形山和史\*<sup>1</sup>, 和田孝一郎\*<sup>2</sup>, 中島 淳\*<sup>3</sup>, 立花雅史\*<sup>1</sup>, 水口裕之, 早川堯夫, 有山輝子\*<sup>1</sup>, 中川晋作\*<sup>1</sup>, 門脇孝\*<sup>4</sup>, 上崎善規\*<sup>2</sup>, Blumberg R.S.\*<sup>5</sup>, 真弓忠範\*<sup>1</sup>: PPARgammaをターゲットとした炎症性腸疾患の遺伝子治療

第76回日本薬理学会(2003.3)

\*<sup>1</sup> 大阪大学大学院薬学研究科\*<sup>2</sup> 大阪大学大学院歯学研究科\*<sup>3</sup> 横浜市立大学医学部\*<sup>4</sup> 東京大学大学院医学研究科\*<sup>5</sup> ハーバード大学

水口裕之, 櫻井文教, 徐 志利\*, 山口照英, 真弓忠範\*, 早川堯夫: 発現制御型アデノウイルスベクターの開発

## 第7回遺伝子医療研究会(2003.3)

\*大阪大学大学院薬学研究科

水口裕之, 小泉直也\*, 細野哲司, 櫻井文教, 山口照英, 渡辺善照\*, 早川堯夫: **標的細胞指向性の制御を目的としたファイバー改変アデノウイルスベクターの開発**

## 第7回遺伝子医療研究会(2003.3)

\*昭和薬科大学

Jian-Qing, Q. \*, Tsuda, Y. \*, Tsutsumi, Y. \*, Mayumi, T. \*, Mizuguchi, H., Hayakawa, T. and Nakagawa, S. \*: **Anti-tumor effect of the CC chemokine, ILC using recombinant adenovirus vector**

## Molecular Biopharmaceutics (2003.1)

\*大阪大学大学院薬学研究科

水口裕之, 早川堯夫: **改良型アデノウイルスベクターによる高効率遺伝子デリバリー**

科学研究費特定領域研究「新しい材料システム構築のための分子シンクロナイズーション」ミニシンポジウム(2002.12)

水口裕之: **改変アデノウイルスベクターによる高効率遺伝子導入系の開発**

文部科学省振興調整費知的基盤「組換えウイルス・コアバンクの創設とその高度利用のための基盤技術に関する研究」シンポジウム(2002.11)

小泉直也\*<sup>1</sup>, 水口裕之, 細野哲司, 宇都口直樹\*<sup>2</sup>, 渡辺善照\*<sup>1</sup>, 山口照英, 早川堯夫: **感染受容体との結合性を除去したアデノウイルスベクターの静脈内投与による組織集積性の検討**

## 第17回動態学会学会(2002.11)

\*<sup>1</sup>昭和薬科大学\*<sup>2</sup>帝京大学薬学部

黒田正幸\*, Nasimuzzaman, M. \*, 堂野純孝\*, 脇口宏\*, 水口裕之, 山本剛伸\*, 松崎茂展\*, 木村 右\*, 今井章介\*: **Fiber mutant adenovirusによるEBウイルス関連リンパ球系腫瘍細胞株への遺伝子導入効率の改善**

## 第50回日本ウイルス学会(2002.10)

\*高知医科大学

黒田正幸\*, Nasimuzzaman, M. \*, 堂野純孝\*, 脇口 宏\*, 水口裕之, 山本剛伸\*, 松崎茂展\*, 木村 右\*, 今井章介\*: **EBNA1 dominant-negative 変異体によるEBウイルス陽性腫瘍細胞株からの高率なウイルス脱落クロソンの分離**

## 第50回日本ウイルス学会(2002.10)

\*高知医科大学

Abiru, N. \*, Sun, F. \*, Kawasaki, E. \*, Yamasaki, H. \*, Ohshima, K. \*, Nagayama, Y. \*, Mizuguchi, H., Hayakawa, T., Liu, E. \*, Eisenbarth, G.S. \* and Eguchi, K. \*: **Adenovirus expressing covalent B:9-23 peptide/ I-Ag7**

**gene: *in vivo* activation of anti-insulin autoimmunity in NOD mice**

6th International Congress of the Immunology of Diabetes Society and American Diabetes Association Research Symposium (2002.10)

\*長崎大学医学部

岡田直貴\*<sup>1</sup>, 岡田裕香\*<sup>2</sup>, 水口裕之, 早川堯夫, 中川晋作\*<sup>3</sup>, 真弓忠範\*<sup>3</sup>: **p100 遺伝子を導入したマウス樹状細胞の免疫学的特性と腫瘍免疫誘導効果**

## 第61回日本癌学会総会(2002.10)

\*<sup>1</sup>京都薬科大学\*<sup>2</sup>武庫川女子大学薬学部\*<sup>3</sup>大阪大学大学院薬学研究科

徐 志利\*, 水口裕之, 真弓忠範\*, 早川堯夫: **各種遺伝子発現制御系を搭載させたアデノウイルスベクターの系統的機能評価**

## 第61回日本癌学会総会(2002.10)

\*大阪大学大学院薬学研究科

櫻井文教, 水口裕之, 早川堯夫: **アデノウイルス serotype35 を基本骨格とした遺伝子導入用ベクターの開発およびヒトCD34+ 細胞への遺伝子導入**

## 第61回日本癌学会総会(2002.10)

伊藤 章\*<sup>1</sup>, 岡田尚巳\*<sup>2</sup>, 水口裕之, 早川堯夫, 水上浩明\*<sup>2</sup>, 久米晃啓\*<sup>2</sup>, 花園 豊\*<sup>2</sup>, 小澤敬也\*<sup>2</sup>: **アダプター分子によるアデノウイルスベクターの標的細胞指向性の変換**

## 第61回日本癌学会総会(2002.10)

\*<sup>1</sup>旭化成\*<sup>2</sup>自治医科大学

岡田裕香\*<sup>1</sup>, 岡田直貴\*<sup>2</sup>, 水口裕之, 早川堯夫, 真弓忠範\*<sup>3</sup>: **TNF $\alpha$  発現アデノウイルスベクターを用いたマウスメラノーマ遺伝子治療における副作用発現機序の解析**

## 第61回日本癌学会総会(2002.10)

\*<sup>1</sup>武庫川女子大学薬学部\*<sup>2</sup>京都薬科大学\*<sup>3</sup>大阪大学大学院薬学研究科

水口裕之: **改良型アデノウイルスベクターによる高効率遺伝子導入・発現系の開発**

## 第17回21世紀を探る京都シンポジウム(2002.10)

水口裕之: **次世代遺伝子治療用ベクターシステムの開発・ウイルスベクターのDDS**

## 第4回製剤研究フォーラム(2002.9)

Sakurai, F., Mizuguchi, H. and Hayakawa, T.: **Efficient Gene Transfer into Human CD 34+ Cells by an Adenovirus Type 35 Vector**

## 第8回日本遺伝子治療学会(2002.7)

Koizumi, N. \*, Mizuguchi, H., Utoguchi, N. \*, Watanabe, Y. \* and Hayakawa, T. : **Generation of fiber-modified adenovirus vector containing heterologous peptides in both the HI loop and C terminal of the fiber knob**

第8回日本遺伝子治療学会 (2002. 7)

\* 昭和薬科大学

Mizuguchi, H., Sakurai, F. and Hayakawa, T. : **Single adenovirus vector containing both rtTA and tTS expression cassettes provides tight regulation of transgene expression in a positive manner**

第8回日本遺伝子治療学会 (2002. 7)

Nagayama, Y. \*, Nakao, K. \*, Mizuguchi, H. and Hayakawa T. : **Therapeutic efficacy of combined replicative adenovirus and non-replicative adenovirus expressing IL-12 in an immunocompetent mouse model**

第8回日本遺伝子治療学会 (2002. 7)

\* 長崎大学医学部

Itoh, A. \*<sup>1</sup>, Okada, T. \*<sup>2</sup>, Mizuguchi, H., Hayakawa, T., Mizukami, H. \*<sup>2</sup>, Kume, A. \*<sup>2</sup>, Hanazono, Y. \*<sup>2</sup> and Ozawa, K. \*<sup>2</sup> : **Soluble CAR-SCF fusion proteins improve adenoviral vector-mediated gene transfer to human hematopoietic cells.**

第8回日本遺伝子治療学会 (2002. 7)

\*<sup>1</sup> 旭化成

\*<sup>2</sup> 自治医科大学

水口裕之, 早川堯夫: **改良型アデノウイルスベクターの開発**

Cell Biology Summer Meeting 2002 (2002. 7)

水口裕之, 櫻井文教, 早川堯夫: **改良型 tet · on システムを搭載したアデノウイルスベクターによる効率の良い目的遺伝子の発現制御システムの開発**

第18回日本DDS学会 (2002. 6)

関口文子\*, 形山和史\*, 林 哲\*, 津田育宏\*, 堤 康央\*, 水口裕之, 早川堯夫, 真弓忠範\*, 中川晋作\*: **遺伝子治療の最適化を目指したアデノウイルスベクターの Polyethylene Glycol 修飾と遺伝子発現活性**

第18回日本DDS学会 (2002. 6)

\* 大阪大学大学院薬学研究科

榎永安繁\*<sup>1</sup>, 岡田直貴\*<sup>1</sup>, 斎藤友美\*<sup>1</sup>, 飯山さやか\*<sup>1</sup>, 津田貴司\*<sup>1</sup>, 松原亜沙子\*<sup>1</sup>, 森 直樹\*<sup>1</sup>, 水口裕之, 早川堯夫, 中川晋作\*<sup>2</sup>, 真弓忠範\*<sup>2</sup>, 藤田卓也\*<sup>1</sup>, 山本昌\*<sup>1</sup>: **ファイバーミュータントアデノウイルスベクターによりメラノーマ関連抗原遺伝子を導入した樹状細胞の腫瘍免疫誘導効果**

第18回日本DDS学会 (2002. 6)

\*<sup>1</sup> 京都薬科大学

\*<sup>2</sup> 大阪大学大学院薬学研究科

Hiranuma, T. \*<sup>1</sup>, Watanab, A. \*<sup>1</sup>, Mizuguchi, H., Hayakawa, T., Matsukura, M. \*<sup>2</sup>, Miike, T. \*<sup>2</sup> and Shimada, T. \*<sup>1</sup> : **Vascular smooth muscle cell specific gene expression by the targeted adenoviral vector**

Xth INTERNATIONAL CONGRESS ON NEUROMUSCULAR DISEASES (2002. 7)

\*<sup>1</sup> 日本医科大学

\*<sup>2</sup> 熊本大学医学部

Katayama, K. \*<sup>1</sup>, Wada, K. \*<sup>2</sup>, Nakajima, A. \*<sup>3</sup>, Yoshida, S. \*<sup>3</sup>, Mizuguchi, H., Hayakawa, T., Tachibana, M. \*<sup>1</sup>, Nakagawa, S. \*<sup>1</sup>, Kadowaki, T. \*<sup>4</sup>, Kamisaki, Y. \*<sup>2</sup>, Blumberg, R.S. \*<sup>5</sup> and Mayumi, T. \*<sup>1</sup> : **A novel direction for gene therapy of inflammatory bowel disease (IBD)**

Controlled Release Society 29th Annual Meeting Seoul (2002. 7)

\*<sup>1</sup> 大阪大学大学院薬学研究科

\*<sup>2</sup> 大阪大学大学院歯学研究科

\*<sup>3</sup> 横浜市立大学医学部

\*<sup>4</sup> 東京大学大学院医学研究科

\*<sup>5</sup> ハーバード大学

小山英則\*, 門田真砂世\*, 森岡与明\*, 市井拓哉\*, 田中新二\*, 福本真也\*, 塩井 淳\*, 水口裕之, 早川堯夫, 西沢良記\*: **WD repeat protein-1 (WDR1) による血管平滑筋細胞のアクチン繊維形成と細胞遊走の調節**

第34回日本動脈硬化学会総会 (2002. 7)

\* 大阪市立大学医学部

Morioka, T. \*, Koyama, H. \*, Yamamura, H. \*, Tanaka, S. \*, Emoto, M. \*, Imamura, T. \*, Miyazono, K. \*, Mizuguchi, H., Hayakawa, T., Kojima, I. \*, Takahashi, K. \* and Nishizawa, Y. \* : **Expression and its role of calponin in pancreatic AR42J cell differentiation into insulin-producing cells**

American Diabetes Association 62nd Annual meeting (2002. 6)

\* 大阪市立大学医学部

Itoh, A. \*<sup>1</sup>, Okada, T. \*<sup>2</sup>, Mizuguchi, H., Hayakawa, T., Mizukami, H. \*<sup>2</sup>, Kume, A. \*<sup>2</sup>, Hanazono, Y. \*<sup>2</sup> and Ozawa, K. \*<sup>2</sup> : **Highly Efficient Adenoviral Gene Transfer into Human Hematopoietic Cells with Novel Soluble Hybrid Adapter Polypeptides That Link Viral Fibers and Hematopoietic Specific Surface Antigens**

American Society of Gene Therapy, 5th Annal Meeting (2002. 5-6)

\*<sup>1</sup> 旭化成

\*<sup>2</sup> 自治医科大学

Mizuguchi, H., Sakurai, F. and Hayakawa, T. : **Single adenovirus vector containing both rtTA and tTS expression cassettes provides tight regulation of transgene expression in a positive manner**

American Society of Gene Therapy, 5th Annal Meeting (2002. 5-6)

荒 敏昭<sup>\*1</sup>, 糸井マナミ<sup>\*2</sup>, 川端健二, 柴川 健<sup>\*3</sup>, 杉山立樹<sup>\*1</sup>, 雨貝 孝<sup>\*2</sup>, 長澤丘司<sup>\*1</sup>: **胎仔および成体のTリンパ球発生におけるSDF-1/PBSFおよびCXCR4の生理的役割**

日本免疫学会総会(2002.12)

<sup>\*1</sup> 京都大学再生医科学研究所

<sup>\*2</sup> 明治鍼灸大学大学院鍼灸学研究所

<sup>\*3</sup> Skirball Institute of Biomolecular Medicine, New York University

柳原雅樹<sup>\*1</sup>, 和田賢人<sup>\*1</sup>, 水野武<sup>\*1</sup>, 宮澤宏, 浅島誠<sup>\*2</sup>, 花岡文雄<sup>\*1</sup>: **ヒストンデアセチラーゼ複合体とDNAポリメラーゼεはSAP-p58間相互作用を通じて結合する.**

第55回日本細胞生物学会大会(2002.5)

<sup>\*1</sup> 理研

<sup>\*2</sup> 東大総合文化

嶋澤るみ子, 荒戸照世, 小笠原弘道, 奥田晴宏, 鹿野真弓, 豊島 聡, 永井尚美, 長岡寛明, 永田龍二, 中村高敏, 星 隆弘, 本田二葉, 前田大輔, 山田博章: **医薬品承認審査上の規格・安定性分野について - 審査報告書の事例を踏まえ -**

第123年会日本薬学会(2003.3)

荒戸照世, 永田龍二, 小笠原弘道, 奥田晴宏, 鹿野真弓, 嶋澤るみ子, 豊島 聡, 永井尚美, 長岡寛明, 中村高敏, 星 隆弘, 本田二葉, 前田大輔, 山田博章: **生物薬品承認審査上の規格・安定性分野について - 審査報告書の事例を踏まえ -**

第123年会日本薬学会(2003.3)

Watanabe, K., Ono, K., Miyazawa, H., Kiuchi, Y. \*, Yamaguchi, T., Shimizu, S. \* and Sato, Y.: **Myosin isoform expression in murine embryonal carcinoma cells after cardiac differentiation**

第76回日本薬理学会年会(2003.3)

<sup>\*</sup> 昭和大学薬学部

Nakamura, R., Satoh, M. \*, Mori, S., Inoue, K. and Sato, Y.: **Thyroxine-induced ERK1/2 phosphorylation through tyrosin kinase in H9C2 cells**

第76回日本薬理学会年会(2003.3)

<sup>\*</sup> 東邦大学薬学部

Mori, S., Ishida, S., Shinozaki, Y., Sawada, J., Miyazawa, H., Yamaguchi, T., Inoue, K. and Sato, Y.: **Microarray analysis of thyroid hormone actions in rat aortic smooth muscle cells**

第76回日本薬理学会年会(2003.3)

Sato, Y., Minamisawa, S. \*, Tatsuguchi, Y. \*, Fujino, T., Imamura, S. \*, Uetsuka, Y. \* and Matsuoka, R. \*: **A newly identified mutation in the phospholamban promoter is associated with hypertrophic cardiomyopathy**

**Therapeutic Horizons in Heart Failure-The La Jolla-Rome-Yamaguchi Research Conferences on Cardiac Function** (2002.12)

<sup>\*</sup> 東京女子医科大学

Nakamura, R., Mori, S., Satoh, M. \*, Inoue, K. and Sato, Y.: **Activation of ERK1/2 by thyroxine via PI3 kinase in H9C2 cells**

The 19th Annual Meeting, Japanese Section of the International Society for Heart Research (2002.10)

<sup>\*</sup> 東邦大学薬学部

Suzuki, T.: **Gene-expression analysis by the Atlas<sup>TM</sup> glass microarray after gamma-ray, 4NQO, and MMS exposure to the human lymphoblastoid TK6 and WTK1 cells**

U.S.-Japan Cooperative Medical Science Program, Environmental Genomics and Carcinogenesis Panel (2002.3)

Suzuki, T., Kohara, A. Honma, M., Sakamoto, H. and Hayashi, M.: **Gene-expression analysis by the Atlas<sup>TM</sup> glass microarray after gamma irradiation to the human lymphoblastoid TK6 cells; Effect of cell-cycle synchronization** 25th Anniversary Meeting of the United Kingdom Environmental Mutagen Society (2002.6)

鈴木孝昌: **環境変異原研究の光と陰: これから進むべき道**

日本環境変異原学会MMS研究会第31回定例会(2002.7)

鈴木孝昌, 小原有弘, 本間正充, 林 真: **トランスジェニックマウス(MutaMouse)を用いたニトロソジエタノールアミンの遺伝子傷害性の検出とその特徴**

第61回日本癌学会総会(2002.10)

鈴木孝昌, 小原有弘, 小泉朋子, 本間正充, 林 真: **トランスジェニックマウスを用いたAF2および赤色2号の変異原性の再評価**

日本環境変異原学会第31回大会(2002.11)

鈴木孝昌: **トランスジェニックマウス変異原性試験の有用性に関する研究**

日本環境変異原学会第31回大会(2002.11)

鈴木孝昌, 中嶋圓\*, 稲垣成憲\*, 兵庫淳志\*, 田中剛太郎\*, 浜田修一\*, 降旗千恵\*: **DNAマイクロアレイの変異原性試験への応用に関する共同研究: ガラスアレイを用いたDEN投与後のマウス肝臓における遺伝子発現解析**

日本環境変異原学会第31回大会(2002.11)

<sup>\*</sup> JEMS/MMSマイクロアレイ共同研究グループ

兵庫淳志\*, 長谷川智子\*, 三井田由紀子\*, 鈴木孝昌, 中嶋 圓\*, 田中剛太郎\*, 浜田修一\*, 降旗千恵\*:

**GeneChip を用いた DEN 投与後のマウス肝臓における遺伝子発現解析**

日本環境変異原学会第31回大会(2002.11)

\* JEMS/MMS マイクロアレイ共同研究グループ

大内田昭信, 田中剛太郎\*, 鈴木孝昌, 中嶋 圓\*, 兵庫淳志\*, 浜田修一\*, 降旗千恵\*: **GeneChip を用いた DEN 投与後のラット肝臓における遺伝子発現解析**

日本環境変異原学会第31回大会(2002.11)

\* JEMS/MMS マイクロアレイ共同研究グループ

山田勉也<sup>\*1</sup>, 鈴木孝昌, 小原有弘<sup>\*2</sup>, 林 真, 羽倉昌志<sup>\*3</sup>, 水谷隆治<sup>\*1</sup>, 佐伯憲一<sup>\*1</sup>: **ベンツピレンの *in vivo* 及び *in vitro* 変異誘発性に対する 10 位窒素置換の影響**

日本薬学会東海支部例会(2002.12)

<sup>\*1</sup> 名古屋市立大学大学院薬学研究科<sup>\*2</sup> 第一化学薬品(株)<sup>\*3</sup> エーザイ(株)小原有弘\*, 鈴木孝昌, 林 真, 菅野 純, 二宮真一\*, 須藤哲司\*: **プライマリーヒト肝細胞の GeneChip による遺伝子発現解析 (Toxicogenomics への応用を目指して)**

日本薬学会第123年会(2003.3)

\* 第一化学薬品(株)

山田勉也<sup>\*1</sup>, 羽倉昌志<sup>\*2</sup>, 竹本育代<sup>\*1</sup>, 鈴木孝昌, 水谷隆治<sup>\*1</sup>, 佐伯憲一<sup>\*1</sup>: **ベンツピレンの 10 位窒素置換体の変異原性に関わるヒト P450 分子種**

日本薬学会第123年会(2003.3)

<sup>\*1</sup> 名古屋市立大学大学院薬学研究科<sup>\*2</sup> エーザイ(株)Suzuki, T.: **An overview of the toxicogenomics project at NIHS Japan**

U.S.-Japan Cooperative Medical Science Program, Environmental Genomics and Carcinogenesis Panel (2003.3)

押澤 正, 豊田淑江, 内田恵理子, 山口照英, 早川堯夫: **HL-60 細胞の好中球様細胞への分化に関するタンパク質の解析**

第75回日本生化学会大会(2002.10)

豊田淑江, 山口照英, 押澤 正, 早川堯夫: **AC133 陽性細胞由来血管内皮前駆細胞の解析**

第1回日本再生医療学会(2002.4)

豊田淑江, 山口照英, 押澤正, 早川堯夫: **ヒト末梢血における AC133 陽性細胞由来血管内皮前駆細胞の解析**

第23回日本炎症・再生医学会(2002.7)

豊田淑江, 押澤 正, 内田恵理子, 早川堯夫, 山口照英: **G-CSF による HL-60 細胞好中球分化亢進と増殖促進における PKC $\epsilon$  の役割**

第75回日本生化学会大会(2002.10)

豊田淑江, 押澤 正, 鈴木孝昌, 早川堯夫, 山口照英: **臍帯血における AC133 陽性細胞由来血管内皮前駆細胞の解析**

第2回日本再生医療学会(2003.3)

Yamaguchi, T.: **Quality and Safety Evaluation of Gene Therapy Products in Japan**

The Fifth Annual KFDA International Symposium (2002.10)

山口照英: **生物由来製品, ウイルスを巡る話題**

第31回 JAPIC 医薬情報講座(2003.3)

土屋利江: **医療用具の安全性試験と細胞毒性試験の意義**

第5回医療用具試験セミナー(2002.7)

土屋利江: **医療用具の安全性**

第33回バイオメディカルカリキュラム(2002.8)

土屋利江: **ナノ・再生医工学材料との相互作用解析**

ナノ再生医工学研究会(2002.10)

土屋利江: **非変異原性医療材料の発がん性と評価法に関する研究**

第14回非変異・がん原性物質への対策研究会(NGCS)定例会(2002.11)

土屋利江: **再生医療製品の安全性と標準化: 再生医療材料・製品の安全性と標準化**

第24回日本バイオマテリアル学会大会(2002.11)

Rahman, M.S., Tsuchiya, T.: **Remarkable enhancement of chondrogenic differentiation of human articular chondrocytes by the cytokines**

第24回日本バイオマテリアル学会大会(2002.11)

Ahmed, S., Tsuchiya, T.: **Studies on the identification of the molecules causing the foreignbody-reaction: Different expression of gap junctional proteins and cytokines between high and low responder strain mice**

第24回日本バイオマテリアル学会大会(2002.11)

Yang, J., Ichikawa, A.\*, Tsuchiya, T.: **Studies on the cellular function of a hepatoma cell line transfected with connexin 32 expression vector**

第24回日本バイオマテリアル学会大会(2002.11)

\* Kyoto Institute of Technology

土屋利江, 林 達也<sup>\*1</sup>, 片岡丈弘<sup>\*2</sup>, 松岡哲也<sup>\*3</sup>, 佐藤秀隆<sup>\*4</sup>, 大場耕輔, 中田和彦<sup>\*1</sup>: **医療用具の生物学的試験の標準化に関する研究: 医療材料の感作性試験(その2)**

第24回日本バイオマテリアル学会大会(2002.11)

\*<sup>1</sup> (株)メニコン総合研究所

\*<sup>2</sup> (財)民生科学協会

\*<sup>3</sup> (株)ボゾリサーチセンター

\*<sup>4</sup> (財)食品農薬薬品安全性評価センター

朴 正雄, 土屋利江: **多糖類と増殖因子を用いた三次元培養による人工肝臓モデル作製**

第24回日本バイオマテリアル学会大会(2002.11)

土屋利江, 鈴木寿子\*<sup>1</sup>, 増田茂樹\*<sup>2</sup>, 吉原なみ子\*<sup>1</sup>: **細胞組織医療用具製品でのHIV-1検出法の検討(その2): 多孔質体を足場としたヒト皮膚モデルでのHIV-1感染細胞の動態**

第24回日本バイオマテリアル学会大会(2002.11)

\*<sup>1</sup> 国立感染症研究所

\*<sup>2</sup> 鐘淵科学工業株式会社

Tsuchiya, T.: **Studies on the development of evaluation method for chondrogenesis and the biocompatible biomaterials for human chondrocyte differentiation**

第24回日本バイオマテリアル学会大会(2002.11)

Tsuchiya, T.: **Biocompatible biomaterials for the human chondrocyte differentiation estimated by RT-PCR method**  
The 15th JAACT Meeting(2002.11)

Ahmed, S., Tsuchiya, T.: **Different expression of gap junctional protein of connexin 43 in two strains of mice after one-month implantation of POLY-L-LACTIC ACID**  
The 15th JAACT Meeting(2002.11)

Rahman, M.S., Banu, Y., Matsuoka, A., Ichikawa, A.\*<sup>1</sup>, Tsuchiya, T.: **Evaluation of the immuno-protective effects of the new-type of bags using elisa and facscan analysis**  
The 15th JAACT Meeting(2002.11)

\*<sup>1</sup> Kyoto Institute of Technology

Yang, J., Ichikawa, A.\*<sup>1</sup>, Tsuchiya, T.: **Change of the cellular function by connexin 32 transfection in a hepatoma cell line**  
The 15th JAACT Meeting(2002.11)

\*<sup>1</sup> Kyoto Institute of Technology

Park, J., Tsuchiya, T.: **Evaluation of the cornea cells affected by multipurpose solutions for contact-lens**  
The 15th JAACT Meeting(2002.11)

鈴木寿子\*, 土屋利江, 吉原なみ子\*: **生体解性ポリマーを用いたバイオヒト皮膚モデルにおけるHIV-1検出法の検討**

第16回日本エイズ学会(2002.11)

\* 国立感染症研究所

Tsuchiya, T.: **A useful marker for evaluating the safety and efficacy of tissue engineered products**  
ASTM TEMPs 2002 Symposium(2002.11)

Tsuchiya, T., Isobe, S.: **Reform of biological product regulation in Japan: Revision of pharmaceutical affairs law (PAL) and principles of good tissue practice (GTP) for cellular and tissue based products**

ASTM TEMPs 2002 Symposium(2002.11)

Yang, J., Ichikawa, A.\*<sup>1</sup>, Tsuchiya, T.: **Change of the cellular function by connexin gene transfection in a hepatoma cell line**

5th INTERNATIONAL MEETING OF TESI(2002.12)

\*<sup>1</sup> Kyoto Institute of Technology

Tsuchiya, T., Nakaoka, R.: **A useful marker for evaluating the tissue engineering products: gap junctional communication for assessment of the tumor-promoting action and disruption of cell differentiation in the tissue engineering products**

5th INTERNATIONAL MEETING OF TESI(2002.12)

土屋利江: **最近の医療用具に関連する制度について**  
第35回医工学フォーラム(2003.1)

土屋利江: **金属材料の安全性**  
京都大学再生医科学研究所特別講演会(2003.3)

配島由二: **感染性廃棄物中間処理における新処理技術 - Tissue Digester WR2を中心に -**  
医療廃棄物研究会第21回研究講演会(2002.6)

配島由二, 長谷川千恵, 矢上 健, 烏鷹幸弘\*<sup>1</sup>, 伊藤博\*<sup>2</sup>, 片倉健男\*<sup>3</sup>, 土屋利江: **天然医用材料に混在するエンドトキシンの不活化法の開発**

第24回日本バイオマテリアル学会大会(2002.11)

\*<sup>1</sup> ダイキン環境研究所

\*<sup>2</sup> 高研

\*<sup>3</sup> テルモ

配島由二, 長谷川千恵, 矢上 健, 伊藤 博\*<sup>1</sup>, 片倉健男\*<sup>2</sup>, 田村弘志\*<sup>3</sup>, 土屋利江: **天然医用材料からのエンドトキシン回収法の開発**

第24回日本バイオマテリアル学会大会(2002.11)

\*<sup>1</sup> 高研

\*<sup>2</sup> テルモ

\*<sup>3</sup> 生化学工業

配島由二: **感染性廃棄物中間処理新技術とガイドライン**  
第2回日本バイオセーフティ学会学術集会(2002.11)

長谷川千恵, 松田りえ子, 林 譲, 矢上 健, 土屋利江, 配島由二: **比濁法リムルス試験の分析精度とその保証**  
日本薬学会第123年会(2003.3)

配島由二, 松田りえ子, 林 譲, 矢上 健, 土屋利江: **血液接触型プラスチック製医療用具からの可塑剤溶出と**

**安全性評価**

日本薬学会第123年会(2003.3)

樋口多恵<sup>\*1</sup>, 井之上浩一<sup>\*1</sup>, 岡田文雄<sup>\*1</sup>, 井口博文<sup>\*2</sup>, 齋島由二, 佐藤温重<sup>\*3</sup>, 吉村吉博<sup>\*1</sup>, 中澤裕之<sup>\*1</sup>: **ポリ塩化ビニル製医療用具からの可塑剤Di(2-ethylhexyl) phthalate 溶出に関する動態評価**

日本薬学会第123年会(2003.3)

<sup>\*1</sup> 星薬大<sup>\*2</sup> 横市大病院<sup>\*3</sup> 昭和大齋島由二: **医療用具と環境ホルモン**

第11回医療廃棄物研修会(2003.3)

齋島由二, 長谷川千恵: **カイネティック比濁法リムルス試験の精度保証**

第76回日本細菌学会総会(2003.4)

矢上 健: **アレルギーの交叉反応性とType Food Allergy**

第7回日本ラテックスアレルギー研究会(2002.7)

矢上 健, 大砂博之<sup>\*</sup>, 河野真純<sup>\*</sup>, 齋島由二, 土屋利江, 池澤善郎<sup>\*</sup>:  **$\beta$ -1,3-グルカナーゼ活性を有するラテックスアレルギーの交叉反応性糖鎖エピトープ**

第52回日本アレルギー学会総会(2002.11)

<sup>\*</sup>横浜市立大学医学部中出伸一<sup>\*1</sup>, 鹿庭正昭, 池田尚之<sup>\*2</sup>, 対馬恭吾<sup>\*3</sup>, 金丸英次<sup>\*4</sup>, 富樫博靖<sup>\*5</sup>, 市川直哉<sup>\*6</sup>, 神原昭夫<sup>\*7</sup>, 花田安弘<sup>\*8</sup>, 志野木達也<sup>\*9</sup>, 西松忠夫<sup>\*10</sup>, 金沢哲也<sup>\*11</sup>, 山際裕一<sup>\*12</sup>: **天然ゴム製品の対ラテックスアレルギー安全性について**

2002年日本ゴム協会年次大会(2002.5)

<sup>\*1</sup> ラテックスアレルギーフォーラム<sup>\*2</sup> 三興化学工業<sup>\*3</sup> オカモト<sup>\*4</sup> 不二ラテックス<sup>\*5</sup> 花王<sup>\*6</sup> 住友ゴム工業<sup>\*7</sup> ダンロップホームプロダクツ<sup>\*8</sup> エステー化学<sup>\*9</sup> ジェクス<sup>\*10</sup> 広野化学工業<sup>\*11</sup> 東レメディカル<sup>\*12</sup> トップ鹿庭正昭, 五十嵐良明: **プラスチック製めがね部品における染料アレルギーの使用実態と交叉アレルギー性に関する考察**

第39回全国衛生化学技術協議会(2002.10)

鹿庭正昭, 五十嵐良明: **失禁ケア製品における抗菌・消臭加工の実態と情報伝達**

第39回全国衛生化学技術協議会(2002.10)

鹿庭正昭: **シンポジウムI 身近な生活用品と皮膚炎4. 家庭用品による皮膚炎と原因化学物質**

第27回日本接触皮膚炎学会(2002.11)

福田直純<sup>\*1</sup>, 原 弘之<sup>\*2</sup>, 花井 博<sup>\*2</sup>, 鈴木啓之<sup>\*2</sup>, 鹿庭正昭: **手形採取用発色液による接触皮膚炎**

第27回日本接触皮膚炎学会(2002.11)

<sup>\*1</sup> 埼玉県立小児医療センター<sup>\*2</sup> 日本大学医学部近藤 恵<sup>\*</sup>, 高橋さなみ<sup>\*</sup>, 高橋一夫<sup>\*</sup>, 杉田泰之<sup>\*</sup>, 相原道子<sup>\*</sup>, 池澤善郎<sup>\*</sup>, 鹿庭正昭: **衛生加工された, 敷き布団の綿布による接触皮膚炎の1例**

第27回日本接触皮膚炎学会(2002.11)

<sup>\*</sup>横浜市立大学医学部五十嵐良明, 鹿庭正昭, 土屋利江: **マウスを用いた天然由来材料のアレルギー性の評価: 種々の投与条件下での即時型アレルギー反応性**

第29回日本トキシコロジー学会学術年会(2002.6)

五十嵐良明, 鹿庭正昭, 土屋利江: **抗菌剤ピリチオン亜鉛の分析**

第39回全国衛生化学技術協議会年会(2002.10)

五十嵐良明, 鹿庭正昭, 土屋利江: **ホルムアルデヒド公定法の改定に向けた検討について**

第39回全国衛生化学技術協議会年会(2002.10)

五十嵐良明, 鹿庭正昭, 土屋利江: **医用材料の即時型アレルギー性の検出: マウスモデルでタンパクアレルギーを検出するための投与方法と判定指標**

第24回日本バイオマテリアル学会大会(2002.11)

Matsuoka, A., Lundin, C. \*, Johansson, F. \*, Fukuhara, K., Jenssen, D. \*, Onfelt, A. \*: **Are sister chromatid exchanges formed by homologous recombination?**

日本環境変異原学会第31回大会(2002.11)

<sup>\*</sup> Stockholm University, Sweden中村 哲<sup>\*</sup>, 高野智好<sup>\*</sup>, 松岡厚子, 加藤幸彦<sup>\*</sup>: **In vitro 小核試験における数的異常誘発物質処理による異常細胞出現パターンの相違**

日本環境変異原学会第31回大会(2002.11)

<sup>\*</sup> キヤノン株式会社松岡厚子, 土屋利江: **医療用具の生物学的試験の標準化に関する研究: 医療材料の染色体異常試験**

第24回日本バイオマテリアル学会(2002.11)

松岡厚子, 土屋利江: **ポリ乳酸およびポリウレタンフィルム上で誘発されたBALB/3T3細胞由来形質転換巢の遺伝子発現プロファイリング**

第2回日本再生医療学会(2003.3)

伊佐間和郎, 松岡厚子, 藪島由二, 土屋利江: **歯科鑄造合金の正常ヒト骨芽細胞を用いる毒性試験: L929 及び V79 細胞毒性試験との比較**

第29回日本トキシコロジー学会学術年会(2002.6)

伊佐間和郎, 藪島由二, 土屋利江: **歯科鑄造用金銀パラジウム合金のin vitro 毒性評価 - JIS 不適合品の細胞毒性と骨芽細胞機能影響 -**

第39回全国衛生化学技術協議会年会(2002.10)

伊佐間和郎, 松下富春, 土屋利江: **正常ヒト骨芽細胞を用いたチタン合金の骨組織適合性の評価**

第24回日本バイオマテリアル学会大会(2002.11)

伊佐間和郎, 土屋利江: **MC3T3-E1 細胞の骨分化に及ぼす PLLA と rhBMP-2 の相乗作用**

第2回日本再生医療学会総会(2003.3)

中岡竜介, 土屋利江: **材料と相互作用したヒト骨芽細胞でのコネキシン遺伝子発現変化**

第24回日本バイオマテリアル学会大会(2002.11)

Nakaoka, R., Tsuchiya, T.: **Study on a relationship between effect of biomaterials on gap junctional intercellular communication and differentiation of osteoblasts**

5th International Meeting of the Tissue Engineering Society International(2002.12)

新谷英晴, 櫻井美栄\*: **オゾンガスと過酸化水素ガス滅菌に対する金属触媒の作用機序の相違について**

第30回防菌防黴学会(2003.5)

\*石川島播磨重工業株

山村隼志\*, 櫻井美栄\*, 福永 栄\*, 塩見茂史\*, 新谷英晴: **オゾンガス発生装置による室内殺菌試験結果**

第30回防菌防黴学会(2003.5)

\*石川島播磨重工業株式会社

三木亜希子\*<sup>1</sup>, 黒須志のぶ\*<sup>1</sup>, 林 郁江\*<sup>2</sup>, 榊原靖久\*<sup>2</sup>, 並木祥代\*<sup>2</sup>, 並木 努\*<sup>2</sup>, 新谷英晴: **紫外線/二酸化チタン膜光触媒装置の病院内汚染菌に対する有効性について**

第30回防菌防黴学会(2003.5)

\*<sup>1</sup> ミノファーゲン製薬(株)座間工場

\*<sup>2</sup> 医療法人並木会並木クリニック

出口統也\*, 丸山真由美\*, 小久保 護\*, 新谷英晴: **過酸化水素蒸気滅菌における滅菌検証と生物指標**

第30回防菌防黴学会(2003.5)

\*渋谷工業株式会社

数馬昂始\*, 新谷英晴: **GMPの観点から見たバイオ**

**ジカルインジケーターの輸送場の問題点**

第30回防菌防黴学会(2003.5)

\* K2 インターナショナル(株)

佐藤道夫: **シンポジウム「インプラント・データシステムの現況から」日本と海外におけるシステムの現況**

第17回日本眼内レンズ屈折手術学会(2002.6)

佐藤道夫: **教育研修講演「人工関節の埋植摘出データシステム」**

第29回日本臨床バイオメカニクス学会(2002.9)

徳永裕司, 竹内織恵, 高 玲華, 内野 正, 安藤正典: **市販化粧水中のフェノキシエタノールに関する研究**

第50回日本化粧品技術者会研究討論会(2002.6)

大野彰子, 内山茂久, 埴岡伸光, 安藤正典: **室内環境におけるカルボニル化合物の特性**

第43回大気環境学会年会(2002.9)

内山茂久, 伊藤洋介\*, 大野彰子, 埴岡伸光, 青柳象平\*, 安藤正典: **室内環境におけるホルムアルデヒドの挙動とモニタリング期間について**

第43回大気環境学会年会(2002.9)

\* 千葉大学

鈴木玲央\*<sup>1</sup>, 黒瀬光一, 吉田ひろみ, 綾野絵理, 西村哲治, 安藤正典, 武田 健\*<sup>1</sup>, 田代康介\*<sup>2</sup>: **内分泌攪乱化学物質のアフリカツメガエル発生期に及ぼす影響**

第8回バイオアッセイ研究会・日本環境毒性学会合同研究発表会(2002.9)

\*<sup>1</sup> 東京理科大学

\*<sup>2</sup> 九州大学

綾野絵理, 岡田裕司\*<sup>1</sup>, 坂本千賀子\*<sup>1</sup>, 金澤秀子\*<sup>1</sup>, 菊池明彦\*<sup>2</sup>, 岡野光夫\*<sup>2</sup>, 西村哲治, 安藤正典: **機能性高分子を用いた分離システムの環境分析への応用**

日本分析化学会第51年会(2002.9)

\*<sup>1</sup> 共立薬科大学

\*<sup>2</sup> 東京女子医科大学

神野透人, 香川(田中)聡子, 長谷川達也\*, 牧野悠子, 瀬野義幸\*, 埴岡伸光, 安藤正典: **変異型 Human Omega Class Glutathione S-Transferase (GSTO1-1) の機能解析フォーラム2002: 衛生薬学・環境トキシコロジー(2002.10)**

\* 山梨県環境科学研究所

香川(田中)聡子, 神野透人, 牧野悠子, 埴岡伸光, 安藤正典: **環境汚染物質に対する感受性を規定する遺伝的要因に関する研究 - TaqMan MGB プローブを用いるSNPsの簡易検出法 -**

フォーラム2002: 衛生薬学・環境トキシコロジー(2002.10)

徳永裕司, 竹内織恵, 内野 正, 安藤正典: **化粧水中の防腐剤に関する研究**

第39回全国衛生化学技術協議会年会 (2002. 10)

西村哲治, 鈴木玲央<sup>\*1</sup>, 吉田ひろみ, 綾野絵理, 黒瀬光一, 田代康介<sup>\*2</sup>, 武田 健<sup>\*1</sup>, 安藤正典: **アフリカツメガエルの胚・幼生を用いた内分泌かく乱物質の影響評価**

第39回全国衛生化学技術協議会年会 (2002. 10)

<sup>\*1</sup> 東京理科大学

<sup>\*2</sup> 九州大学

岡田祐司<sup>\*1</sup>, 坂本千賀子<sup>\*1</sup>, 金澤秀子<sup>\*1</sup>, 菊池明彦<sup>\*2</sup>, 岡野光夫<sup>\*2</sup>, 綾野絵理, 西村哲治, 安藤正典: **温度応答性クロマトグラフィーにおける温度グラジェントの効果**

第13回クロマトグラフィー科学会議 (2002. 10)

<sup>\*1</sup> 共立薬科大学

<sup>\*2</sup> 東京女子医科大学

Tanaka-Kagawa, T., Jinno, H., Hasegawa<sup>\*</sup>, T., Makino, Y., Seko, Y.<sup>\*</sup>, Hanioka, N., Ando, M.: **Functional characterization of human monomethylarsonic acid (MMA<sup>V</sup>) reductase variants**

International Symposium on Bio-Trace Elements 2002 (2002. 11)

<sup>\*</sup> Yamanashi Institute of Environmental Sciences

許春蓮<sup>\*1</sup>, 千葉信男<sup>\*1</sup>, 西村 修<sup>\*1</sup>, 秋葉道宏<sup>\*2</sup>, 西村哲治, 安藤正典: **釜房ダム湖流域におけるAOCの測定について**

日本水処理生物学会年会 (2002. 11)

<sup>\*1</sup> 東北大学大学院

<sup>\*2</sup> 国立保健医療科学院

徳永裕司, 森 謙一郎<sup>\*1</sup>, 野坂富雄<sup>\*2</sup>, 土井佳代<sup>\*3</sup>, 坂口 洋<sup>\*4</sup>, 藤井まき子<sup>\*5</sup>, 高野勝弘<sup>\*6</sup>, 林 正人<sup>\*7</sup>, 磯敏明<sup>\*8</sup>, 西尾裕幸<sup>\*9</sup>, 佐藤信夫<sup>\*10</sup>: **香粧品に配合が禁止されている成分の分析法に関する研究: orthophenylphenol, benzalkonium chloride**

日本薬学会第123回年会 (2003. 3)

<sup>\*1</sup> 都衛研

<sup>\*2</sup> 埼玉衛研

<sup>\*3</sup> 神奈川衛研

<sup>\*4</sup> 北里大理学部

<sup>\*5</sup> 昭和薬大

<sup>\*6</sup> 粧工連

<sup>\*7</sup> 資生堂

<sup>\*8</sup> ポーラ

<sup>\*9</sup> カネボウ

<sup>\*10</sup> コーセー

徳永裕司, 竹内織恵, 内野 正, 安藤正典: **インド西ベンガル州の広域的ヒ素汚染地域での尿中ヒ素化合物に関する研究**

日本薬学会第123回年会 (2003. 3)

内野 正, 竹内織恵, 徳永裕司, 安藤正典: **より生体に近い3次元培養ヒト皮膚モデルの構築及びそのin vitro評価法に関する研究**

日本薬学会第123回年会 (2003. 3)

埴岡伸光, 香川(田中)聡子, 宮田優佳<sup>\*</sup>, 与田玲子<sup>\*</sup>, 大野彰子, 松島江里香, 牧野悠子, 神野透人, 安藤正典: **アミノ酸置換を伴う変異型ヒトCYP2E1の機能解析**

日本薬学会第123回年会 (2003. 3)

<sup>\*</sup> 共立薬大

大野彰子, 神野透人, 香川(田中)聡子, 牧野悠子, 松島江里香, 埴岡伸光, 安藤正典: **変異型CYP2B6の機能解析**

日本薬学会第123回年会 (2003. 3)

鈴木玲央<sup>\*</sup>, 吉田ひろみ, 綾野絵理, 安藤正典, 武田健<sup>\*</sup>, 西村哲治: **内分泌攪乱化学物質のアフリカツメガエル初期発生過程に及ぼす影響**

日本薬学会第123回年会 (2003. 3)

<sup>\*</sup> 東京理科大学

森田久男<sup>\*1</sup>, 西村哲治, 大橋則雄<sup>\*2</sup>, 小林規矩夫<sup>\*3</sup>, 菅谷なえ子<sup>\*4</sup>, 鈴木俊也<sup>\*5</sup>, 永瀬久光<sup>\*6</sup>, 中室克彦<sup>\*7</sup>, 深澤嘉延<sup>\*3</sup>, 福島 実<sup>\*8</sup>: **環境試験法, 水質試験法, アルキルフェノール類およびビスフェノールA**

日本薬学会第123回年会 (2003. 3)

<sup>\*1</sup> 埼玉県衛生研究所

<sup>\*2</sup> 都立衛生研究所

<sup>\*3</sup> 山梨県公害衛生研究所

<sup>\*4</sup> 横浜市衛生研究所

<sup>\*5</sup> 都立衛生研究所多摩支所

<sup>\*6</sup> 岐阜薬科大学

<sup>\*7</sup> 摂南大学

<sup>\*8</sup> 大阪市環境研究所

西村哲治, 大橋則雄<sup>\*1</sup>, 鈴木俊也<sup>\*2</sup>, 深澤嘉延<sup>\*3</sup>, 小林規矩夫<sup>\*3</sup>, 菅谷なえ子<sup>\*4</sup>, 永瀬久光<sup>\*5</sup>, 中室克彦<sup>\*6</sup>, 福島 実<sup>\*7</sup>, 森田久男<sup>\*8</sup>: **環境試験法, 水質試験法, フタル酸エステル**

日本薬学会第123回年会 (2003. 3)

<sup>\*1</sup> 都立衛生研究所

<sup>\*2</sup> 都立衛生研究所多摩支所

<sup>\*3</sup> 山梨県公害衛生研究所

<sup>\*4</sup> 横浜市衛生研究所

<sup>\*5</sup> 岐阜薬科大学

<sup>\*6</sup> 摂南大学

<sup>\*7</sup> 大阪市環境研究所

<sup>\*8</sup> 埼玉県衛生研究所

岡田裕司<sup>\*1</sup>, 綾野絵理, 坂本千賀子<sup>\*1</sup>, 金澤秀子<sup>\*1</sup>, 西村哲治, 安藤正典, 菊池明彦<sup>\*2</sup>, 岡野光夫<sup>\*2</sup>: **温度応答性クロマトグラフィーを用いたチトクロームP450プロブ薬物およびその代謝物の分離**

日本薬学会第123回年会 (2003. 3)

\*<sup>1</sup> 共立薬科大学\*<sup>2</sup> 東京女子医科大学

西川加穂子<sup>\*1</sup>, 内野 正, 徳永裕司, 富永典子<sup>\*2</sup>: **好酸性藻 Chlamydomonas acidophila の重金属蓄積能とポリリン酸代謝の解析**

日本農芸化学会2003年度大会(2003.4)

\*<sup>1</sup> お茶の水女子大学大学院\*<sup>2</sup> お茶の水女子大学環境センター

西村哲治, 安藤正典, 相澤貴子<sup>\*1</sup>, 浅見真理<sup>\*1</sup>, 島崎大<sup>\*1</sup>, 国包章一<sup>\*1</sup>, 眞柄泰基<sup>\*2</sup>: **水道水源水域における1,4-ジオキサンの実態**

第37回日本水環境学会年会(2003.3)

\*<sup>1</sup> 国立保健医療科学院\*<sup>2</sup> 北海道大学大学院

相澤貴子<sup>\*1</sup>, 西村哲治, 安藤正典, 浅見真理<sup>\*1</sup>, 島崎大<sup>\*1</sup>, 国包章一<sup>\*1</sup>, 眞柄泰基<sup>\*2</sup>: **水道水源水域におけるMTBEの実態調査**

第37回日本水環境学会年会(2003.3)

\*<sup>1</sup> 国立保健医療科学院\*<sup>2</sup> 北海道大学大学院

西村哲治: **生物活性を利用した環境モニタリング法**

日本水環境学会関東支部講演会(2003.3)

神野透人, 佐伯真弓, 香川(田中)聡子, 牧野悠子, 埴岡伸光, 斎藤嘉朗, 小澤正吾, 安藤正典, 白尾国昭<sup>\*</sup>, 南博信<sup>\*</sup>, 大津 敦<sup>\*</sup>, 吉田輝彦<sup>\*</sup>, 西條長宏<sup>\*</sup>, 澤田純一: **変異型UGT1A10(M59IおよびT202I)の機能解析**

日本薬学会第123年会(2003.3)

\* 国立がんセンター

西村哲治, 中川順一<sup>\*1</sup>, 高木博夫<sup>\*2</sup>, 沖 恒二<sup>\*3</sup>, 宇田川富男<sup>\*4</sup>, 加藤信弥<sup>\*5</sup>, 塩出貞光<sup>\*6</sup>, 嶋津治希<sup>\*7</sup>, 鈴木宏行<sup>\*8</sup>, 中野淑雄<sup>\*9</sup>, 中野康晴<sup>\*10</sup>, 安藤正典: **1,2-ブタジエン, 1,3-ブタジエン, 酢酸ビニルモノマー及びN<sub>2</sub>N-ジメチルアニリンの分析方法**

第54回全国水道研究発表会(2003.5)

\*<sup>1</sup> 東京都立衛生研所\*<sup>2</sup> 国立環境研究所\*<sup>3</sup> 横浜市水道局\*<sup>4</sup> 東京都水道局\*<sup>5</sup> 仙台市水道局\*<sup>6</sup> 大阪市水道局\*<sup>7</sup> 広島市水道局\*<sup>8</sup> 千葉県水道局\*<sup>9</sup> 福岡地区水道企業団\*<sup>10</sup> 大阪府水道部

宮川徹也<sup>\*1</sup>, 安藤正典, 西村哲治, 秋葉道宏<sup>\*2</sup>: **水道水における同化性有機炭素の調査**

第54回全国水道研究発表会(2003.5)

\*<sup>1</sup> 阪神水道企業団\*<sup>2</sup> 国立保健医療科学院

許春蓮<sup>\*1</sup>, 金 志勲<sup>\*1</sup>, 千葉信夫<sup>\*1</sup>, 西村 修<sup>\*1</sup>, 秋葉道宏<sup>\*2</sup>, 西村哲治, 安藤正典: **釜房ダム湖流域におけるAOCの測定**

第54回全国水道研究発表会(2003.5)

\*<sup>1</sup> 東北大学大学院\*<sup>2</sup> 国立保健医療科学院

米谷民雄: **食品の安全性に関連する規格基準**

第254回ガスクロマトグラフィー研究会(2002.12)

米谷民雄, 福嶋浩人<sup>\*1</sup>, 渡辺 均<sup>\*2</sup>, 手島玲子, 磯村公郎<sup>\*3</sup>, 杉山英男<sup>\*4</sup>, 池淵秀治<sup>\*5</sup>, 佐治英郎<sup>\*6</sup>: **放射性物質試験法 ICP/質量分析法によるプルトニウムの定量**

日本薬学会第123年会(2003.3)

\*<sup>1</sup> 日本分析センター\*<sup>2</sup> 核燃料サイクル開発機構\*<sup>3</sup> 兵庫県立健康環境科学研究所\*<sup>4</sup> 国立保健医療科学院\*<sup>5</sup> 日本アイソトープ協会\*<sup>6</sup> 京大薬

佐々木久美子, 高附 巧, 根本 了, 米谷民雄: **食品中のアクリルアミド**

日本薬学会第123年会(2003.3)

外海泰秀, 堀伸二郎<sup>\*1</sup>, 田中敏嗣<sup>\*2</sup>, 岡 尚男<sup>\*3</sup>, 中村好志<sup>\*4</sup>, 永山敏廣<sup>\*5</sup>, 佐々木久美子, 前川吉明<sup>\*6</sup>, 村上りつ子<sup>\*7</sup>, 松木宏晃<sup>\*8</sup>: **ガスクロマトグラフィー/質量分析法による食品中の残留農薬多成分一斉分析法**

日本薬学会第123年会(2003.3)

\*<sup>1</sup> 大阪府公衆衛生研究所\*<sup>2</sup> 神戸市環境保健研究所\*<sup>3</sup> 愛知県衛生研究所\*<sup>4</sup> 静岡県立大学薬学部\*<sup>5</sup> 東京都立衛生研究所\*<sup>6</sup> (財)日本食品分析センター\*<sup>7</sup> 茨城県水戸保健所\*<sup>8</sup> サントリー(株)

辰巳 治<sup>\*</sup>, 清水菜穂子<sup>\*</sup>, 北原由美<sup>\*</sup>, 野村孝一<sup>\*</sup>, 小松一裕<sup>\*</sup>, 佐々木久美子, 米谷民雄: **食品中のトキサフェンの分析について**

日本食品衛生学会第85回学術講演会(2003.5)

\* (財)日本食品分析センター

清水菜穂子<sup>\*</sup>, 辰巳 治<sup>\*</sup>, 北原由美<sup>\*</sup>, 野村孝一<sup>\*</sup>, 小松一裕<sup>\*</sup>, 佐々木久美子, 米谷民雄: **食品中のミレックスの分析について**

日本食品衛生学会第85回学術講演会(2003.5)

\* (財)日本食品分析センター

根本 了, 鈴木良宏, 佐々木久美子, 豊田正武<sup>\*</sup>, 米谷民雄: **農産物中の残留農薬分析に対する超臨界流体抽出**

**の適用 - 野菜・果実試料について -**

日本食品衛生学会第84回学術講演会 (2002. 11)

\* 実践女子大学

天倉吉章, 堤 智昭, 中村昌文<sup>\*1</sup>, 北川宏子<sup>\*1</sup>, 藤野潤子<sup>\*1</sup>, 佐々木久美子, 豊田正武<sup>\*2</sup>, 吉田隆志<sup>\*3</sup>, 米谷民雄: **植物性食品成分のアリル炭化水素レセプター活性化に関する検討**

フォーラム2002: 衛生薬学・環境トキシコロジー (2002. 9)

\*<sup>1</sup> (株)日吉\*<sup>2</sup> 実践女子大学\*<sup>3</sup> 岡山大学

天倉吉章, 堤 智昭, 佐々木久美子, 豊田正武<sup>\*</sup>, 米谷民雄: **食品中のダイオキシン類分析における前処理法の検討 - プレバックカラムの適用 -**

日本食品衛生学会第84回学術講演会 (2002. 11)

\* 実践女子大学

天倉吉章, 堤 智昭, 佐々木久美子, 米谷民雄: **ダイオキシンのAhR結合活性に対する植物性食品成分の抑制効果**

日本薬学会第123年会 (2003. 3)

天倉吉章, 堤 智昭, 佐々木久美子, 米谷民雄: **各種市販野菜中のダイオキシン類レベルとその異性体分布**

日本食品衛生学会第85回学術講演会 (2003. 5)

堤 智昭, 天倉吉章, 佐々木久美子, 豊田正武, 米谷民雄: **食品中のダイオキシン類分析におけるアルカリ分解の影響**

第11回環境化学討論会 (2002. 6)

Yabushita, H. <sup>\*1</sup>, Tsutsumi, T., Amakura, Y., Nakamura, M. <sup>\*1</sup>, Fujino, J. <sup>\*1</sup>, Murata, H. <sup>\*1</sup>, Sasaki, K., Maitani, T., Toyoda, M. <sup>\*2</sup>: **Application of the CALUX<sup>TM</sup> assay to the analysis of DXNs in fish (The second report)**

22nd International Symposium on Halogenated Environmental Organic Pollutants &amp; POPs (2002. 8)

\*<sup>1</sup> Hiyoshi Corporation\*<sup>2</sup> Jissen Women's University

Tsutsumi, T., Amakura, Y., Sasaki, K., Maitani T.: **Levels of PCDDs, PCDFs and dioxin-like PCBs in foods and their dietary intake in Japan**

International workshop on "Effects of dioxins on agriculture, forestry and fisheries and their mechanisms of action on animals and fishes" (2002. 12)

奥山 亮<sup>\*1</sup>, 竹中宏誌<sup>\*1</sup>, 西 和人<sup>\*1</sup>, 水上春樹<sup>\*1</sup>, 堤智昭, 天倉吉章, 滝上英孝<sup>\*2</sup>, 佐々木久美子, 米谷民雄, 小崎俊司<sup>\*3</sup>, 切畑光統<sup>\*3</sup>, 宮武和孝<sup>\*3</sup>, 酒井伸一<sup>\*2</sup>, 森田昌敏<sup>\*2</sup>: **コプラナーPCBスクリーニング用ELISAシステムの開発**

第5回環境ホルモン学会 (2002. 11)

\*<sup>1</sup> (株)エンバイオテック・ラボラトリーズ\*<sup>2</sup> 国立環境研究所\*<sup>3</sup> 大阪府立大学大学院

堤 智昭, 飯田隆雄<sup>\*1</sup>, 堀 就英<sup>\*1</sup>, 中川礼子<sup>\*1</sup>, 飛石和大<sup>\*1</sup>, 柳 俊彦<sup>\*2</sup>, 中村宗知<sup>\*2</sup>, 河野洋一<sup>\*2</sup>, 内部博泰<sup>\*2</sup>, 豊田正武<sup>\*3</sup>, 天倉吉章, 佐々木久美子, 米谷民雄: **日本における市販食品中のダイオキシン類汚染**

日本薬学会第123年会 (2003. 3)

\*<sup>1</sup> 福岡県保健環境研究所\*<sup>2</sup> (財)日本食品分析センター\*<sup>3</sup> 実践女子大学

松田りえ子, 石田誠一, 戸田恭子, 中田琴子, 米谷民雄, 林 譲: **遺伝子発現解析データにおける変化の有意性の評価法**

日本薬学会第123年会 (2003. 3)

近藤一成, David M.Cauvi <sup>\*1</sup>, Bettina Arbrecht <sup>\*1</sup>, Michael W. Robertson <sup>\*1</sup>: **高親和性IgE 受容体FcεRI α-chain のER retention/retrieval motif は細胞内ドメイン arginine, lysine-rich region である**

第25回日本分子生物学会年会 (2002. 12)

\*<sup>1</sup> The Scripps Research Institute

近藤一成, David M.Cauvi <sup>\*1</sup>, Michael W. Robertson <sup>\*1</sup>, 米谷民雄: **高親和性IgE 受容体 α-chain の小胞体保持シグナルについて**

日本薬学会第123年会

\*<sup>1</sup> The Scripps Research Institute

林 譲, 松田りえ子, 伊藤克敏<sup>\*</sup>, 前田昌子<sup>\*</sup>: **17α-hydroxyprogesterone の競合ELISA法による分析の不確かさの推定**

第63回分析化学討論会 (2002. 5)

\* 昭和大薬

林 譲, 松田りえ子, 伊藤克敏<sup>\*1</sup>, 前田昌子<sup>\*1</sup>, 今井一洋<sup>\*2</sup>: **ELISA法の分析値の信頼性について**

第15回バイオメディカル分析化学シンポジウム (2002. 8)

\*<sup>1</sup> 昭和大薬\*<sup>2</sup> 東大院薬

小谷 明<sup>\*</sup>, 林 譲, 松田りえ子, 楠 文代<sup>\*</sup>: **FUMI理論に基づく電気化学検出HPLCの測定条件の最適化**

第6回分析化学東京シンポジウム・2002 機器分析東京討論会

\* 東京薬科大学

西村和香<sup>\*1</sup>, 伊藤克敏<sup>\*1</sup>, 前田昌子<sup>\*1</sup>, 今井一洋<sup>\*2</sup>, 林譲, 松田りえ子: **17α-hydroxyprogesterone の競合ELISA法の精度: 理論と実践**

日本薬学会第123年会 (2003. 3)

\*<sup>1</sup> 昭和大葉\*<sup>2</sup> 東大院葉

宮原 誠, 齊藤顕子<sup>\*1</sup>, 長沢妙子<sup>\*1</sup>, 伊藤 均<sup>\*2</sup>, 豊田 正武: **照射食肉等生鮮食品の炭化水素法による検知**  
理工学における同位元素, 放射線研究発表会 第39回  
大会(2002.7)

\*<sup>1</sup> 北里大学医療衛生学部\*<sup>2</sup> 日本原子力研究所 高崎研究所

Makoto Miyahara, Taeko Nagasawa<sup>\*1</sup>, Akiko Saito<sup>\*1</sup>,  
Hitoshi Ito<sup>\*2</sup>, Masatake Toyoda: **Detection of hydrocarbons  
in some irradiated foods**

The 116th Annual AOAC International Meeting and  
Exposition (2002.9)

\*<sup>1</sup> Faculty of Allied Medical Sciences, Kitazato University\*<sup>2</sup> Japan Atomic Energy Research Institute (JAERI)

宮原 誠, 齊藤顕子<sup>\*1</sup>, 長沢妙子<sup>\*1</sup>, 上村智美<sup>\*1</sup>, 伊藤  
均<sup>\*2</sup>, 米谷民雄: **照射食品の炭化水素法による検知の実  
際**

日本食品照射研究協議会 第38回大会(2002.12)

\*<sup>1</sup> 北里大学医療衛生学部\*<sup>2</sup> 日本原子力研究所 高崎研究所

宮原 誠, 増水草季<sup>\*1</sup>, 小林泰彦<sup>\*2</sup>, 米谷民雄: **ESR法  
による照射食品の検知 その1 照射骨付き食品等につ  
いて**

日本薬学会第123年会(2003.3)

\*<sup>1</sup> 日本電子応用研究所\*<sup>2</sup> 日本原子力研究所 高崎研究所

M. Miyahara, T. Mashimizu<sup>\*1</sup>, Y. Kobayashi<sup>\*2</sup> and T.  
Maitani: **Detection of Irradiated Foods Containing Bone  
or Shell Using ESR Spectroscopy: A preliminary study 2.**  
9th FDA Science Forum 2003 United States of Food and  
Drug Administration (2003.4)

\*<sup>1</sup> Japan Electron Optics Laboratory (JEOL)\*<sup>2</sup> Japan Atomic Energy Research Institute (JAERI)

宮原 誠, 上村智美<sup>\*1</sup>, 斎藤顕子<sup>\*1</sup>, 小林泰彦<sup>\*2</sup>, 米谷  
民雄: **DNA法による照射食品の検知 基礎的検討**  
食品衛生学会第85回学術講演会(2003.5)

\*<sup>1</sup> 北里大学医療衛生学部\*<sup>2</sup> 日本原子力研究所 高崎研究所

穂山 浩: **食品中のアレルギー - 物質検出試験法について**  
日本小児アレルギー - 学会(2002.11)

穂山 浩: **食品のアレルギー - 表示義務化(5品目)に伴  
うアレルギー - 食品検知法の実際とリスク評価**  
第39回全国衛生化学技術協議会年会(2002.10)

穂山 浩, 坂田こずえ, 張替直輝, 米谷民雄, 山本美保<sup>\*1</sup>,  
渡井正俊<sup>\*1</sup>, 境 雅寿<sup>\*2</sup>, 村岡嗣朗<sup>\*2</sup>, 本庄 勉<sup>\*2</sup>, 高

畑能久<sup>\*3</sup>, 森松文毅<sup>\*3</sup>, 中村健人<sup>\*4</sup>, 小川真智子<sup>\*4</sup>, 布  
藤聡<sup>\*4</sup>: **ウエスタンプロット法を用いた食品中の特定原  
材料(卵及び乳)の検知法について**

日本食品衛生学会第84回学術講演会(2002.10)

\*<sup>1</sup> (財)日本食品分析センター\*<sup>2</sup> (株)森永生科研\*<sup>3</sup> 日本ハム(株)\*<sup>4</sup> (株)ファスマック

穂山 浩: **食品中のアレルギー - 物質検出試験法の現状と  
課題**

第20回食品添加物技術ファ - ラム(2002.7)

穂山 浩: **原因食品中アレルギー誘発物質の解明に関す  
る研究**

第3回食物アレルギー - 研究会(2003.2)

高畑能久<sup>\*1</sup>, 浦島浩司<sup>\*1</sup>, 土岐真治<sup>\*1</sup>, 宮澤いづみ<sup>\*1</sup>,  
森松文毅<sup>\*1</sup>, 穂山 浩, 米谷民雄, 柴田瑠美子<sup>\*2</sup>:  
**FASTKIT エライザシリーズによる特定原材料の検査事  
例**

第3回食物アレルギー - 研究会(2003.2)

\*<sup>1</sup> 日本ハム(株)中央研究所\*<sup>2</sup> 国立療養所南福岡病院小児科

Amano Hiroo<sup>\*1</sup>, Akiyama Hiroshi, Ishikawa Osamu<sup>\*1</sup>,  
J.Bienenstock<sup>\*2</sup>: **Rat epithelial response to water  
avoidance stress**

The 12th Japan-Korea Joint Meeting of Dermatology  
(2001.11)

\*<sup>1</sup> Gunma University School of Medicine\*<sup>2</sup> McMaster University

和久井千世子, 渡邊敬浩, 穂山 浩, 米谷民雄, 千葉良  
子<sup>\*1</sup>, 内川誠司<sup>\*2</sup>, 紀 雅美<sup>\*3</sup>, 高橋邦彦<sup>\*4</sup>, 藤井明  
美<sup>\*5</sup>: **GUS 試験法を用いた遺伝子組換えパパイヤ(55・  
1)の検知法について**

日本食品衛生学会第84回学術講演会(2002.10)

\*<sup>1</sup> 昭和薬科大学\*<sup>2</sup> 神戸検疫所輸入食品検疫検査センター\*<sup>3</sup> 大阪市立環境科学研究所\*<sup>4</sup> 埼玉県衛生研究所\*<sup>5</sup> 横浜検疫所輸入食品検疫検査センター

田端節子<sup>\*1</sup>, 中島正博<sup>\*2</sup>, 伊藤嘉典, 穂山 浩, 田中敏  
嗣<sup>\*3</sup>, 砂川紘之<sup>\*4</sup>, 長南隆夫<sup>\*4</sup>, 芳澤宅實<sup>\*5</sup>, 熊谷 進  
<sup>\*6</sup>: **市販国産牛乳のアフラトキシンM1汚染実態調査**

第53回マイコトキシン研究会学術講演会(2002.8)

\*<sup>1</sup> 東京都立衛生研究所\*<sup>2</sup> 名古屋市衛生研究所\*<sup>3</sup> 神戸市環境保健研究所\*<sup>4</sup> 北海道立衛生研究所\*<sup>5</sup> 香川大学農学部\*<sup>6</sup> 東京大学農学研究科

中島正博<sup>\*1</sup>, 田端節子<sup>\*2</sup>, 穠山 浩, 伊藤嘉典, 田中敏嗣<sup>\*3</sup>, 砂川紘之<sup>\*4</sup>, 長南隆夫<sup>\*4</sup>, 芳澤宅實<sup>\*5</sup>, 熊谷進<sup>\*6</sup>:  
**我が国における牛乳中アフラトキシンM1汚染実態調査およびリスクアセスメント**

日本食品衛生学会第84回学術講演会(2002.10)

<sup>\*1</sup> 東京都立衛生研究所

<sup>\*2</sup> 名古屋市衛生研究所

<sup>\*3</sup> 神戸市環境保健研究所

<sup>\*4</sup> 北海道立衛生研究所

<sup>\*5</sup> 香川大学農学部

<sup>\*6</sup> 東京大学農学研究科

穠山 浩, 澤口貴仁, 佐藤雄嗣, 酒井信夫, 渡邊敬浩, 庄司俊彦<sup>\*1</sup>, 神田智正<sup>\*1</sup>, 合田幸広, 米谷民雄: **リンゴ未熟果由来ポリフェノール-ルの全身性免疫系に及ぼす影響**  
第123年会日本薬学会(2003.3)

<sup>\*1</sup> アサヒビ-ル未来研究所

渡邊敬浩, 和久井千世子, 穠山 浩, 米谷民雄, 笠間菊子<sup>\*1</sup>, 松木容彦<sup>\*1</sup>: **遺伝子組換え食品定性検査法の外部精度管理について**

第39回全国衛生化学技術協議会年会(2002.10)

<sup>\*1</sup>(財)食品薬品安全センター秦野研究所

吉村倫彰<sup>\*1</sup>, 栗原秀夫<sup>\*2</sup>, 松岡 猛<sup>\*2</sup>, 児玉貴志<sup>\*2</sup>, 布藤 聡<sup>\*3</sup>, 小川真智子<sup>\*3</sup>, 渡辺 聡<sup>\*4</sup>, 青木信太郎<sup>\*5</sup>, 飯塚太由<sup>\*6</sup>, 吉川礼次<sup>\*6</sup>, 渡邊敬浩<sup>\*7</sup>, 和久井千世子<sup>\*7</sup>, 穠山 浩<sup>\*7</sup>, 米谷民雄<sup>\*7</sup>, 砂川美佐緒<sup>\*8</sup>, 日野明寛<sup>\*8</sup>, 一色賢司<sup>\*8</sup>: **ダイズ及びトウモロコシ加工食品中の遺伝子組換え体の定量**

日本食品衛生学会85回学術講演会(2003.5)

<sup>\*1</sup> アサヒビール(株)

<sup>\*2</sup>(独)農林水産消費技術センター

<sup>\*3</sup>(株)ファスマック

<sup>\*4</sup> ハウス食品(株)

<sup>\*5</sup>(財)日本食品分析センター

<sup>\*6</sup>(財)食品環境検査協会

<sup>\*7</sup> 国立医薬品食品衛生研究所

<sup>\*8</sup> 食品総合研究所

栗原秀夫<sup>\*1</sup>, 松岡 猛<sup>\*1</sup>, 吉村倫彰<sup>\*2</sup>, 井上真以子<sup>\*3</sup>, 古井 聡<sup>\*4</sup>, 正野仁慈<sup>\*5</sup>, 布藤 聡<sup>\*6</sup>, 小川真智子<sup>\*6</sup>, 大島慎司<sup>\*7</sup>, 渡邊敬浩<sup>\*8</sup>, 和久井千世子<sup>\*8</sup>, 穠山 浩<sup>\*8</sup>, 米谷民雄<sup>\*8</sup>, 砂川美佐緒<sup>\*9</sup>, 日野明寛<sup>\*9</sup>, 一色賢司<sup>\*9</sup>: **遺伝子組換え食品定量分析法のコラボレーションスタディ-I-ABI PRISM 7700, 7900HT(96及び384ウェル)ならびに7000を用いた内標比測定試験**

日本食品衛生学会85回学術講演会(2003.5)

<sup>\*1</sup>(独)農林水産消費技術センター

<sup>\*2</sup> アサヒビール(株)

<sup>\*3</sup> 飼料作物研究所

<sup>\*4</sup>(株)ニッポンジーン

<sup>\*5</sup> ハウス食品(株)

<sup>\*6</sup>(株)ファスマック

<sup>\*7</sup>(財)日本穀物検定協会

<sup>\*8</sup> 国立医薬品食品衛生研究所

<sup>\*9</sup> 食品総合研究所

児玉貴志<sup>\*1</sup>, 西山武夫<sup>\*1</sup>, 栗原秀夫<sup>\*1</sup>, 松岡 猛<sup>\*1</sup>, 日野明寛<sup>\*2</sup>, 渡邊敬浩, 穠山 浩<sup>\*3</sup>, 米谷民雄<sup>\*3</sup>: **表示対象加工食品からのDNA抽出法の検討**

日本食品衛生学会84回学術講演会(2002.11)

<sup>\*1</sup>(独)農林水産消費技術センター

<sup>\*2</sup> 食品総合研究所

渡邊敬浩, 穠山 浩, 米谷民雄, 山川宏人<sup>\*1</sup>, 飯島賢<sup>\*1</sup>, 布藤聡<sup>\*2</sup>, 小川真智子<sup>\*2</sup>, 吉田篤史<sup>\*3</sup>, 渡井正俊<sup>\*3</sup>: **PCR法を用いた特定原材料(小麦, そば, 落花生)検知法のバリデーションについて**

日本食品衛生学会84回学術講演会(2002.11)

<sup>\*1</sup>(株)日清製粉グループ本社

<sup>\*2</sup>(株)ファスマック

<sup>\*3</sup>(財)日本食品分析センター

渡邊敬浩, 和久井千世子, 穠山 浩, 米谷民雄, 栗原秀夫<sup>\*1</sup>, 松岡猛<sup>\*1</sup>, 太田順司<sup>\*2</sup>, 青木信太郎<sup>\*2</sup>, 渡井正俊<sup>\*2</sup>, 澤田千尋<sup>\*3</sup>, 森 曜子<sup>\*3</sup>, 重松万由<sup>\*4</sup>, 大峽太郎<sup>\*5</sup>, 梶野敏彦<sup>\*6</sup>, 砂川美佐緒<sup>\*7</sup>, 日野明寛<sup>\*7</sup>, 一色賢司<sup>\*7</sup>: **遺伝子組換え食品定量分析法のコラボレーションスタディ-II-ABI PRISM 7700, 7900HT(96及び384ウェル),ならびに7000を用いたブライントテスト及び機種間差試験**

日本食品衛生学会85回学術講演会(2003.5)

<sup>\*1</sup>(独)農林水産消費技術センター

<sup>\*2</sup> 日本食品分析センター

<sup>\*3</sup>(財)日本冷凍食品検査協会

<sup>\*4</sup>(株)日清製粉グループ本社

<sup>\*5</sup> 海外貨物検査株式会社

<sup>\*6</sup> 森永製菓株式会社

<sup>\*7</sup> 食品総合研究所

長岡(浜野)恵, 山崎 壮, 米谷民雄: **HPLC/高分解能ICP-MS法を用いたバナジウム( ),( ),( )のトランスフェリンに対する結合親和性の解析**  
第13回日本微量元素学会(2002.7)

米谷民雄, 長岡(浜野)恵: **HPLC-高分解能ICP-MSの生体試料への応用-トランスフェリンへの金属(Fe, Al)の結合状態の解析-**

‘02筑波セミナー(プラズマ分光分析研究会)(2002.7)

長岡(浜野)恵, 山崎 壮, 棚元憲一, 米谷民雄: **マウス膝窩リンパ節測定法(popliteal lymph node assay: PLNA)による水溶性物質の抗原性評価の試み**  
第123年会日本薬学会(2003.3)

Tanamoto, K.: **Microbiological Tests in JP and Pharmacopoeial harmonization**  
PDA-USP Joint Conference(2002.5)

久保田浩樹, 川崎洋子, 阿部有希子, 秋山卓美, 武田由比子, 四方田千佳子, 米谷民雄: **パンに含まれる臭素酸塩の高感度分析法の開発**

日本食品化学学会第8回学術大会(2002.6)

川崎洋子, 阿部有希子, 久保田浩樹, 米谷民雄, 石綿肇\*: **食品中のリン酸塩類の簡易分析法**

日本食品化学学会第8回学術大会(2002.6)

\*国立医薬品食品衛生研究所大阪支所

杉本直樹, 山崎 壮, 米谷民雄, 菊地博之\*, 井上かおり\*, 大田昌紀\*, 松藤 寛\*, 千野 誠\*, 武田明治\*: **テンリョウチャ抽出物の加水分解型タンニンについて**

日本食品化学学会第8回学術大会(2002.6)

\*日本大学生物資源科学部

Kawamura, Y.: **Effects of Gamma Irradiation on Polyethylene, Polypropylene and Polystyrene, Mainly Concerning General Antioxidants**

224th American Chemical Society National Meeting (2002.8)

久保田浩樹, 川崎洋子, 秋山卓美, 阿部有希子, 四方田千佳子, 米谷民雄, 棚元憲一, 大石充男\*<sup>1</sup>, 鈴木\*<sup>1</sup>仁\*<sup>1</sup>, 原田尚子\*<sup>2</sup>, 鈴木 忍\*<sup>2</sup>, 村上隆之\*<sup>3</sup>, 山田雄司\*<sup>3</sup>: **市販パン及びパン食材中の臭素酸塩の残留実態調査**

第39回全国衛生化学技術協議会年会(2002.10)

\*<sup>1</sup> 東京都立衛生研究所

\*<sup>2</sup> (財)日本食品分析センター

\*<sup>3</sup> 山崎製パン(株)中央研究所

梶村計志\*, 田頭洋子, 四方田千佳子, 岩上正蔵\*: **医薬品成分のメンブランフィルターへの吸着に関する研究**

第39回全国衛生化学技術協議会年会(2002.10)

\*大阪府立公衆衛生研究所

杉本直樹: **HPLC法による違反コチニール色素(耐酸性コチニール)の分析**

日本食品化学学会第14回食品化学シンポジウム(2002.11)

四方田千佳子, 久保田浩樹, 阿部有希子, 川崎洋子, 棚元憲一: **臭素酸のHPLCによる検出限界**

日本食品衛生学会第84回学術講演会(2002.11)

阿部有希子, 杉田たき子, 四方田千佳子, 石綿 肇\*, 米谷民雄, 棚元憲一: **軟質ポリ塩化ビニル製玩具中の可塑剤含有量と溶出量**

日本食品衛生学会第84回学術講演会(2002.11)

\*国立医薬品食品衛生研究所大阪支所

佐藤恭子, 植松洋子\*, 棚元憲一, 米谷民雄: **標準添加ヘッドスペースGCによる天然香料中の残留溶媒分析法**

日本食品衛生学会第84回学術講演会(2002.11)

\*東京都立衛生研究所(名称変更後: 東京都健康安全研

究センター)

Kawamura, Y.: **Migration of Nonylphenol from Polyvinyl Chloride Stretch Film**

SCOP/IUPAC International Symposium on Endocrine Active Substances and Supplementary Workshop (2002.11)

河村葉子, 小川裕子, 西村哲治, 菊池 裕, 西川淳一\*, 西原 力\*, 棚元憲一: **酵母Two-Hybrid試験による食品用プラスチックの紫外線吸収剤およびベンゾフェノン誘導体のエストロゲンレセプター結合活性**

環境ホルモン学会第5回研究発表会(2002.11)

\*大阪大学大学院薬学研究科

河村葉子: **食品用器具・容器包装中の残存化学物質の分析**

第254回ガスクロマトグラフィー研究会(2002.12)

河村葉子: **食品用器具・容器包装からの環境ホルモンの暴露**

第10回環境ホルモン学会講演会(2003.1)

大高怜子\*<sup>1</sup>, 前田昌子\*<sup>1</sup>, 岩上 猛\*<sup>2</sup>, 植田泰輔\*<sup>2</sup>, 木村良夫\*<sup>2</sup>, 今井一洋\*<sup>3</sup>, 四方田千佳子, 松田りえ子, 林讓: **HPLCにおける内部標準法の精度について**

日本薬学会第123年会(2003.3)

\*<sup>1</sup> 昭和大学薬学部

\*<sup>2</sup> 林純薬(株)

\*<sup>3</sup> 東京大学大学院薬学系研究科

河村葉子, 伊藤 誠\*<sup>1</sup>, 大野浩之\*<sup>2</sup>, 金子令子\*<sup>3</sup>, 河野政美\*<sup>4</sup>, 辰濃 隆\*<sup>5</sup>, 中村好志\*<sup>6</sup>, 馬場二夫\*<sup>7</sup>, 平山クニ\*<sup>8</sup>, 藤枝秀嘉\*<sup>9</sup>, 堀江正一\*<sup>10</sup>, 渡辺悠二\*<sup>11</sup>: **フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)およびフタル酸ジイソノールの定性および定量**

日本薬学会第123年会(2003.3)

\*<sup>1</sup> 東洋製罐(株)

\*<sup>2</sup> 名古屋市衛生研究所

\*<sup>3</sup> 東京都立衛生研究所

\*<sup>4</sup> 昭和ゴム(株)

\*<sup>5</sup> (財)日本食品衛生協会

\*<sup>6</sup> 静岡県立大学薬学部

\*<sup>7</sup> 武庫川女子大学

\*<sup>8</sup> 神奈川県衛生研究所

\*<sup>9</sup> (財)日本食品分析センター

\*<sup>10</sup> 埼玉県衛生研究所

\*<sup>11</sup> (財)化学技術戦略推進機構

大野浩之\*<sup>1</sup>, 河村葉子, 伊藤 誠\*<sup>2</sup>, 金子令子\*<sup>3</sup>, 河野政美\*<sup>4</sup>, 辰濃 隆\*<sup>5</sup>, 中村好志\*<sup>6</sup>, 馬場二夫\*<sup>7</sup>, 平山クニ\*<sup>8</sup>, 藤枝秀嘉\*<sup>9</sup>, 堀江正一\*<sup>10</sup>, 渡辺悠二\*<sup>11</sup>: **ジブチルスズ化合物: ガスクロマトグラフィー/質量分析による定量**

日本薬学会第123年会(2003.3)

- \*<sup>1</sup> 名古屋市衛生研究所
- \*<sup>2</sup> 東洋製罐(株)
- \*<sup>3</sup> 東京都立衛生研究所
- \*<sup>4</sup> 昭和ゴム(株)
- \*<sup>5</sup> (財)日本食品衛生協会
- \*<sup>6</sup> 静岡県立大学薬学部
- \*<sup>7</sup> 武庫川女子大学
- \*<sup>8</sup> 神奈川県衛生研究所
- \*<sup>9</sup> (財)日本食品分析センター
- \*<sup>10</sup> 埼玉県衛生研究所
- \*<sup>11</sup> (財)化学技術戦略推進機構

棚元憲一：局方収載微生物試験法の現状と国際調和  
日本防菌防黴学会主催「第18回GMPとバリデーション  
をめぐる諸問題に関するシンポジウム(2003.3)

大西(阿部)有希子, 杉本直樹, 久保田浩樹, 四方田千佳  
子, 棚元憲一：小麦粉及び小麦製品中の過酸化ベンゾイ  
ルと安息香酸の分別定量  
日本食品衛生学会第85回学術講演会(2003.5)

杉本直樹：天然添加物中の主成分の構造決定に関する研  
究  
日本食品衛生学会第85回学術講演会(2003.5)

細瀬和成\*, 棚元憲一：水系でのエンドトキシンの不活  
化  
日本防菌防黴学会第30回年次大会(2003.5)  
\*東京都立産業技術研究所

浅井美里, 佐藤英一\*, 山崎 学, 山本茂貴, 五十君静  
信：Listeriolysin O 関連遺伝子を発現させた組換え乳酸  
菌によるマウスへの免疫  
第75回日本細菌学会総会(2002.4)  
東京農大

岡田由美子, 牧野壮一\*, 岡田信彦\*, 戸辺 亨\*, 山  
崎省二\*: *Listeria monocytogenes* における *rel* 遺伝子の  
発現調節機構  
第75回日本細菌学会総会(2002.4)  
\*<sup>1</sup> 帯広畜産大学畜産学部  
\*<sup>2</sup> 北里大学薬学部  
\*<sup>3</sup> 大阪大学大学院医学系研究科  
\*<sup>4</sup> 国立公衆衛生院衛生獣医部

河野享子\*, 五十君静信, 加納康正\*: *Bifidobacterium*  
*longum* に導入した志賀毒素1型Bサブユニット(Stx1B)  
遺伝子の発現  
第75回日本細菌学会総会(2002.4)  
\*京都薬科大

Kelly, L. A. \*, Fazil, A. \*, Anderson, W. \*, Kasuga, F.,  
Lammerding, A. \*: WHO/FAO Risk Assessment for  
Salmonella in Broilers  
Third International Symposium on *Salmonella* and

salmonellosis (2002.5)  
\*<sup>1</sup> University of Strathclyde and Veterinary Laboratories  
Agency, UK  
\*<sup>2</sup> Health Canada  
\*<sup>3</sup> Food Safety Authority of Ireland

広田雅光, 伊藤嘉典, 春日文子：冷凍保存時における  
*Vibrio parahaemolyticus* の致死動態  
日本食品衛生学会第83回学術講演会(2002.5)

齊藤麻美\*, 牧島満利子\*, 佐野暁男\*, 片山三重子\*,  
角田光淳\*, 森田師郎\*, 中原理善\*, 小林昌子\*, 村  
松ミネ子\*, 貞永明彦\*, 波田野義純\*, 宮崎晴久\*,  
坂本卓雄\*, 金子克忠\*, 河原 章\*, 皆川武人\*, 春  
日文字：保育園における真菌の分布実態調査  
日本防菌防黴学会第29回年次大会(2002.5)  
\*<sup>1</sup> 杉並保健所  
\*<sup>2</sup> 関東学院大学  
\*<sup>3</sup> 杉並区環境清掃部

宮崎晴久\*, 森田師郎\*, 中原理善\*, 村松ミネ子\*,  
貞永明彦\*, 波田野義純\*, 河原章\*, 坂本卓雄\*, 小  
林昌子\*, 中村 実\*, 金子克忠\*, 皆川武人\*, 齊藤  
麻美\*, 牧島満利子\*, 佐野暁男\*, 片山三重子\*, 角  
田光淳\*, 春日文字：保育園の環境保健的対応に関する  
実地調査結果(続報)  
日本防菌防黴学会第29回年次大会(2002.5)  
\*<sup>1</sup> 杉並保健所  
\*<sup>2</sup> 関東学院大学

春日文子, 広田雅光, 山本茂貴, 岩堀淳一郎\*, 山本昭  
夫\*, 横山理恵子\*, 筒井俊之\*, 大森牧子\*, 藤川  
浩\*: 生卵摂取に伴うサルモネラ・エンテリティディス  
感染のリスクアセスメント - 対策案の効果の比較  
日本食品衛生学会第83回学術講演会(2002.5)  
\*<sup>1</sup> 高知医科大学  
\*<sup>2</sup> 兵庫県立健康環境科学研究所  
\*<sup>3</sup> 動物検疫所  
\*<sup>4</sup> 動物衛生研究所  
\*<sup>5</sup> 栃木県保健環境センター  
\*<sup>6</sup> 東京都衛生研究所

小島みゆき\*, 都島康彦\*, 小屋屋な子\*, 山田博之\*,  
新井麻奈美\*, 中川 弘\*, 伊藤 武\*, 春日文子：生  
活者視点に立ったキッチンの衛生対策  
日本防菌防黴学会第29回年次大会(2002.5)  
\*<sup>1</sup> 花王株式会社  
\*<sup>2</sup> (財)栃木県保健衛生事業団  
\*<sup>3</sup> 東京顕微鏡院

五十君静信, 近藤美佳\*, 浅井美里, 村上和雄\*, 佐藤  
英一\*, 山崎 学, 天野富美夫\*, 山本茂貴：乳酸菌の  
菌体表層に発現したリステリオリジンOのJA-4細胞の  
食作用に与える影響  
第6回腸内細菌学会(2002.5)

\*<sup>1</sup> 東京家政大

\*<sup>2</sup> 東京農大

\*<sup>3</sup> 大阪薬科大

大石金成\*, 渡辺正明\*, 斉藤美佳子\*, 松岡英明\*, 五十君静信: **蛍光グルコース・蛍光アミノ酸による食中毒菌の検出**

第29回日本防菌防黴学会(2002.5)

\*東京農工大

村松ミネ子\*, 坂本卓雄\*, 貞永明彦\*, 河原 章\*, 皆川武人\*, 春日文子: **区立保育園における保育環境実態調査**

東京都・特別区環境衛生職員研究会研究発表会(2002.7)

\*杉並保健所

Kasuga, F.: **Archiving of food samples from restaurants and caterers**

1st International Conference on Microbiological Risk Assessment: Foodborne Hazards (2002.7)

五十君静信: **サルモネラの病原性についての話題**

第4回感染研・国立衛研・都衛研・動薬研技術連絡会議(2002.7)

伊藤嘉典: **最近のマイコトキシンの現状**

第29回カビ毒研究連絡会(2002.8)

Strachan, N. J. C. \*, Kasuga, F., Ogden, I. D. \*: **Application of a Dose Response model for *Escherichia coli* O157 to help explain foodborne outbreaks**

Food Micro 2002 (2002.8)

\*University of Aberdeen, UK

福田 賢\*, 辰巳宏樹\*, 五十君静信: **生物発光酵素免疫測定法を用いたサルモネラ検査キットの開発**

第23回食品微生物学会学術総会(2002.9)

\*キッコーマン(株)研究本部

山崎 学, 天野富美夫\*<sup>1</sup>, 片山葉子\*<sup>2</sup>, 山本茂貴, 五十君静信: ***Campylobacter jejuni* の coccoid 化における酸素の影響**

第23回食品微生物学会学術総会(2002.9)

\*<sup>1</sup> 大阪薬科大

\*<sup>2</sup> 東京農工大

田中康仁\*<sup>1</sup>, 滝澤万紀子\*<sup>1</sup>, 五十君静信, 天野富美夫\*<sup>2</sup>: **リポ多糖による RAW 264.7 マクロファージ細胞の PGHS-2 誘導に及ぼす各種非ステロイド系抗炎症剤の誘導促進効果とプロスタグランジン合成の阻害について**

第75回日本生化学会大会(2002.9)

\*<sup>1</sup> 国立感染研

\*<sup>2</sup> 大阪薬科大

渡辺正明\*, 小曾根郁子\*, 斎藤美佳子\*, 松岡英明\*, 五十君静信: **バイオセルアッセイ法による食中毒菌の迅速測定**

日本化学会バイオテクノロジー部会(2002.9)

\*東京農工大

春日文子: **食中毒対策のツールとしての微生物学的リスクアセスメント**

第134回日本獣医学会学術集会(2002.9)

山本茂貴: **厚生サイドから見た HACCP の進展 (シンポジウム)**

第23回日本食品微生物学会学術総会(2002.9)

鈴木穂高, 土井邦雄\*: **リンパ節欠損 (*aly/aly*) マウスにおける小腸上皮細胞間リンパ球 (IEL) subset の部位差**

第134回日本獣医学会(2002.9)

\*東京大学農学部

春日文子: **海外におけるリスクアセスメントの実例紹介 - カキにおける腸炎ピブリオのリスクアセスメント: FDA**

第11回獣疫学会学術集会(2002.9)

永田貴之\*, 鈴木穂高, 黒澤明日香\*, ポアポラテップ・アムナート\*, 上塚浩司\*, 中山裕之\*, 土井邦雄\*: **T-2 トキシン経口投与マウスのリンパ系組織におけるリンパ球サブセットの変動**

第134回日本獣医学会(2002.9)

\*東京大学農学部

奥谷晶子, 五十君静信: **リステリアの薬剤感受性および国内の食品別汚染状況実態調査について - 文献調査報告 -**

第5回感染研・動薬検・都衛研・国衛研技術連絡会議(2002.10)

岡田由美子, 山本茂貴, 五十君静信: **リステリアの高食塩濃度耐性機構について**

第5回感染研・動薬検・都衛研・国衛研技術連絡会議(2002.10)

山崎 学, 天野富美夫\*, 山本茂貴, 五十君静信: **好気ストレスが嫌気条件下で培養した *Campylobacter jejuni* に及ぼす影響**

日本細菌学会関東支部会(2002.11)

\*大阪薬科大

岩堀淳一郎\*<sup>1</sup>, 山本昭夫\*<sup>2</sup>, Vuddhakul, V.\*<sup>3</sup>, Kalnawakul, S.\*<sup>3</sup>, Chowdhury, A.\*<sup>4</sup>, 重松美加\*<sup>5</sup>, 小坂健\*<sup>5</sup>, 豊福肇\*<sup>6</sup>, 春日文子, 山本茂貴, 西淵光昭\*<sup>4</sup>: **タイ南部における赤貝の摂食に伴う腸炎ピブリオ感染の定量的リスクアセスメント: 微生物学的リスクアセスメントにおける国際協力**

日本リスク研究学会研究発表会 (2002. 11)

\*<sup>1</sup> 高知医科大学

\*<sup>2</sup> 兵庫県立健康環境科学研究所

\*<sup>3</sup> Prince of Songkha University, Thailand

\*<sup>4</sup> 京都大学

\*<sup>5</sup> 国立感染症研究所

\*<sup>6</sup> WHO Department of Food Safety

Yamamoto, A. \*<sup>1</sup>, Iwahori, J. \*<sup>2</sup>, Shigematsu, M. \*<sup>3</sup>, Osaka, K. \*<sup>3</sup>, Toyofuku, H. \*<sup>4</sup>, Kasuga, F., Nishibuchi, M. \*<sup>5</sup> : **Quantitative modeling for risk assessment of *Vibrio arahaemolyticus* in southern Thailand**

The 37th Joint Conference of U.S. - Japan Cooperative Medical Science Program, Cholera and Other Bacterial Enteric Infections Panel (2002. 12)

\*<sup>1</sup> 兵庫県立健康環境科学研究所

\*<sup>2</sup> 高知医科大学

\*<sup>3</sup> 国立感染症研究所

\*<sup>4</sup> WHO Department of Food Safety

\*<sup>5</sup> 京都大学

五十君静信, 天野富美夫\* : **サルモネラのDNA結合タンパクの性質について**

第6回感染研・動薬検・都衛研・国立衛研技術連絡会議 (2003. 1)

\*大阪薬科大

春日文子 : **FAO/WHOならびにCodexの動向 - リスクアナリシス**

日本防菌防黴学会微生物制御システム研究部会公開講演会 (2003. 2)

五十君静信 : **コレラ菌の検出法**

地研全国協議会関東甲信静支部細菌研究部会 (2003. 2)

五十君静信 : **乳酸菌を応用した感染症対策**

第135回日本獣医学会微生物学分会ワークショップ (2003. 3)

岡田由美子, 牧野壮一\*, 五十君静信, 山本茂貴 : **高食塩濃度下における *Listeria* の遺伝子発現について**

第76回日本細菌学会総会 (2003. 4)

\*帯広畜産大学畜産学部

奥谷晶子, 岡田由美子, 山本茂貴, 五十君静信 : **日本国内におけるリステリア症発生状況のアクティブ・サーベイランス**

第76回日本細菌学会総会 (2003. 4)

山崎 学, 天野富美夫\*, 山本茂貴, 五十君静信 : ***Campylobacter jejuni* の酸化ストレス応答タンパク質の同定**

第76回日本細菌学会総会 (2003. 4)

\*大阪薬科大

梶川揚申\*, 五十君静信, 佐藤英一\* : **Intiminを抗原とする組換え乳酸菌の経口ワクチンモデル**

2003年度日本農芸化学会大会 (2003. 4)

\*東京農大

Kumazawa Y. \*, Takimoto H. \*, Kawahara K. \*, Muroi M., Tanamoto K. : **Different responses of macrophages via TLR4 to tetrasaccharide-type glycosphingolipids from *Sphingomonas***

7th Conference of the International Endotoxin Society (2002. 7)

\*北里大学

Muroi, M., Ohnishi, T., and Tanamoto, K. : **MD-2 is involved in species-specific actions of *Salmonella* lipid A**

7th Conference of the International Endotoxin Society (2002. 7)

Ohnishi, T., Muroi, M., and Tanamoto, K : **The function of N-linked glycosylations at Asn<sup>26</sup> and Asn<sup>114</sup> of human MD-2 on Toll-like receptor 4-mediated signal transduction**

7th Conference of the International Endotoxin Society (2002. 7)

畑尾史彦\*, 比企直樹\*, 小川利久\*, 小島淳一\*, 三村芳和\*, 上西紀夫\*, 室井正志, 棚元憲一 : **Endotoxin tolerance に対する交感神経β受容体刺激の影響**

第39回日本外科代謝栄養学会 (2002. 7)

\*東京大学

室井正志, 大西貴弘, 棚元憲一 : **Toll-like receptor を介するNF-κBの活性化に必須なCD14分子の機能的部位の探索**

第8回日本エンドトキシン研究会 (2002. 11)

大西貴弘, 室井正志, 棚元憲一 : **Toll-like receptor 4の膜発現に重要なN-グリコシル化におけるMD-2の役割**

第8回日本エンドトキシン研究会 (2002. 11)

畑尾史彦\*, 比企直樹\*, 小島淳一\*, 小川利久\*, 三村芳和\*, 上西紀夫\*, 室井正志, 棚元憲一 : **Endotoxin tolerance に対する交感神経β受容体刺激の影響**

第8回日本エンドトキシン研究会 (2002. 11)

\*東京大学

杉山圭一, 室井正志, 棚元憲一 : **LPSによるマクロファージ活性化に与える内分泌かく乱物質の影響**

第76回日本細菌学会総会 (2003. 4)

志水美文, 室井正志, 棚元憲一 : **内毒素によるマクロファージからの一酸化窒素産生に与える内分泌かく乱化学物質の作用機序**

第76回日本細菌学会総会 (2003. 4)

室井正志, 大西貴弘, 棚元憲一 : **Toll-like receptor を**

**介するシグナル伝達に必須なマウスCD14分子の機能的部位の解析**

第76回日本細菌学会総会(2003.4)

**大西貴弘, 室井正志, 棚元憲一: Toll-like receptor 4の膜発現におけるMD-2の役割**

第76回日本細菌学会総会(2003.4)

宮原美知子, 松下 秀<sup>\*1</sup>, 甲斐明美<sup>\*1</sup>, 柳川敬子<sup>\*2</sup>, 沖津忠行<sup>\*3</sup>, 内村眞佐子<sup>\*4</sup>, 田中廣行<sup>\*5</sup>, 中川 弘<sup>\*6</sup>, 佐々木 直<sup>\*7</sup>, 小林一寛<sup>\*8</sup>, 小川博美<sup>\*9</sup>, 村瀬 稔<sup>\*10</sup>, 片山 淳<sup>\*11</sup>, 安形則雄<sup>\*12</sup>, 斉藤紀行<sup>\*13</sup>, 山内昭則<sup>\*14</sup>, 尾崎延芳<sup>\*15</sup>, 八柳 潤<sup>\*16</sup>, 村上光一<sup>\*17</sup>, 大友良光<sup>\*18</sup>, 山口仁孝<sup>\*19</sup>, 小笠原邦敏<sup>\*20</sup>, 宮城和文<sup>\*21</sup>, 仁科徳啓<sup>\*22</sup>, 寺嶋 淳<sup>\*23</sup>, 田村和満<sup>\*23</sup>, 小沼博隆: **赤痢菌検査法の設定に関する研究 1. コラボレーティブスタディ結果について**

第23回日本食品微生物学会学術総会(2002.9)

<sup>\*1</sup> 東京都立衛生研究所

<sup>\*2</sup> 埼玉県衛生研究所

<sup>\*3</sup> 神奈川県衛生研究所

<sup>\*4</sup> 千葉県衛生研究所

<sup>\*5</sup> (財)日本食品分析センター

<sup>\*6</sup> (財)東京顕微鏡院

<sup>\*7</sup> (財)日本冷凍食品検査協会

<sup>\*8</sup> 大阪府公衆衛生研究所

<sup>\*9</sup> 広島県保健環境センター

<sup>\*10</sup> 神戸市環境保健研究所

<sup>\*11</sup> 山口県環境保健研究センター

<sup>\*12</sup> 名古屋市衛生研究所

<sup>\*13</sup> 宮城県保健環境センター

<sup>\*14</sup> 三重県科学技術振興センター

<sup>\*15</sup> 福岡市保健環境研究所

<sup>\*16</sup> 秋田県衛生研究所

<sup>\*17</sup> 福岡県環境保健研究所

<sup>\*18</sup> 青森県環境保健センター

<sup>\*19</sup> 長崎県衛生公害研究所

<sup>\*20</sup> 輸入食品・検疫検査センター(横浜)

<sup>\*21</sup> 輸入食品・検疫検査センター(神戸)

<sup>\*22</sup> 東海大学短期大学部静岡校

<sup>\*23</sup> 国立感染症

宇田川藤江<sup>\*</sup>, 田中廣行<sup>\*</sup>, 高須一重<sup>\*</sup>, 丹野憲二<sup>\*</sup>, 宮原美知子, 小沼博隆: **自動PCR細菌検査システムによるサルモネラの迅速検出法に関する検討**

第23回日本食品微生物学会学術総会(2002.9)

<sup>\*</sup>(財)日本食品分析センター

長谷川順子<sup>\*1</sup>, 仁科徳啓<sup>\*1</sup>, 三輪憲永<sup>\*2</sup>, 増田高志<sup>\*2</sup>, 宮原美知子, 小沼博隆: **Enterohemolysin 培地での *Shigella* spp.の溶血活性**

第23回日本食品微生物学会学術総会(2002.9)

<sup>\*1</sup> 東海大学短期大学部静岡校

<sup>\*2</sup> 静岡県環境衛生科学研究所

宮原美知子, 小沼博隆: **赤痢菌の保存における消長について**

第123回日本薬学会(2003.3)

宮原美知子, 小沼博隆: **赤痢菌と大腸菌のPCRによる同定法の検討**

第76回日本細菌学会総会(2003.4)

宮原美知子, 小沼博隆: **食品からの赤痢菌検出感度**

日本食品衛生学会第85回学術講演会(2003.5)

宮原美知子, 小沼博隆: **腸管出血性大腸菌とサルモネラの野菜での増殖挙動**

第30回日本防菌防黴学会年次大会(2003.5)

松谷佐知子: **ISI 遺伝子の転写制御機構**

Workshop for Lateral DNA Transfer-From DNA conjugation to evolution(2002.10)

松谷佐知子: **細菌の挿入因子ISIの転写装置と進化**

第25回日本分子生物学会年会(2002.12)

工藤由起子: **食品中における腸管出血性大腸菌の凍結損傷とその検出**

第29回日本防菌防黴学会(2002.5)

工藤由起子: **腸炎ビブリオ食中毒防止のための1999年以降の対策とその効果**

第134回日本獣医学会(2002.9)

HARA-KUDO, Y., NISHINA<sup>\*1</sup>, T., NAKAGAWA<sup>\*2</sup>, H., KONUMA, H. AND KUMAGAI, S.<sup>\*3</sup>: **An Improved Detection Method of *Vibrio parahaemolyticus* in Seafoods using Modified Enrichment and a New Chromogenic Agar Medium**

27th World Veterinary Congress(2002.9)

<sup>\*1</sup> 東海大学短期大学部静岡校

<sup>\*2</sup> 財団法人東京顕微鏡院

<sup>\*3</sup> 東京大学院農生命

工藤由起子, 杉山寛治<sup>\*1</sup>, 西淵光昭<sup>\*2</sup>, Ashrafuzzaman Chowdhury<sup>\*2</sup>, 大友良光<sup>\*3</sup>, 八柳 潤<sup>\*4</sup>, 中川 弘<sup>\*5</sup>, 仁科徳啓<sup>\*6</sup>, 斎藤章暢<sup>\*7</sup>, 長野英俊<sup>\*8</sup>, 宮原美知子, 小沼博隆, 熊谷 進<sup>\*9</sup>: **国内産魚介類におけるTDH産生性腸炎ビブリオ菌数の定量と分離菌株の解析**

第36回腸炎ビブリオシンポジウム(2002.12)

<sup>\*1</sup> 静岡環境衛生科学研究所

<sup>\*2</sup> 京都大学

<sup>\*3</sup> 青森県環境保険センター国立感染症研究所

<sup>\*4</sup> 秋田県衛生科学研究所

<sup>\*5</sup> 財団法人東京顕微鏡院

<sup>\*6</sup> 東海大学短期大学部静岡校

<sup>\*7</sup> 埼玉県衛生研究所

<sup>\*8</sup> 福岡県保険環境研究所

<sup>\*9</sup> 東京大学院農生命

工藤由起子, 杉山寛治<sup>\*1</sup>, 西淵光昭<sup>\*2</sup>, Ashrafuzzaman Chowdhury<sup>\*2</sup>, 大友良光<sup>\*3</sup>, 八柳 潤<sup>\*4</sup>, 中川 弘<sup>\*5</sup>, 仁科徳啓<sup>\*6</sup>, 斎藤章暢<sup>\*7</sup>, 長野英俊<sup>\*8</sup>, 宮原美知子, 小沼博隆, 熊谷 進<sup>\*9</sup>: **国内産魚介類からのTDH産生性腸炎ビブリオの検出と分離菌株の解析**

日本食品衛生学会第85回学術講演会(2003.5)

<sup>\*1</sup> 静岡環境衛生科学研究所

<sup>\*2</sup> 京都大学

<sup>\*3</sup> 青森県環境保険センター国立感染症研究所

<sup>\*4</sup> 秋田県衛生科学研究所

<sup>\*5</sup> 財団法人東京顕微鏡院

<sup>\*6</sup> 東海大学短期大学部静岡校

<sup>\*7</sup> 埼玉県衛生研究所

<sup>\*8</sup> 福岡県保険環境研究所

<sup>\*9</sup> 東京大学院農生命

大河内美穂<sup>\*1</sup>, 工藤由起子, 平山和宏<sup>\*1</sup>, 熊谷 進<sup>\*1</sup>: **腸炎ビブリオの低浸透圧耐性**

第29回日本防菌防黴学会(2002.5)

<sup>\*1</sup> 東京大学大学院

林谷秀樹<sup>\*1</sup>, 佐伯和美<sup>\*1</sup>, 木下寿和奈<sup>\*1</sup>, 野村義宏<sup>\*1</sup>, OKATANI A. TOMOMITSU<sup>\*1</sup>, 堀北 哲也<sup>\*1</sup>, 堀坂知子<sup>\*1</sup>, 工藤由起子, 熊谷 進<sup>\*2</sup>, 金子賢一<sup>\*1</sup>: **病原性 *Yersinia enterocolitica* の熱抵抗性ならびに菌体脂肪酸組成に関する研究**

第83回日本食品衛生学会(2002.5)

<sup>\*1</sup> 東京農工大学農学部

<sup>\*2</sup> 東京大学大学院

杉山寛治<sup>\*1</sup>, 大友良光<sup>\*2</sup>, 八柳 潤<sup>\*3</sup>, 斎藤章暢<sup>\*4</sup>, 長野英俊<sup>\*5</sup>, 中川 弘<sup>\*6</sup>, 仁科徳啓<sup>\*7</sup>, Ashrafuzzaman Chowdhury<sup>\*8</sup>, 西淵光昭<sup>\*8</sup>, 宮原美知子, 小沼博隆, 工藤由起子, 熊谷 進<sup>\*9</sup>: **国内産魚介類の腸炎ビブリオ汚染実態**

第83回日本食品衛生学会(2002.5)

<sup>\*1</sup> 静岡環境衛生科学研究所

<sup>\*2</sup> 京都大学

<sup>\*3</sup> 青森県環境保険センター国立感染症研究所

<sup>\*4</sup> 秋田県衛生科学研究所

<sup>\*5</sup> 財団法人東京顕微鏡院

<sup>\*6</sup> 東海大学短期大学部静岡校

<sup>\*7</sup> 埼玉県衛生研究所

<sup>\*8</sup> 福岡県保険環境研究所

<sup>\*9</sup> 東京大学院農生命

林谷秀樹<sup>\*1</sup>, 佐伯和美<sup>\*1</sup>, 野村義宏<sup>\*1</sup>, Okatani Alexandre Tomomitsu<sup>\*1</sup>, 堀北哲也<sup>\*1</sup>, 堀坂知子<sup>\*1</sup>, 金子賢一<sup>\*1</sup>, 工藤由起子, 熊谷進<sup>\*2</sup>: **病原性 *Yersinia enterocolitica* の熱抵抗性と菌体脂肪酸組成に関する研究**

第134回日本獣医学会(2002.9)

<sup>\*1</sup> 東京農工大学農学部

<sup>\*2</sup> 東京大学大学院

Tsuchiya, T.<sup>\*1</sup>, Umeda, M.<sup>\*2</sup>, Nishiyama, H.<sup>\*3</sup>, Yoshimura, I.<sup>\*3</sup>, Sakai, A., Tanaka, N.<sup>\*3</sup>, and co-authors: **The 2nd validation study in Japan on the modified two-stage transformation assay employing BALB/c 3T3 cells**  
Fourth World Congress: Alternatives and Animal Use in the Life Sciences (2002.8)

<sup>\*1</sup> 萬有製薬(株)

<sup>\*2</sup> (財)食品薬品安全センター

<sup>\*3</sup> 東京理科大学工学部

大森清美<sup>\*1</sup>, 梅田 誠<sup>\*2</sup>, 高木弘毅<sup>\*3</sup>, 吉村 功<sup>\*4</sup>, 佐々木澄志<sup>\*2</sup>, 浅田 晋<sup>\*2</sup>, 田中憲穂<sup>\*2</sup>, 酒井綾子, 中村好志<sup>\*5</sup>, 大石英俊<sup>\*6</sup>, 鷲塚昌隆<sup>\*7</sup>, 荒木春美<sup>\*8</sup>, 鬼頭暢子<sup>\*8</sup>, 矢島 聡<sup>\*9</sup>, 浅倉眞澄<sup>\*10</sup>, 中村 哲<sup>\*11</sup>, 嶋田佐和子<sup>\*12</sup>, 宇野芳文<sup>\*13</sup>, 馬場 博<sup>\*13</sup>, 山本康人<sup>\*14</sup>, 伏脇裕一<sup>\*1</sup>, 土屋敏行<sup>\*15</sup>: **発癌プロモーター簡易検出法 Bhas assay の研究室間バリデーション・スタディー(その1)**

日本環境変異原学会第31回大会(2002.11)

<sup>\*1</sup> 神奈川県衛生研究所

<sup>\*2</sup> (財)食品薬品安全センター

<sup>\*3</sup> アベンティスファーマ(株)

<sup>\*4</sup> 東京理科大学工学部

<sup>\*5</sup> 静岡県立大学薬学部

<sup>\*6</sup> 大日本製薬(株)

<sup>\*7</sup> ゼリア新薬工業(株)

<sup>\*8</sup> 富山化学工業(株)

<sup>\*9</sup> 高砂香料工業(株)

<sup>\*10</sup> 日本バイオアッセイセンター

<sup>\*11</sup> キャノン(株)

<sup>\*12</sup> (財)食品農医薬品安全性評価センター

<sup>\*13</sup> 三菱ウエルファーマ(株)

<sup>\*14</sup> ライオン(株)

<sup>\*15</sup> 萬有製薬(株)

高木弘毅<sup>\*1</sup>, 吉村 功<sup>\*2</sup>, 大森清美<sup>\*3</sup>, 梅田 誠<sup>\*4</sup>, 佐々木澄志<sup>\*4</sup>, 浅田 晋<sup>\*4</sup>, 田中憲穂<sup>\*4</sup>, 酒井綾子, 中村好志<sup>\*5</sup>, 大石英俊<sup>\*6</sup>, 鷲塚昌隆<sup>\*7</sup>, 荒木春美<sup>\*8</sup>, 鬼頭暢子<sup>\*8</sup>, 矢島 聡<sup>\*9</sup>, 浅倉眞澄<sup>\*10</sup>, 中村 哲<sup>\*11</sup>, 嶋田佐和子<sup>\*12</sup>, 宇野芳文<sup>\*13</sup>, 馬場 博<sup>\*13</sup>, 山本康人<sup>\*15</sup>, 伏脇裕一<sup>\*3</sup>, 土屋敏行<sup>\*15</sup>: **バリデーション研究の泣き所 施設間差は実験手技から?**

第16回日本動物実験代替法学会大会(2002.12)

<sup>\*1</sup> アベンティスファーマ(株)

<sup>\*2</sup> 東京理科大学工学部

<sup>\*3</sup> 神奈川県衛生研究所

<sup>\*4</sup> (財)食品薬品安全センター

<sup>\*5</sup> 静岡県立大学薬学部

<sup>\*6</sup> 大日本製薬(株)

<sup>\*7</sup> ゼリア新薬工業(株)

<sup>\*8</sup> 富山化学工業(株)

<sup>\*9</sup> 高砂香料工業(株)

<sup>\*10</sup> 日本バイオアッセイセンター

<sup>\*11</sup> キャノン(株)

<sup>\*12</sup> (財)食品農医薬品安全性評価センター

\*13 三菱ウエルファーマ(株)

\*14 ライオン(株)

\*15 萬有製薬(株)

土屋敏行<sup>\*1</sup>, 梅田 誠<sup>\*2</sup>, 西山 智<sup>\*3</sup>, 吉村 功<sup>\*4</sup>, 酒井綾子他: BALB/c 3T3細胞を用いる改良形質転換試験の有用性評価: 第2回共同研究報告

第16回日本動物実験代替法学会大会(2002.12)

\*1 萬有製薬(株)

\*2 (財)食品医薬品安全センター

\*3 アベンティスファーマ(株)

\*4 東京理科大学工学部

大森清美<sup>\*1</sup>, 梅田 誠<sup>\*2</sup>, 高木弘毅<sup>\*3</sup>, 吉村 功<sup>\*4</sup>, 佐々木澄志<sup>\*2</sup>, 浅田晋<sup>\*2</sup>, 田中憲穂<sup>\*2</sup>, 酒井綾子, 中村好志<sup>\*5</sup>, 大石英俊<sup>\*6</sup>, 鷲塚昌隆<sup>\*7</sup>, 荒木春美<sup>\*8</sup>, 鬼頭暢子<sup>\*8</sup>, 矢島 聡<sup>\*9</sup>, 浅倉眞澄<sup>\*10</sup>, 中村 哲<sup>\*11</sup>, 嶋田佐和子<sup>\*12</sup>, 宇野芳文<sup>\*13</sup>, 馬場 博<sup>\*13</sup>, 山本康人<sup>\*14</sup>, 伏脇裕一<sup>\*1</sup>, 土屋敏行<sup>\*15</sup>: 発がんプロモーター簡易検出法 Bhas assayの開発・応用と研究室間バリデーション・スタディー

第16回日本動物実験代替法学会大会(2002.12)

\*1 神奈川県衛生研究所

\*2 (財)食品医薬品安全センター

\*3 アベンティスファーマ(株)

\*4 東京理科大学工学部

\*5 静岡県立大学薬学部

\*6 大日本製薬(株)

\*7 ゼリア新薬工業(株)

\*8 富山化学工業(株)

\*9 高砂香料工業(株)

\*10 日本バイオアッセイセンター

\*11 キャノン(株)

\*12 (財)食品農医薬品安全性評価センター

\*13 三菱ウエルファーマ(株)

\*14 ライオン(株)

\*15 萬有製薬(株)

菊池 裕, 掛谷知志, 高鳥浩介, 中村尚登<sup>\*1</sup>, 松田治男<sup>\*1</sup>, 山崎 壮, 棚元憲一, 澤田純一: ヒト・グリオーマ細胞の蛋白質分解酵素抵抗性プリオン蛋白質産生機構の解析

第75回日本生化学会大会(2002.10)

\*1 広島大学

掛谷知志, 菊池裕, 高鳥浩介, 山崎壮, 棚元憲一, 澤田純一: ヒト・グリオブラストーマ細胞株T98Gにおける熱ショックによるプリオン蛋白質の発現

第75回日本生化学会大会(2002.10)

小西良子, 小林一夫, 鈴木嘉彦<sup>\*1</sup>: 授乳を介したダイオキシンの曝露がリステリア感染に及ぼす影響

第9回日本免疫毒性学会(2002.9)

\*1 麻布大学獣医学部

Sugita-Konishi, Y., Poapolathep, A.<sup>\*1</sup>, Yamamoto, S.<sup>\*2</sup>,

Doi, K.<sup>\*1</sup> and Kumagai, S.<sup>\*1</sup>: Comparison of the fates of nivalenol and fusarenon-X in mice

37<sup>th</sup> Joint Panel Meeting, United states-Japan cooperative program on development and utilization of natural resources (2002.11)

\*1 東京大学大学院

\*2 国立衛研食品衛生管理部

Takatori, T., Sugita-Konishi, Y., Tanaka, T.<sup>\*1</sup>, Sunagawa, H.<sup>\*2</sup>, Yoshizawa, T.<sup>\*3</sup>, Kumagai, S.<sup>\*4</sup>: Provisional level of deoxynivalenol (DON) in wheat in Japan

37<sup>th</sup> Joint Panel Meeting, United states-Japan cooperative program on development and utilization of natural resources. (2002.11)

\*1 神戸市環境保健研究所

\*2 北海道衛生研究所

\*3 香川大学農学部

\*4 東京大学大学院

小西良子, Pestka, J.J.<sup>\*1</sup>: ディオキシニバレノールのヒトマクロファージにおける炎症性サイトカインの産生に及ぼす影響

日本食品衛生学会(2002.11)

\*1 ミシガン州立大学

小西良子: 感染症防御システムとトリコテセンマイコトキシン

マイコトキシン研究会 第53学術講演会(2003.1)

塚崎 匡<sup>\*1</sup>, 薩 秀夫<sup>\*1</sup>, 小西良子, 清水 誠<sup>\*1</sup>: 腸管上皮細胞 Caco-2 におけるトリブチルスズ (TBT) に透過・吸収の食品成分による制御

日本農芸化学会大会(2003.4)

\*1 東京大学大学院

小林一夫, 服部 誠<sup>\*1</sup>, 工藤由起子, 山本茂貴<sup>\*2</sup>, 小西良子: 食中毒菌に対するオパムチン由来糖ペプチドの結合能

日本農芸化学会大会(2003.4)

\*1 東京農工大学

\*2 国立衛研 食品衛生管理部

中島 耕平<sup>\*1</sup>, 小西良子, 小林一夫, 好田 正<sup>\*1</sup>, 服部 誠<sup>\*1</sup>: 牛乳グリコマクロペプチドの腸管感染予防効果

日本農芸化学会大会(2003.4)

\*1 東京農工大学

Poapolathep, A.<sup>\*1</sup>, Sugita-Konishi, Y., Doi, K.<sup>\*1</sup> and Kumagai, S.<sup>\*1</sup>: Changes in lymphocyte subsets and apoptosis in lymphoid tissues of nivalenol-treated mice

42nd Annual Meeting of the Society of Toxicology, March 9-13, 2003 at the Salt Palace Convention Center, Salt Lake City, Utah. (2003.3)

\*1 東京大学大学院

奥田晴宏：新医薬品等の承認申請資料等に関する留意事項について - 品質・非臨床分野を中心にして -  
第13回新薬審査部門定期説明会 (2002. 6)

Okuda, H. : Current Approval system & Requirement for Quality Information  
ABPI Japanese CMC/Quality Forum (2003. 3)

福原 潔, 中西郁夫<sup>\*1</sup>, 袴田 航, 宮崎健太郎<sup>\*2</sup>, 寒水壽郎, 島田知一<sup>\*2</sup>, 木村光宏<sup>\*2</sup>, 山口健太郎<sup>\*3</sup>, 浦野四郎<sup>\*2</sup>, 宮田直樹<sup>\*3</sup>, 奥田晴宏：**抗酸化作用の増強を目的とした平面型カテキンの開発**  
第9回日本がん予防研究会 (2002. 7)

<sup>\*1</sup> 放射線医学総合研究所

<sup>\*2</sup> 芝浦工業大学応用化学科

<sup>\*3</sup> 千葉大学分析センター

<sup>\*4</sup> 名古屋市立大学大学院薬学研究科

中西郁夫<sup>\*1</sup>, 福原 潔, 宮崎健太郎<sup>\*2</sup>, 田草川光子<sup>\*1</sup>, 浦野四郎<sup>\*2</sup>, 大久保 敬<sup>\*3</sup>, 小西利史<sup>\*4</sup>, 藤塚 守<sup>\*5</sup>, 伊藤 攻<sup>\*4</sup>, 福住俊一<sup>\*3</sup>, 宮田直樹<sup>\*6</sup>, 伊古田暢夫<sup>\*1</sup>, 小澤俊彦<sup>\*1</sup>：**フラレン内包 $\beta$ ・および $\gamma$ ・シクロデキストリン錯体の光DNA切断活性**  
第23回フラレン・ナノチューブ総合シンポジウム (2002. 7)

<sup>\*1</sup> 放射線医学総合研究所

<sup>\*2</sup> 芝浦工業大学応用化学科

<sup>\*3</sup> 大阪大学大学院工学研究科

<sup>\*4</sup> 東北大学多元物質科学研究所

<sup>\*5</sup> 大阪大学産業科学研究所

<sup>\*6</sup> 名古屋市立大学大学院薬学研究科

中西郁夫<sup>\*1</sup>, 宮崎健太郎<sup>\*2</sup>, 大久保 敬<sup>\*3</sup>, 島田知一<sup>\*2</sup>, 浦野四郎<sup>\*2</sup>, 伊古田暢夫<sup>\*1</sup>, 小沢俊彦<sup>\*1</sup>, 福住俊一<sup>\*3</sup>, 福原 潔：**抗酸化剤に由来するフェノキシラジカルと金属イオンとの相互作用**  
第52回錯体化学討論会 (2002. 9)

<sup>\*1</sup> 放射線医学総合研究所

<sup>\*2</sup> 芝浦工業大学応用化学科

<sup>\*3</sup> 大阪大学大学院工学研究科

中西郁夫<sup>\*1</sup>, 宮崎健太郎<sup>\*2</sup>, 島田知一<sup>\*2</sup>, 浦野四郎<sup>\*2</sup>, 大久保 敬<sup>\*3</sup>, 伊古田暢夫<sup>\*1</sup>, 小沢俊彦<sup>\*1</sup>, 福住俊一<sup>\*3</sup>, 福原 潔：**抗酸化剤ラジカル中間体のキャラクタリゼーション**  
第17回生体機能関連化学シンポジウム (2002. 9)

<sup>\*1</sup> 放射線医学総合研究所

<sup>\*2</sup> 芝浦工業大学応用化学科

<sup>\*3</sup> 大阪大学大学院工学研究科

中西郁夫<sup>\*1</sup>, 宮崎健太郎<sup>\*2</sup>, 島田知一<sup>\*2</sup>, 大久保 敬<sup>\*3</sup>, 袴田 航, 浦野四郎<sup>\*2</sup>, 奥田晴宏, 福住俊一<sup>\*3</sup>, 福原 潔, 伊古田暢夫<sup>\*1</sup>, 小澤俊彦<sup>\*1</sup>：**抗酸化剤ラジカル中間体のスピン分布**  
第41回ESR討論会・第7回In vivo ESR研究会連合討論

会 (2002. 10)

<sup>\*1</sup> 放射線医学総合研究所

<sup>\*2</sup> 芝浦工業大学応用化学科

<sup>\*3</sup> 大阪大学大学院工学研究科

宮崎健太郎<sup>\*1</sup>, 中西郁夫<sup>\*2</sup>, 島田知一<sup>\*1</sup>, 大久保 敬<sup>\*3</sup>, 浦野四郎<sup>\*1</sup>, 奥田晴宏, 福住俊一<sup>\*3</sup>, 福原 潔, 伊古田暢夫<sup>\*2</sup>, 小澤俊彦<sup>\*2</sup>：**カテキンのラジカル消去機構**  
第41回ESR討論会・第7回In vivo ESR研究会連合討論会 (2002. 10)

<sup>\*1</sup> 芝浦工業大学応用化学科

<sup>\*2</sup> 放射線医学総合研究所

<sup>\*3</sup> 大阪大学大学院工学研究科

小山裕孝<sup>\*1</sup>, 袴田 航, 福原 潔, 永川真希<sup>\*1</sup>, 望月正隆<sup>\*1</sup>, 宮田直樹<sup>\*2</sup>, 奥田晴宏：**スチルベン骨格を有する化合物のDNA切断活性**

第46回日本薬学会関東支部大会 (2002. 10)

<sup>\*1</sup> 共立薬科大学

<sup>\*2</sup> 名古屋市立大学大学院薬学研究科

福原 潔, 中西郁夫<sup>\*1</sup>, 宮崎健太郎<sup>\*2</sup>, 島田知一<sup>\*2</sup>, 袴田 航, 大久保 敬<sup>\*3</sup>, 浦野四郎<sup>\*2</sup>, 福住俊一<sup>\*3</sup>, 伊古田暢夫<sup>\*1</sup>, 小沢俊彦<sup>\*1</sup>, 宮田直樹<sup>\*4</sup>, 奥田晴宏：**フラボノイド系抗酸化剤のラジカル消去能とプロオキシダント効果**

第46回日本薬学会関東支部大会 (2002. 10)

<sup>\*1</sup> 放射線医学総合研究所

<sup>\*2</sup> 芝浦工業大学応用化学科

<sup>\*3</sup> 大阪大学大学院工学研究科

<sup>\*4</sup> 名古屋市立大学大学院薬学研究科

中西郁夫<sup>\*1</sup>, 宮崎健太郎<sup>\*2</sup>, 大久保 敬<sup>\*3</sup>, 島田知一<sup>\*2</sup>, 浦野四郎<sup>\*2</sup>, 伊古田暢夫<sup>\*1</sup>, 小沢俊彦<sup>\*1</sup>, 福住俊一<sup>\*3</sup>, 福原 潔：**フラボノイド類の水素移動反応機構**  
第16回基礎有機化学連合討論会 (2002. 10)

<sup>\*1</sup> 放射線医学総合研究所

<sup>\*2</sup> 芝浦工業大学応用化学科

<sup>\*3</sup> 大阪大学大学院工学研究科

福原 潔, 奥田晴宏, 宮田直樹<sup>\*</sup>：**平面型カテキンの抗酸化作用の評価**

日本癌学会第61回総会 (2002. 10)

<sup>\*</sup> 名古屋市立大学大学院薬学研究科

福原 潔, 中西郁夫<sup>\*1</sup>, 宮崎健太郎<sup>\*2</sup>, 島田知一<sup>\*2</sup>, 袴田 航, 大久保 敬<sup>\*3</sup>, 浦野四郎<sup>\*2</sup>, 福住俊一<sup>\*3</sup>, 伊古田暢夫<sup>\*1</sup>, 小沢俊彦<sup>\*1</sup>, 宮田直樹<sup>\*4</sup>, 奥田晴宏：**フェノール性抗酸化剤からの活性酸素生成環境変異原学会第31回大会 (2002. 11)**

<sup>\*1</sup> 放射線医学総合研究所

<sup>\*2</sup> 芝浦工業大学応用化学科

<sup>\*3</sup> 大阪大学大学院工学研究科

<sup>\*4</sup> 名古屋市立大学大学院薬学研究科

福原 潔, 袴田 航, 奥田晴宏: **ムスク系香料の光照射による活性酸素生成**

環境変異原学会第31回大会(2002.11)

村田真理子<sup>\*1</sup>, 大西志保<sup>\*1</sup>, 宮田直樹<sup>\*2</sup>, 福原 潔, 川西正祐<sup>\*1</sup>: **発がん性大気汚染物質ニトロピレン類による酸化のDNA損傷**

環境変異原学会第31回大会(2002.11)

<sup>\*1</sup> 三重大学医学部

<sup>\*2</sup> 名古屋市立大学大学院薬学研究科

宮崎健太郎<sup>\*1</sup>, 中西郁夫<sup>\*2</sup>, 大久保 敬<sup>\*3</sup>, 袴田 航, 浦野四郎<sup>\*1</sup>, 福住俊一<sup>\*3</sup>, 伊古田暢夫<sup>\*2</sup>, 小澤俊彦<sup>\*2</sup>, 奥田晴宏, 福原 潔: **ビタミンE類縁体アニオンの酸化反応機構**

第35回酸化反応討論会(2002.11)

<sup>\*1</sup> 芝浦工業大学応用化学科

<sup>\*2</sup> 放射線医学総合研究所

<sup>\*3</sup> 大阪大学大学院工学研究科

福原 潔, 中西郁夫<sup>\*1</sup>, 宮崎健太郎<sup>\*2</sup>, 袴田 航, 島田知一<sup>\*2</sup>, 大久保 敬<sup>\*3</sup>, 浦野四郎<sup>\*2</sup>, 福住俊一<sup>\*3</sup>, 伊古田暢夫<sup>\*1</sup>, 小沢俊彦<sup>\*1</sup>, 奥田晴宏: **平面型カテキンのラジカル消去能とプロオキシダント効果**

第35回酸化反応討論会(2002.11)

<sup>\*1</sup> 放射線医学総合研究所

<sup>\*2</sup> 芝浦工業大学応用化学科

<sup>\*3</sup> 大阪大学大学院工学研究科

中西郁夫<sup>\*1</sup>, 宇都義浩<sup>\*2</sup>, 宮崎健太郎<sup>\*3</sup>, 福原 潔, 奥田晴宏, 浦野四郎<sup>\*3</sup>, 田草川光子<sup>\*1</sup>, 伊古田暢夫<sup>\*1</sup>, 小澤俊彦<sup>\*1</sup>, 永沢秀子<sup>\*2</sup>, 堀 均<sup>\*2</sup>: **アルテピリンCの酸化反応機構**

第35回酸化反応討論会(2002.11)

<sup>\*1</sup> 放射線医学総合研究所

<sup>\*2</sup> 徳島大学工学部

<sup>\*3</sup> 芝浦工業大学応用化学科

福原 潔, 中西郁夫<sup>\*1</sup>, 奥田晴宏, 宮田直樹<sup>\*2</sup>: **フェノール性化合物による酸化のDNA損傷**

第17回日本フリーラジカル学会関東支部研究会(2002.12)

<sup>\*1</sup> 放射線医学総合研究所

<sup>\*2</sup> 名古屋市立大学大学院薬学研究科

長江 修<sup>\*</sup>, 福原 潔, 宮田直樹<sup>\*</sup>: **光照射によるニトロベンゼン誘導体からの一酸化窒素(NO)の発生**

平成14年度日本薬学会東海支部例会(2002.12)

<sup>\*</sup> 名古屋市立大学大学院薬学研究科

中西郁夫<sup>\*1</sup>, 宮崎健太郎<sup>\*2</sup>, 大久保 敬<sup>\*3</sup>, 飯塚優子<sup>\*4</sup>, 稲見圭子<sup>\*4</sup>, 浦野四郎<sup>\*2</sup>, 奥田晴宏, 望月正隆<sup>\*4</sup>, 福住俊一<sup>\*3</sup>, 福原 潔, 小澤俊彦<sup>\*1</sup>, 伊古田暢夫<sup>\*1</sup>: **ビタミンE類縁体の金属イオン存在下におけるラジカル消去反応**

第14回ビタミンE研究会(2003.1)

<sup>\*1</sup> 放射線医学総合研究所

<sup>\*2</sup> 芝浦工業大学応用化学科

<sup>\*3</sup> 大阪大学大学院工学研究科

<sup>\*4</sup> 共立薬科大学

宮崎健太郎<sup>\*1</sup>, 中西郁夫<sup>\*2</sup>, 大久保 敬<sup>\*3</sup>, 袴田 航, 浦野四郎<sup>\*1</sup>, 奥田晴宏, 福住俊一<sup>\*3</sup>, 福原 潔, 小澤俊彦<sup>\*2</sup>, 伊古田暢夫<sup>\*2</sup>: **ビタミンE類縁体アニオンの酸化反応挙動**

第14回ビタミンE研究会(2003.1)

<sup>\*1</sup> 芝浦工業大学応用化学科

<sup>\*2</sup> 放射線医学総合研究所

<sup>\*3</sup> 大阪大学大学院工学研究科

宮崎健太郎<sup>\*1</sup>, 中西郁夫<sup>\*2</sup>, 大久保 敬<sup>\*3</sup>, 袴田 航, 浦野四郎<sup>\*1</sup>, 奥田晴宏, 小澤俊彦<sup>\*2</sup>, 福住俊一<sup>\*3</sup>, 伊古田暢夫<sup>\*2</sup>, 宮田直樹<sup>\*4</sup>, 福原 潔: **平面型カテキンのペルオキシラジカル消去能**

日本化学会第83春季年会(2003.3)

<sup>\*1</sup> 芝浦工業大学応用化学科

<sup>\*2</sup> 放射線医学総合研究所

<sup>\*3</sup> 大阪大学大学院工学研究科

<sup>\*4</sup> 名古屋私立大学大学院薬学研究科

中西郁夫<sup>\*1</sup>, 宇都義浩<sup>\*2</sup>, 薬丸晴子<sup>\*2</sup>, 宮崎健太郎<sup>\*3</sup>, 大久保 敬<sup>\*4</sup>, 浦野四郎<sup>\*3</sup>, 奥田晴宏, 小澤俊彦<sup>\*1</sup>, 福住俊一<sup>\*4</sup>, 福原 潔, 伊古田暢夫<sup>\*1</sup>, 永沢秀子<sup>\*2</sup>, 堀 均<sup>\*2</sup>: **4-ヒドロキシケイ皮酸誘導体のラジカル消去機構**

日本化学会第83春季年会(2003.3)

<sup>\*1</sup> 放射線医学総合研究所

<sup>\*2</sup> 徳島大学工学部

<sup>\*3</sup> 芝浦工業大学応用化学科

<sup>\*4</sup> 大阪大学大学院工学研究科

宮崎健太郎<sup>\*1</sup>, 中西郁夫<sup>\*2</sup>, 大久保 敬<sup>\*3</sup>, 浦野四郎<sup>\*1</sup>, 奥田晴宏, 小澤俊彦<sup>\*2</sup>, 福住俊一<sup>\*3</sup>, 伊古田暢夫<sup>\*2</sup>, 福原 潔: **塩基性条件下におけるフラボノイド系抗酸化剤による活性酸素生成**

日本化学会第83春季年会(2003.3)

<sup>\*1</sup> 芝浦工業大学応用化学科

<sup>\*2</sup> 放射線医学総合研究所

<sup>\*3</sup> 大阪大学大学院工学研究科

中西郁夫<sup>\*1</sup>, 宮崎健太郎<sup>\*2</sup>, 大久保 敬<sup>\*3</sup>, 浦野四郎<sup>\*2</sup>, 奥田晴宏, 小澤俊彦<sup>\*1</sup>, 福原 潔, 上田順市<sup>\*1</sup>, 福住俊一<sup>\*3</sup>, 伊古田暢夫<sup>\*1</sup>: **フラボノイド系抗酸化剤の酸化還元挙動**

日本化学会第83春季年会(2003.3)

<sup>\*1</sup> 放射線医学総合研究所

<sup>\*2</sup> 芝浦工業大学応用化学科

<sup>\*3</sup> 大阪大学大学院工学研究科

福原 潔, 中西郁夫<sup>\*1</sup>, 伊古田暢夫<sup>\*1</sup>, 奥田晴宏, 宮田

直樹<sup>\*2</sup>：芳香族ニトロ化合物の光分解：NOの生成を伴う酸化的DA鎖切断反応

日本化学会第83春季年会（2003.3）

<sup>\*1</sup>放射線医学総合研究所

<sup>\*2</sup>名古屋市立大学大学院薬学研究科

袴田 航, 福原 潔, 奥田晴宏：合成低分子プローブを用いたグリコシダーゼの基質認識機構の解析と阻害剤設計への応用

日本薬学会第123年会，長崎（2003.3）

小山祐孝<sup>\*</sup>, 袴田 航, 福原 潔, 望月正隆<sup>\*</sup>, 奥田晴宏：スチルベン骨格を有する化合物（タモキシフェンおよびそれらの誘導体）のDNA切断活性

日本薬学会第123年会，長崎（2003.3）

<sup>\*</sup>共立薬科大学

長江 修<sup>\*</sup>, 福原 潔, 宮田直樹<sup>\*</sup>：NO放出化合物としてのニトロベンゼン誘導体の合成

日本薬学会第123年会（2003.3）

<sup>\*</sup>名古屋市立大学大学院薬学研究科

中西郁夫<sup>\*1</sup>, 宇都義浩<sup>\*2</sup>, 薬丸晴子<sup>\*2</sup>, 宮崎健太郎<sup>\*3</sup>, 大久保 敬<sup>\*4</sup>, 浦野四郎<sup>\*3</sup>, 奥田晴宏, 小澤俊彦<sup>\*1</sup>, 福原 潔, 福住俊一<sup>\*4</sup>, 伊古田暢夫<sup>\*1</sup>, 永沢秀子<sup>\*2</sup>, 堀均<sup>\*2</sup>：アルテピリンCのラジカル消去反応に及ぼす金属イオンの効果

日本薬学会第123年会（2003.3）

<sup>\*1</sup>放射線医学総合研究所

<sup>\*2</sup>徳島大学工学部

<sup>\*3</sup>芝浦工業大学応用化学科

<sup>\*4</sup>大阪大学大学院工学研究科

中西郁夫<sup>\*1</sup>, 宮崎健太郎<sup>\*2</sup>, 大久保 敬<sup>\*3</sup>, 浦野四郎<sup>\*2</sup>, 奥田晴宏, 小澤俊彦<sup>\*1</sup>, 福原 潔, 福住俊一<sup>\*3</sup>, 伊古田暢夫<sup>\*1</sup>：電子移動を経由する(+) - カテキンのラジカル消去反応機構

日本薬学会第123年会（2003.3）

<sup>\*1</sup>放射線医学総合研究所

<sup>\*2</sup>芝浦工業大学応用化学科

<sup>\*3</sup>大阪大学大学院工学研究科

福原 潔, 中西郁夫<sup>\*1</sup>, 袴田 航, 寒水壽郎, 島田知一<sup>\*2</sup>, 宮崎健太郎<sup>\*2</sup>, 大久保 敬<sup>\*3</sup>, 山口健太郎<sup>\*4</sup>, 浦野四郎<sup>\*2</sup>, 小澤俊彦<sup>\*1</sup>, 福住俊一<sup>\*3</sup>, 宮田直樹<sup>\*5</sup>, 伊古田暢夫<sup>\*1</sup>, 奥田晴宏：平面型カテキン誘導体の合成とラジカル消去能

日本薬学会第123年会（2003.3）

<sup>\*1</sup>放射線医学総合研究所

<sup>\*2</sup>芝浦工業大学応用化学科

<sup>\*3</sup>大阪大学大学院工学研究科

<sup>\*4</sup>千葉大学分析センター

<sup>\*5</sup>名古屋市立大学大学院薬学研究科

宮崎健太郎<sup>\*1</sup>, 中西郁夫<sup>\*2</sup>, 大久保 敬<sup>\*3</sup>, 浦野四郎<sup>\*1</sup>,

奥田晴宏, 小澤俊彦<sup>\*2</sup>, 伊古田暢夫<sup>\*2</sup>, 福住俊一<sup>\*3</sup>, 福原 潔：Quercetinとその誘導体のPeroxy radical消去に対する構造活性相関

日本薬学会第123年会（2003.3）

<sup>\*1</sup>芝浦工業大学応用化学科

<sup>\*2</sup>放射線医学総合研究所

<sup>\*3</sup>大阪大学大学院工学研究科

Ogawa, M.<sup>\*1</sup>, Hakamata, W., Nakajima, K.<sup>\*1</sup>, Matsuishi, Y., Hoshino, S.<sup>\*1</sup>, Kawachi, R.<sup>\*1</sup>, Nishio, T.<sup>\*1</sup>, Oku, T.<sup>\*1</sup>：Glycon specificity profiling of  $\alpha$ -glycosidase using partially modified analogs of p-nitrophenyl  $\alpha$ -D-glycopyranoside

International Symposium: New Approaches in Starch Science and Carbohydrate-Active Enzyme

<sup>\*1</sup> Nihon University

袴田 航, 高月 昭<sup>\*1</sup>：グリコシダーゼに関する構造生物学と特異的阻害剤の創製

理化学研究所 基礎科学特別研究員成果発表会（2003.3）

<sup>\*1</sup>理化学研究所

袴田 航, 福原 潔, 奥田晴宏：グリコシド結合開裂をトリガーとした活性酸素種発生型阻害剤の開発

日本農芸化学会2003年度大会（2003.3）

小川真弘<sup>\*1</sup>, 和田昌人<sup>\*1</sup>, 中島康介<sup>\*1</sup>, 星野重樹<sup>\*1</sup>, 松石 紫<sup>\*1</sup>, 袴田 航, 河内 隆<sup>\*1</sup>, 西尾俊幸<sup>\*1</sup>, 奥 忠武<sup>\*1</sup>：基質糖水酸基が *Aspergillus niger* 由来  $\alpha$ -glucosidase の作用に与える影響について

日本農芸化学会2003年度大会（2003.3）

<sup>\*1</sup> 日本大学

Fujishima, T.<sup>\*1</sup>, Konno, K.<sup>\*1</sup>, Nakagawa, K.<sup>\*2</sup>, Okano, T.<sup>\*2</sup>, Kittaka, A.<sup>\*1</sup>, Kurihara, M., Takayama, H.<sup>\*1</sup>：2-Methyl analogues of 1 $\alpha$ ,25-dihydroxyvitamin D<sub>3</sub>, the potent inducers of cell differentiation and apoptosis: synthesis and biological evaluation

First International Symposium Vitamin D Analogs in Cancer Prevention and Therapy（2002.5）

<sup>\*1</sup> 帝京大学薬学部

<sup>\*2</sup> 神戸薬科大学

Kittaka, A.<sup>\*</sup>, Suhara, Y.<sup>\*</sup>, Fujishima, T.<sup>\*</sup>, Kurihara, M., Konno, K.<sup>\*</sup>, Takayama, H.<sup>\*</sup>：The 2 $\alpha$ -positive motifs of 1 $\alpha$ ,25-dihydroxyvitamin D<sub>3</sub> in VDR binding

First International Symposium Vitamin D Analogs in Cancer Prevention and Therapy（2002.5）

<sup>\*</sup> 帝京大学薬学部

Fujishima, T.<sup>\*1</sup>, Kittaka, T.<sup>\*1</sup>, Yamaoka, K.<sup>\*2</sup>, Takeyama, K.<sup>\*2</sup>, Kato, S.<sup>\*2</sup>, Kurihara, M., Takayama, H.<sup>\*1</sup>：2,2-Dimethyl Analogues of 1 $\alpha$ ,25-Dihydroxyvitamin D<sub>3</sub>: The A-ring structure of the ligands differentiates activity profiles of the natural hormone

The 24th Annual Meeting of the American Society for Bone and Mineral Research (2002. 9)

\*<sup>1</sup> 帝京大学薬学部

\*<sup>2</sup> 東京大学分子細胞生物学研究所

Kittaka, A. \*<sup>1</sup>, Suhara, Y. \*<sup>1</sup>, Shinki, T. \*<sup>2</sup>, Fujishima, T. \*<sup>1</sup>, Kurihara, M., Takayama, H. \*<sup>1</sup>: **The novel 2alpha - substituted 1alpha,25-dihydroxyvitamin D<sub>3</sub> analogues as superagonists: Evaluation of VDR-binding and remarkable calcemic activity**

The 24th Annual Meeting of the American Society for Bone and Mineral Research (2002. 9)

\*<sup>1</sup> 帝京大学薬学部

\*<sup>2</sup> 昭和大学歯学部

Kurihara, M., Tanaka, M. \*, Oba, M. \*, Suemune, H. \*: **Computational study on conformation of oligopeptides containing chiral alpha,alpha-disubstituted amino acids**

27th European Peptide Symposium (2002. 9)

\*九州大学薬学部

Tanaka, M. \*, Nishimura, N. \*, Oba, M. \*, Demizu, Y. \*, Kurihara, M., Suemune, H. \*: **Conformational study of heteropeptide prepared from chiral alpha-ethylated alpha,alpha-disubstituted alpha-amino acids**

27th European Peptide Symposium (2002. 9)

\*九州大学薬学部

Oba, M. \*, Tanaka, M. \*, Kurihara, M., Suemune, H. \*: **Conformational study of peptides containing (S)- ethylleucine as a chiral alpha,alpha-disubstituted amino acid**

27th European Peptide Symposium (2002. 9)

\*九州大学薬学部

出水庸介\*, 田中正一\*, 栗原正明, 末宗 洋\*: **キラリな環状 $\alpha,\alpha$ -ジ置換アミノ酸とそのペプチドの合成**

第39回ペプチド討論会(2002. 10)

\*九州大学薬学部

栗原正明, 佐藤由紀子, 田中正一\*, 大庭 誠\*, 出水庸介\*, 末宗 洋\*, 奥田晴宏: **キラリ $\alpha,\alpha$ -ジ置換アミノ酸を含むオリゴペプチドのヘリカル構造の解析**

第39回ペプチド討論会(2002. 10)

\*九州大学薬学部

須原義智\*, 小野啓一郎\*, 橘高敦史\*, 栗原正明, 藤島利江\*, 吉田彰宏\*, 高山浩明\*: **新規アミド型1 $\alpha$ ,25-Dihydroxy-19-norvitamin D<sub>3</sub>誘導体の分子設計と合成**

第46回日本薬学会関東支部大会(2002. 10)

\*帝京大学薬学部

橘高敦史\*, 須原義智\*, Martin J. Calverley\*, 藤島利江\*, 栗原正明, 齋藤 望\*, 岸本成史\*, 二瓶賢一\*, 紺野勝弘\*, 杉浦隆之\*, 和久敬蔵\*, 高山浩明\*: **活性型ビタ**

**ミンD<sub>3</sub>のA環2位の化学修飾を基盤とするCD環側鎖20位の同時修飾: ビタミンDレセプター結合親和性の増強と高い細胞分化誘導作用**

第28回反応と合成の進歩シンポジウム(2002. 11)

\*帝京大学薬学部

出水庸介\*, 田中正一\*, 阿南浩輔\*, 栗原正明, 末宗 洋\*: **光学活性 $\alpha,\alpha$ -ジ置換アミノ酸からのフォールドマ-の設計**

第19回日本薬学会九州支部大会(2002. 12)

\*九州大学薬学部

橘高敦史\*, 須原義智\*, Martin J. Calverley\*, 栗原正明, 藤島利江\*, 齋藤 望\*, 岸本成史\*, 杉浦隆之\*, 和久敬蔵\*, 高山浩明\*: **2 $\alpha$ 置換-double side chain-活性型ビタミンD<sub>3</sub>の合成と細胞分化誘導能の評価**

日本薬学会第123年会(2003. 3)

\*帝京大学薬学部

藤島利江\*, 小島義教\*, 橘高敦史\*, 栗原正明, 東屋功\*, 高山浩明\*: **アンタゴニスト活性を有する2 $\alpha$ 位メチル活性型ビタミンDのデザインと合成**

日本薬学会第123年会(2003. 3)

\*帝京大学薬学部

本澤 忍\*, 山本康弘\*, 橘高敦史\*, 藤島利江\*, 栗原正明, 平阪幸四郎\*, 高山浩明\*: **2 $\alpha$ 位に芳香環を有する活性型ビタミンD<sub>3</sub>誘導体の合成と生物活性相関**

日本薬学会第123年会(2003. 3)

\*帝京大学薬学部

本澤 忍\*, 須原義智\*, 橘高敦史\*, 齋藤 望\*, 岸本成史\*, 藤島利江\*, 栗原正明, 杉浦隆之\*, 和久敬蔵\*, 高山浩明\*:  **$\alpha$ 位アルキル置換20-epi-ビタミンD<sub>3</sub>誘導体の合成と生物活性評価**

日本薬学会第123年会(2003. 3)

\*帝京大学薬学部

栗原正明, 松崎亜香里, 佐藤由紀子, 橘高敦史\*, 藤島利江\*, 須原義智\*, 高山浩明\*: **ビタミンD誘導体のVDR結合モデル**

日本薬学会第123年会(2003. 3)

\*帝京大学薬学部

大庭 誠\*, 田中正一\*, 末宗 洋\*, 佐藤由紀子, 栗原正明: **N末プロリンによるアキラリなジ置換アミノ酸ペプチド二次構造の制御**

日本薬学会第123年会(2003. 3)

\*九州大学薬学部

林田和裕\*, 出水庸介\*, 大庭 誠\*, 栗原正明, 田中正一\*, 末宗 洋\*: **光学活性二環性 $\alpha,\alpha$ -ジ置換アミノ酸とそのペプチドの合成**

日本薬学会第123年会(2003. 3)

\*九州大学薬学部

出水庸介\*, 田中正一\*, 阿南浩輔\*, 栗原正明, 末宗洋\*: 光学活性環状 $\alpha,\alpha$ -ジ置換アミノ酸を用いたヘリカル構造の構築

日本薬学会第123年会(2003.3)

\*九州大学薬学部

栗原正明, 佐藤由紀子, 松崎亜香里, 田中正一\*, 大庭誠\*, 出水庸介\*, 末宗洋\*: キラル $\alpha,\alpha$ -ジ置換アミノ酸を含むオリゴペプチドのヘリカル構造の予測

日本薬学会第123年会(2003.3)

\*九州大学薬学部

栗原正明, 袴田航, 丹野雅幸, 奥田晴宏: 種々なTMS化合物をシリル源とするアセタール化反応

日本薬学会第123年会(2003.3)

Nishikawa, K.\*<sup>1</sup>, Tominaga, N.\*<sup>1</sup>, Yamakoshi, Y., Otomo, R.\*<sup>2</sup>: Change of the Ultrastructure and Accumulation of Polyphosphate in *Chlamidomonas acidophila*

The 10<sup>th</sup> International Conference on the Cell and Molecular Biology of *Chlamidomonas* (Vancouver 2002.6)

\*<sup>1</sup> Ochanomizu University

\*<sup>2</sup> National Institute of Livestock and Grassland Science

山越葉子, 宮島敦子, 甲斐陽子, 土屋利江: フラーレン(C60)の微生物増殖阻害について

日本薬学会第123年会(長崎2003.3)

斎藤嘉朗, 佐伯真弓, 長野美千代, 手島玲子, 小澤正吾, 澤田純一: mRNA expression of multiple cytochrome P450 isozymes in four types of cultured skin cells

14th International Symposium on microsomes and drug oxidations (2002.7)

斎藤嘉朗, 祖山晃子, 埴岡伸光, 村山典恵, 石田誠一, 小澤正吾, 澤田純一: Reduced in vitro paclitaxel metabolism caused by non-synonymous nucleotide substitutions in the CYP2C8 gene

2003 AAPS Annual Meeting and Exposition (2002.11)

佐伯真弓, 中村隆広, 村山典恵, 金秀良, 斎藤嘉朗, 小澤正吾, 駒村和雄\*<sup>1</sup>, 上野和行\*<sup>1</sup>, 鎌倉史郎\*<sup>1</sup>, 中島敏治\*<sup>2</sup>, 斎藤博久\*<sup>2</sup>, 澤田純一: 日本人におけるCYP3A5遺伝子の一塩基多型の同定及び頻度解析

日本薬学会第123年会(2003.3)

\*<sup>1</sup> 国立循環器病センター

\*<sup>2</sup> 国立成育医療センター

前川京子, 井戸田昌也, 埴岡伸光, 斎藤嘉朗, 村山典恵\*, 中島治, 祖山晃子, 石田誠一, 小澤正吾, 安藤正典, 澤田純一: ヒトミクロソーム型エポキシドヒドロラーゼの遺伝子多型の検出及び機能解析

日本薬学会第123年会(2003.3)

\*上智大学生命科学研究所

中島治, 蜂須賀暁子, 手島玲子, 澤田純一: 組換え scFv 抗体の培養細胞内への送達法の開発

日本薬学会第123年会(2003.3)

蜂須賀暁子, 中島治, 川崎ナナ, 伊藤さつき, 手島玲子, 早川堯夫, 澤田純一: OBCAM (オピオイド結合性タンパク)の精製と糖鎖構造解析

第74回日本生化学会大会(2002.10)

Li, P.\*<sup>1</sup>, Prasad, S. S.\*<sup>1</sup>, Mitchell, D.E.\*<sup>1</sup>, Hachisuka, A., Sawada, J., Gu, Q.\*<sup>2</sup>: Opioid binding cell adhesion molecule is a candidate for visual cortex plasticity

Society for Neuroscience 32nd annual meeting (2002.11)

\*<sup>1</sup> Wake Forest University Health Sciences, NC, U.S.A.

蜂須賀暁子, 川崎ナナ, 伊藤さつき, 中島治, 手島玲子, 早川堯夫, 澤田純一: OBCAMの各糖鎖結合部位における糖鎖構造解析

日本薬学会第123年会(2003.3)

中村亮介, 石田誠一, 小澤正吾, 奥貫晴代, 斎藤嘉朗, 手島玲子, 澤田純一: 抗原刺激およびDTBHQ刺激によるRBL-2H3細胞の遺伝子発現変化

第9回日本免疫毒性学会(2002.9)

手島玲子, 高木加代子, 奥貫晴代, 中村亮介, 蜂須賀暁子, 澤田純一: 食物アレルギー誘発性試験の一環としてのin vitro分解性試験

第9回日本免疫毒性学会(2002.9)

中村亮介, 石田誠一, 小澤正吾, 斎藤嘉朗, 奥貫晴代, 手島玲子, 澤田純一: RBL-2H3細胞の遺伝子発現に及ぼすdexamethasoneの影響

第74回日本生化学会大会(2002.10)

佐藤義隆\*<sup>1</sup>, 手島玲子, 中村亮介, 佐々木信雄\*<sup>2</sup>, 澤田純一, 木谷誠一\*<sup>3</sup>: Human IgGを介した犬肥満細胞腫由来細胞の活性化情報伝達

第74回日本生化学会大会(2002.10)

\*<sup>1</sup> 東京大学医学部

\*<sup>2</sup> 東京大学農学部

\*<sup>3</sup> 東京水産大保健センター

中村亮介, 奥貫晴代, 石田誠一, 小澤正吾, 斎藤嘉朗, 手島玲子, 澤田純一: マスト細胞の活性化に及ぼすステロイドホルモンの影響

日本薬学会第123年会(2003.3)

高木加代子, 奥貫晴代, 中村亮介, 手島玲子, 澤田純一: 食物抗原の人工胃腸液分解性に及ぼす加熱処理の影響

日本薬学会第123年会(2003.3)

奥貫晴代, 手島玲子, 張替直輝, 酒井信夫, 穠山浩,

米谷民雄, 澤田純一: W/W<sup>v</sup> マウスにおける OVA 経口感作による ASA 誘導と  $\gamma\delta$ -T 細胞の減少  
日本薬学会第123年会(2003.3)

手島玲子: 遺伝子組換え食品並びに食品のアレルギ-のリスク評価について  
第39回全国衛生化学技術協議会(2002.10)

手島玲子, 奥貫晴代, 澤田純一: W/W<sup>v</sup> マウスの卵白アルブミン(OVA)経口投与による ASA 誘導について  
第52回日本アレルギー学会総会(2002.11)

佐藤 義隆<sup>\*1</sup>, 手島 玲子, 中村 亮介, 澤田 純一, 木谷 誠一<sup>\*2</sup>: Human IgG を介したイヌ肥満細胞腫由来細胞の活性化  
第52回日本アレルギー学会総会(2002.11)

<sup>\*1</sup> 東京大学医学部

<sup>\*2</sup> 東京水産大保健センター

手島玲子, 渡邊敬浩, 奥貫晴代, 稲山 浩, 今井俊夫, 澤田純一, 豊田正武: 遺伝子組換えとうもろこしCBH-351のラット並びにマウスへの90日間混餌投与による免疫系への影響  
日本薬学会第123年会(2003.3)

鈴木昭夫<sup>\*</sup>, 鈴木 亮<sup>\*</sup>, 手島玲子, 中西 守<sup>\*</sup>: 骨髄由来マスト細胞と神経初代培養細胞の相互作用の研究  
日本薬学会第123年会(2003.3)

<sup>\*</sup>名古屋市立大学薬学部

手島玲子, 佐藤義隆<sup>\*1</sup>, 中村亮介, 高木加代子, 佐々木信雄<sup>\*2</sup>, 澤田純一, 木谷誠一<sup>\*3</sup>: イヌマスト細胞のIgG受容体を介する情報伝達機構  
第24回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム(2002.11)

<sup>\*1</sup> 東京大学医学部

<sup>\*2</sup> 東京大学農学部

<sup>\*3</sup> 東京水産大学保健センター

鈴木 亮<sup>\*</sup>, 森 尚子<sup>\*</sup>, 古野忠秀<sup>\*</sup>, 手島玲子, 中西守<sup>\*</sup>: 免疫・神経クロストークの局所相互作用の解析  
第24回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム(2002.11)

<sup>\*</sup>名古屋市立大学薬学部

吉田貴彦<sup>\*1</sup>, 松井利仁<sup>\*1</sup>, 伊藤俊弘<sup>\*1</sup>, 中木良彦<sup>\*1</sup>, 大澤基保<sup>\*2</sup>, 手島玲子, 小島幸一<sup>\*3</sup>: 免疫指標による環境リスク評価の試み—3歳幼児での検証—  
第73回日本衛生学会総会(2003.3)

<sup>\*1</sup> 旭川医科大学

<sup>\*2</sup> 帝京大学薬学部

<sup>\*3</sup> 食品薬品安全センター

Inoue, K., Tsuda, M., Koizumi, S.: ATP induced three types of pain behaviors including allodynia  
第7回国際アデノシンおよびアデニンヌクレオチドシンポジウム(2002.5)

井上和秀, 津田 誠, 溝腰朗人, 重本・最上由香里, 小泉修一, 高坂新一<sup>\*</sup>: Involvement of microglia activation and p38 phosphorylation in rat neuropathic pain  
第45回日本神経化学学会大会(2002.7)

<sup>\*</sup>国立精神神経センター

井上和秀, 津田 誠, 溝腰朗人, 重本由香里, 小泉修一, 高坂新一<sup>\*</sup>: 神経因性疼痛モデル動物の脊髄内ミクログリアにおけるp38MAPKの活性化  
平成14年度生理学研究所研究会「痛みの基礎と臨床」(2002.9)

<sup>\*</sup>国立精神神経センター

Tsuda, M., Mizokoshi, A., Mogami, Y., Koizumi, S. and Inoue, K.: Activation of p38 mitogen-activated protein kinase (p38MAPK) in the spinal microglia in a rat model of neuropathic pain  
Society for Neuroscience 31st Annual Meeting (2002.11)

井上和秀, 重本(最上)由香里, 小泉修一: ATPによるミクログリアからのTNFおよびIL-6遊離の生理的意義: 神経保護作用  
グリア研究会(2002.11)

重本(最上)由香里, 小泉修一, 津田 誠, 佐々木 洋<sup>\*</sup>, 大澤圭子<sup>\*</sup>, 石田誠一, 溝腰朗人, 高坂新一<sup>\*</sup>, 井上和秀: ミクログリアにおけるP2Y6受容体の発現及び機能解析  
グリア研究会(2002.11)

<sup>\*</sup>国立精神神経センター

溝腰朗人, 津田 誠, 重本(最上)由香里, 小泉修一, 井上和秀: 神経因性疼痛モデル動物の脊髄におけるMAPK系の活性化  
グリア研究会(2002.11)

井上和秀: ATP受容体を介したミクログリアの機能調節, そして痛み  
神経組織培養研究会(2003.2)

井上和秀: 細胞外ATPおよびアデノシンの生理機能研究の現状と展望  
日本薬理学会(シンポジウム)(2003.3)

津田 誠<sup>\*</sup>, 小泉修一, 井上和秀: Neuropathic pain and spinal glial cells: controlling by ATP receptors  
日本薬理学会(シンポジウム)(2003.3)

<sup>\*</sup>トロント大学

藤下加代子, 小泉修一, 重本(最上)由香里, 小濱とも子, 井上かおり<sup>\*</sup>, 井上和秀: ATPによるヒト表皮ケラチノサイトの細胞間Ca<sup>2+</sup>wave伝播の解析  
日本薬理学会(2003.3)

<sup>\*</sup>資生堂

溝腰朗人, 津田 誠, 重本(最上)由香里, 井上和秀: 神経因性疼痛モデル動物のアロディニア発現はp38MAPキナーゼ阻害薬で抑制される

日本薬理学会 (2003. 3)

檜楨大介, 小泉修一, 溝腰朗人, 津田 誠, 重本(最上)由香里, 井上和秀: UTPによるアロディニア誘発機序の解明

日本薬理学会 (2003. 3)

宮竹真由美\*, 成田 年\*, 小泉修一, 井上和秀, 鈴木勉\*: メタンフェタミン誘発性運動亢進におけるアストロサイト役割

日本薬理学会 (2003. 3)

\*星薬科大学

篠崎陽一, 小泉修一, 石田誠一, 井上和秀: ATPにより誘発されるアストロサイトの遺伝子発現パターンの解析

日本薬理学会 (2003. 3)

戸崎秀俊, 重本(最上)由香里, 小濱とも子, 小泉修一, 井上和秀: レチノイドによるP2X2遺伝子発現亢進

日本薬理学会 (2003. 3)

重本(最上)由香里, 小泉修一, 津田 誠, 佐々木 洋\*, 大澤圭子\*, 石田誠一, 高坂新一\*, 井上和秀: ミクログリアP2Y6受容体の生理機能

日本薬理学会 (2003. 3)

\*国立精神神経センター

安達玲子, 武内恒成\*, 鈴木和博: 食細胞の反応性に対するコフィリンアンチセンスの効果

第55回日本細胞生物学会大会 (2002. 5)

\*名古屋大学

平山明子\*<sup>1</sup>, 松井幸子\*<sup>1</sup>, 松本幸子\*<sup>1</sup>, 笠原 忠\*<sup>1</sup>, 安達玲子, 鈴木和博, 大橋一正\*<sup>2</sup>, 水野健作\*<sup>2</sup>: LIMキナーゼ1によるマクロファージ様U937細胞の機能修飾について

第3回Pharmaco-Hematologyシンポジウム (2002. 6)

\*<sup>1</sup> 共立薬科大学

\*<sup>2</sup> 東北大学

渡辺秀実\*, 安達玲子, 平山明子\*, 笠原 忠\*, 鈴木和博: 白血球の遺伝子発現に対する内分泌攪乱化学物質の影響

第75回日本生化学会大会 (2002. 10)

\*共立薬科大学

平山明子\*, 安達玲子, 笠原 忠\*, 鈴木和博: LIMキナーゼ1によるマクロファージ様U937細胞の機能修飾について

第32回日本免疫学会総会・学術集会 (2002. 12)

\*共立薬科大学

小野景義, 門田 健\*<sup>1</sup>, 門田朋子\*<sup>2</sup>: 覚醒剤の亜慢性投与による大脳辺縁系の組織学的変化

第76回日本薬理学会年会(福岡市)(2003. 3)

\*<sup>1</sup> 千葉市環境保健研究所

\*<sup>2</sup> 千葉大学

門田 健\*<sup>1</sup>, 小野景義, 門田朋子\*<sup>2</sup>: 覚醒剤に対する匂い嗅ぎ常同行動の感受性亢進: その発達と維持に対する行動学的組織化学的検討

第76回日本薬理学会年会(福岡市)(2003. 3)

\*<sup>1</sup> 千葉市環境保健研究所

\*<sup>2</sup> 千葉大学

藤野智史, 佐藤陽治, 沢田純一, 井上和秀, 最上(西巻)知子: ACAT阻害剤のVLDL分泌低下作用はトリグリセリド合成により影響される

第34回日本動脈硬化学会総会 (2002. 7)

最上(西巻)知子, 藤野智史, 佐藤陽治, 石田誠一, 西村哲治, 堂前純子\*, 横山信治\*, 井上和秀: RXRアゴニストによるABCA1の発現誘導

第34回日本動脈硬化学会総会シンポジウム (2002. 7)

\* 名古屋市

藤野智史, 宇根瑞穂\*, 豊田淑江, 山口照英, 井上和秀, 最上(西巻)知子: 表面プラズモン共鳴センサーを用いた核内受容体FXRリガンド結合の測定

日本薬学会第123年会 (2003. 3)

\* 広島大医歯薬

最上(西巻)知子, 藤野智史, 佐藤陽治, 影近弘之\*, 堂前純子\*\*, 横山信治\*\*, 井上和秀: RXRアゴニストによるABCA1発現とHDL新生の促進

日本薬学会第123年会 (2003. 3)

\* 東大薬

\*\* 名古屋市

山本美智子, 小野寺理恵\*, 平山晃久\*, 森川 馨: WHO ATC/DDDシステムを用いた医薬品使用における国際比較調査・呼吸器系, 降圧, 抗高脂血症薬剤領域において

日本薬学会第123年会 (2003. 3)

\* 京都薬科大学

小野寺理恵\*, 平山晃久\*, 山本美智子, 森川 馨: WHO ATC/DDDシステムを用いた医薬品使用における国際比較・抗生物質・消化器用剤領域において

日本薬学会第123年会 (2003. 3)

\* 京都薬科大学

森川 馨: 無菌製剤製造におけるプロセスバリデーションと科学的品質保証

医薬品製造におけるプロセスバリデーションと科学的品質

質保証に関する研究成果報告シンポジウム(平成14年度創薬等ヒューマンサイエンス総合研究推進事業 研究成果普及事業)(2002.11)

檜山行雄, 西畑利明<sup>\*1</sup>, 小山靖人<sup>\*2</sup>, 森川 馨, 只木晋一<sup>\*3</sup>: **厚生労働科学研究(H14-医薬-04)医薬品の品質管理システムのあり方**

日本薬学会第123年会(2003.3)

<sup>\*1</sup> 参天製薬

<sup>\*2</sup> 藤沢薬品

<sup>\*3</sup> 埼玉衛研

小野道由\*, 清水佳織\*, 相良敏夫\*, 渡辺恵市郎\*, 小島一也\*, 山内仁史\*, 森川 馨: **無菌操作アイソレータのマウスホールにおける気流挙動の評価と設計への適用**

日本薬学会第123年会(2003.3)

\*日揮

夏山 晋\*, 長門琢也\*, 高嶋武志\*, 森川 馨: **CFD(Computational Fluid Dynamics)によるクリーンブース内気流解析と微粒子滞留現象に関する研究**

日本薬学会第123年会(2003.3)

\*パウレック

片山博仁<sup>\*1</sup>, 和田 力<sup>\*2</sup>, 小川昌幸<sup>\*2</sup>, 小山靖人<sup>\*1</sup>, 徳永雄二<sup>\*1</sup>, 檜山行雄, 森川 馨: **無菌室換気回数とグレードBゾーン気流滞留域の清浄度回復能**

日本薬学会第123年会(2003.3)

<sup>\*1</sup> 藤沢薬品

<sup>\*2</sup> 大気社

小山靖人\*, 片山博仁\*, 徳永雄二\*, 檜山行雄, 森川馨: **無菌室の三次元気流測定結果に基づく環境ワーストスポット推定**

日本薬学会第123年会(2003.3)

\*藤沢薬品

池田かおり\*, 柏木英二\*, 鴻池敏郎\*, 森川 馨: **無菌製剤の直接容器設計: 適切なゴム栓選定のための品質評価法に関する研究**

日本薬学会第123年会(2003.3)

\*塩野義製薬

鈴木倫典\*, 菊田弘和\*, 小林一三\*, 神谷明良\*, 播磨武\*, 檜山行雄, 森川 馨: **熱負荷によるガラスバイアルのフレークス発生に関する検討**

日本薬学会第123年会(2003.3)

\*ファイザー製薬

小内克巳\*, 野村晃子\*, 山口武宏\*, 加藤晃良\*, 大脇孝行\*, 岩本 清\*, 森川 馨: **ガラス転移点やコラプス温度を活用した凍結乾燥条件の最適化とスケールアップ**

日本薬学会第123年会(2003.3)

\*エーザイ製剤研

竹内雅子<sup>\*1</sup>, 石川茂行<sup>\*2</sup>, 伊藤千鶴子<sup>\*3</sup>, 斎藤 泉<sup>\*1</sup>, 堀口和巳<sup>\*4</sup>, 三川正明<sup>\*5</sup>, 田崎武信<sup>\*1</sup>, 森川 馨: **ブートストラップ法の品質管理データへの適用における有用性と問題点**

日本薬学会第123年会(2003.3)

<sup>\*1</sup> 塩野義製薬

<sup>\*2</sup> 田辺製薬

<sup>\*3</sup> 持田製薬

<sup>\*4</sup> 日本化薬

<sup>\*5</sup> ファルマシア

出口 裕\*, 船塚政男\*, 園田雅樹\*, 山田 博\*, 西田孝司\*, 河嶋洋一\*, 檜山行雄, 森川 馨: **スクリュウキヤップ点眼容器の完全性評価に関する研究**

日本薬学会第123年会(2003.3)

\*参天製薬

上野誠二\*, 藤本一郎\*, 酒井康行\*, 森川 馨: **アイソレータ使用グローブのピンホール試験検出限界とピンホールのアイソレータ内部に及ぼす影響に関する研究**

日本薬学会第123年会(2003.3)

\*中外製薬

石川茂行<sup>\*1</sup>, 伊藤千鶴子<sup>\*2</sup>, 堀口和巳<sup>\*3</sup>, 三川正明<sup>\*4</sup>, 斎藤 泉<sup>\*5</sup>, 竹内雅子<sup>\*5</sup>, 田崎武信<sup>\*5</sup>, 森川 馨: **医薬品製造管理への管理図法の適用に対する考察**

日本薬学会第123年会(2003.3)

<sup>\*1</sup> 田辺製薬

<sup>\*2</sup> 持田製薬

<sup>\*3</sup> 日本化薬

<sup>\*4</sup> ファルマシア

<sup>\*5</sup> 塩野義製薬

園田智之\*, 成澤真治\*, 林 公明\*, 大澤 孝\*, 沼波憲一\*, 森川 馨: **懸濁注射剤の物性評価と品質に及ぼす原料の影響**

日本薬学会第123年会(2003.3)

\*田辺製薬

山本 都, 森田真理子, 森川 馨: **化学物質に起因する事故事例の調査及びWeb上でのデータベース構築**

日本薬学会第123年会(2003.3)

関澤 純, 高橋美加: **AhRの内在性リガンドを考慮に入れたダイオキシンリスクの再評価**

日本内分泌かく乱物質学会第5回研究発表会(2002.11)

関澤 純, 村山武彦<sup>\*1</sup>: **食品安全のリスクコミュニケーションはいかにあるべきか**

日本リスク研究学会第15回研究発表会(2002.11)

<sup>\*1</sup> 早稲田大学理工学部

関澤 純: **次世代リスク評価におけるバイオアッセイの役割**

第8回バイオアッセイ研究会・日本環境毒性研究会合同

シンポジウム (2002. 9)

関澤 純: 化学物質の人への健康影響リスク  
第22回農業環境シンポジウムおよび第2回有機化合物研究会合同シンポジウム (2002. 9)

Sekizawa, J. and Matsuda, T. \*: Endogenous Ligands of Arhydrocarbon Receptor and Interaction with Dioxins  
22nd International Symposium on Halogenated Environmental Organic Pollutants and POPs (2002. 8)  
\* 京都大学地球環境学大学院

Sekizawa, J.: Is sex ratio decline of offspring in Japan related to dioxin body burden?  
e-hormone 2002 symposium (2002. 10)

関澤 純: 食の安全におけるリスクアナリシスの役割  
ILSI Japan  
第1回リスクアナリシス・ワークショップ (2002. 11)

Sekizawa, J.: Risk communication in food safety Annual Meeting of the Society for Risk Management in Preventive Medicine  
Workshop-2 Safety Management in Food (2003. 3)

関澤 純: 化学物質・環境問題のリスクコミュニケーション  
化学物質アドバイザー・パイロット講習会 (2002. 7)

関澤 純: リスクの考え方  
化学物質アドバイザー・パイロット講習会 (2002. 7)

三井沙恵<sup>\*1</sup>, 武井亜樹<sup>\*1</sup>, 児島伸枝<sup>\*1</sup>, 高畠 亮<sup>\*1</sup>, 松田知成<sup>\*2</sup>, 関澤 純, 宮入伸一<sup>\*1</sup>: ダイオキシン受容体結合性を有する indirubin の酵素イムノアッセイ法の開発  
日本薬学会第123年会 (2003. 3)  
<sup>\*1</sup> 日本大学薬学部  
<sup>\*2</sup> 京都大学地球環境学大学院

高尾雄二<sup>\*1</sup>, 山下浩平<sup>\*1</sup>, 高良真也<sup>\*1</sup>, 犬童真紀子<sup>\*2</sup>, 長江真樹<sup>\*1</sup>, 富永伸明<sup>\*3</sup>, 石橋康弘<sup>\*4</sup>, 関澤 純, 宮入伸一<sup>\*5</sup>, 有菌幸司<sup>\*2</sup>: GC/MS 分析のためのインディルビンのトリメチルシリル化  
日本内分泌かく乱化学物質学会第5回研究発表会 (2002. 12)  
<sup>\*1</sup> 長崎大学環境学部  
<sup>\*2</sup> 熊本県立大学環境共生学部  
<sup>\*3</sup> 有明工高専物質工学科  
<sup>\*4</sup> 長崎大学環境保全センター  
<sup>\*5</sup> 日本大学薬学部

中野達也, 原田隆範<sup>\*1</sup>, 古明地勇人<sup>\*2</sup>, 福澤 薫<sup>\*3</sup>, 青木孝造, 田中成典<sup>\*4</sup>, 上林正巳<sup>\*2</sup>, 北浦和夫<sup>\*2</sup>: フラグメント分子軌道法プログラム ABINIT-MP の開発  
CBI学会第3回年会 (2002. 9)

<sup>\*1</sup> 立教大  
<sup>\*2</sup> 産総研  
<sup>\*3</sup> 富士総研  
<sup>\*4</sup> 東芝研究開発センター

Nakata, K., Tokunaga, M. <sup>\*1</sup>, Shirai, Y. <sup>\*2</sup>, Nakano, T. and Kaminuma, T. <sup>\*3</sup>: A Paradigmatic Drug Target Database for Nuclear Receptors  
16th Sumposium of the Protein Society (San Diego, 2002. 8)  
<sup>\*1</sup> アドイン研究所(株)  
<sup>\*2</sup> 情報計算法学化学生物学会  
<sup>\*3</sup> バイオダイナミクス(株)

戸田恭子, 石田誠一, 林 譲, 中田琴子, 松田りえ子, 重本(最上)由香里, 藤下加代子, 小沢正吾, 澤田純一, 井上和秀, 首藤紘一<sup>\*1</sup>: 先験的SDを用いた GeneChip データの有意差検定  
CBI学会第3回年会 (東京, 2002. 9)  
<sup>\*1</sup> 日本医薬情報センター

中田琴子, 徳永雅彦<sup>\*1</sup>, 愛澤昌宏<sup>\*2</sup>, 中野達也, 神沼二真<sup>\*3</sup>: 核内受容体に結合する薬の標的知識ベース  
CBI学会第3回年会 (東京, 2002. 9)  
<sup>\*1</sup> アドイン研究所  
<sup>\*2</sup> 東京大学生産技術研究所  
<sup>\*3</sup> バイオダイナミクス

Nakata, K., Tokunaga M. <sup>\*1</sup>, Tnakano, T., Yukawa, M. <sup>\*2</sup>, Komiyama, N. <sup>\*2</sup> and Kaminuma, T. <sup>\*3</sup>: A Toxicogenomic Knowledge Base That Integrates Receptor, CYP and Transporter Databases.  
Toxicogenomics International Forum 2002 (Okazaki, 2002. 10)  
<sup>\*1</sup> アドイン研究所  
<sup>\*2</sup> 情報計算法学化学生物学会  
<sup>\*3</sup> バイオダイナミクス

Toda, K., Ishida, S., Hayashi, Y., Nakata, K., Matsuda, R., Shigemoto-Mogami, Y., Fujishita, K., Ozawa, S., Sawada, J., Inoue, K., Shudo, K. <sup>\*1</sup>: A novel algorithm to test significant differences in microarray experiments.  
Toxicogenomics International Forum 2002 (Okazaki, 2002. 10)  
<sup>\*1</sup> 日本医薬情報センター

中田琴子, 中野達也, 福澤 薫<sup>\*1</sup>, 湯川真澄<sup>\*2</sup>, 小宮山直美<sup>\*2</sup>, 神沼二真<sup>\*3</sup>: 内分泌かく乱作用解析のためのパスウェイとネットワーク  
第5回日本内分泌かく乱化学物質学会 (環境ホルモン学会), (広島, 2002. 11)  
<sup>\*1</sup> アドバンスソフト  
<sup>\*2</sup> 情報計算法学化学生物学会  
<sup>\*3</sup> バイオダイナミクス

Nakata, K., Yukawa, M.<sup>\*1</sup>, Komiyama, N.<sup>\*1</sup>, Nakano, T., Kaminuma, T.<sup>\*2</sup>: **A Nuclear Receptor Database that Maps Pathways to Diseases.**

Genome Informatics 2002 (Tokyo, 2002. 12)

<sup>\*1</sup> 情報計算化学生物学会

<sup>\*2</sup> バイオダイナミクス

Toda, K., Ishida, S., Hayashi, Y., Nakata, K., Matsuda, R., Shigemoto-Mogami, Y., Fujishita, K., Ozawa, S., Sawada, J., Inoue, K. and Shudo, K.<sup>\*1</sup>: **A novel algorithm to test significant differences in microarray experiments.**

Genome Informatics 2002 (Tokyo, 2002. 12)

<sup>\*1</sup> 日本医薬情報センター

Nakata, K., Tokunaga, M.<sup>\*1</sup>, Nakano, T. and Kaminuma, T.<sup>\*2</sup>: **A Paradigmatic Drug Target Database**

Biophysical Society 47th Annual Meeting (San Antonio, 2003. 3)

<sup>\*1</sup> アドイン研究所

<sup>\*2</sup> バイオダイナミクス

愛澤昌宏<sup>\*1</sup>, 岩澤義郎<sup>\*2</sup>, 中野達也, 中田琴子: **核内受容体とそれに結合する薬の知識ベースの構築**

日本薬学会第123回年会(2003. 3)

<sup>\*1</sup> 東京大学生産技術研究所

<sup>\*2</sup> アドバンスソフト

戸田恭子, 石田誠一, 林 讓, 中田琴子, 松田りえ子, 小澤正吾, 澤田純一, 井上和秀, 首藤紘一<sup>\*1</sup>: **先験的SDを用いたGeneChipデータの有意差検定の有用性**

日本薬学会第123回年会(2003. 3)

<sup>\*1</sup> 日本医薬情報センター

林 讓, 松田りえ子, 伊藤克敏<sup>\*</sup>, 前田昌子<sup>\*</sup>: **17 $\alpha$ -hydroxyprogesteroneの競合ELISA法による分析の不確かさの推定**

第63回分析化学討論会(2002. 5)

<sup>\*</sup> 昭和大薬

林 讓, 松田りえ子, 伊藤克敏<sup>\*1</sup>, 前田昌子<sup>\*1</sup>, 今井一洋<sup>\*2</sup>: **ELISA法の分析値の信頼性について**

第15回バイオメディカル分析化学シンポジウム(2002. 8)

<sup>\*1</sup> 昭和大薬

<sup>\*2</sup> 東大院薬

小谷 明<sup>\*</sup>, 林 讓, 松田りえ子, 楠 文代<sup>\*</sup>: **FUMI理論に基づく電気化学検出HPLCの測定条件の最適化**

第6回分析化学東京シンポジウム・2002機器分析東京討論会

<sup>\*</sup> 東京薬科大学

西村和香<sup>\*1</sup>, 伊藤克敏<sup>\*1</sup>, 前田昌子<sup>\*1</sup>, 今井一洋<sup>\*2</sup>, 林讓, 松田りえ子: **17 $\alpha$ -hydroxyprogesteroneの競合ELISA法の精度: 理論と実践**

日本薬学会第122年会(2003. 3)

<sup>\*1</sup> 昭和大薬

<sup>\*2</sup> 東大院薬

林 讓: **エンドトキシン試験法の分析精度**  
第3回FUMI理論シンポジウム(2002. 5)

浦野 勉, 小泉睦子, 長谷川隆一: **諸外国で副作用等安全性の問題により販売中止された医薬品並びにそれらに対する国内の安全対策状況の調査研究**

日本薬学会第123年会(2003. 3)

高橋 登, 長谷川隆一: **医薬品開発におけるファーマコ・ジェネティクス/ファーマコ・ゲノミクスの有効利用に向けた国内外の検討状況の解析**

日本薬学会第123年会(2003. 3)

頭金正博: **FXRによる胆汁酸ホメオスタシスの維持機構**

第26回日本医学会総会(2003. 4)

鹿庭なほ子, 小嶋茂雄, 長谷川隆一: **患者を対象とした薬物動態試験の実施に関するアンケート調査**

日本薬学会第123年会(2003. 3)

杉山永見子, 花尻瑠理, 鹿庭なほ子, 長谷川隆一, 奥坂拓志<sup>\*1</sup>, 上野秀樹<sup>\*1</sup>, 池田公史<sup>\*1</sup>, 山本 昇<sup>\*1</sup>, 小澤正吾, 澤田純一: **血漿中ゲムシタピン及び代謝物のLC-ESI-MSを用いた分析法**

日本薬学会第123年会(2003. 3)

<sup>\*1</sup> 国立ガンセンター

吉谷隆志, 香取典子, 中島由起子, 鹿庭なほ子, 青柳伸男, 小澤正吾, 小嶋茂雄, 長谷川隆一, 澤田純一: **バクリタキセル並びにその代謝物の同時定量法の開発**

日本薬学会第123年会(2003. 3)

Koizumi, M., Nishimura, N.<sup>\*1</sup>, Enami, T.<sup>\*1</sup>, Sunaga, M.<sup>\*2</sup>, Horikawa, H.<sup>\*2</sup>, Kamata, E., Hasegawa, R.: **Comparative toxicity study of 3-aminophenol in newborn and young rats**

The 42nd Annual Meeting Society of Toxicology(2003. 3)

<sup>\*1</sup> Bozo Research Center Inc., Gotemba Laboratory

<sup>\*2</sup> Safety Research Institute for Chemical Compounds Co.

Hasegawa, R., Koizumi, M., Noda, A.<sup>\*1</sup>, Ito, Y.<sup>\*1</sup>, Furukawa, M.<sup>\*2</sup>, Fujii, M.<sup>\*2</sup>, Kamata, E., Ema, M.: **Higher susceptibility of newborn rats to 3-methylphenol than young rats**

The 42nd Annual Meeting Society of Toxicology(2003. 3)

<sup>\*1</sup> Research Institute for Animal Science in Biochemistry and Toxicology

<sup>\*2</sup> Safety Research Institute for Chemical Compounds Co., Ltd.

Inoue T.: **WS1-3 Risk Management in Drug & Food**

International Conference of Risk Management for Preventive Medicine (2003. 3. 28)

井上 達：バイオ医薬品についての安全性評価

慶応義塾大学 信濃町キャンパスリサーチパークシンポジウム 効率的な医薬品開発を目指して：医薬品の安全評価と薬物動態 (2002. 12. 4)

T. Inoue : **Introductory Note: Practical approaches for toxicogenomics**

Toxicogenomics International Forum 2002 (2002. 11. 23)

T. Inoue : **Workshop 6: Hormonally active agents and plausible relationships to adverse effects on human health**  
SCOPE/IUPAC International Symposium on Endocrine Active Substances (2002. 11. 21)

T. Inoue : **Symposium 1: Current progress of endocrine disruptor research**

5th Scientific Congress Federation of Asian & Oceanian Physiological Societies (FAOPS) (2002. 9. 24)

T. Inoue : **Low-dose effect in endocrine disruptors: Strategy for testing and assessment**

Satellite Symposium on Endocrine Disruptors: Impact on Reproductive Health (2002. 9. 27)

T. Inoue : **Practical approaches to testing and validation for possible endocrine disruptors with respect to a mechanism of action**

4th World Congress on Alternatives and Animal Use in the Life Sciences (2002. 8. 11 - 15)

井上 達：ワークショップ1 バイオテクノロジー応用医薬品の安全性評価 - 現状と将来 -

第29回日本トキシコロジー学会学術年会 (2002. 6. 20) [名古屋]

Kanno, J. : **Toxicogenomics in Pharmacology/ Physiology studies by functional genomics technology**

The 76th Annual Meeting of The Japanese Pharmacological Society (2003. 3)

Kanno, J. : **Reverse toxicology and data normalization/standardization**

Toxicogenomics International Forum (2002. 10)

菅野 純：内分泌攪乱化学物質とトキシコジェノミクス  
第5回日本水環境学会シンポジウム (2002. 9)

菅野 純：トキシコジェノミクスの展望

薬物動態談話会特別例会 (2002. 10)

Kanno, J. : **Toxicogenomics の現状**

ゲノム創薬フォーラム ゲノム創薬へのパラダイムシフ

ト (2002. 11)

菅野 純：創薬とトキシコジェノミクス研究戦略

第94回基礎研究部総会 (2003. 2)

Kitajima, S., Miyagawa-Tomita, S. <sup>\*1</sup>, Takagi, A., Inoue, T. and Saga, Y. <sup>\*2</sup> : **Cell-lineage analysis of *Mesp1*-expressing mesodermal cells in the developing murine heart.**

The 67<sup>th</sup> Cold Spring Harbor Symposium: The Cardiovascular System (2002. 5)

<sup>\*1</sup> 東京女子医大

<sup>\*2</sup> 国立遺伝学研究所

北嶋 聡, 富田幸子 <sup>\*1</sup>, 井上 達, 相賀裕美子 <sup>\*2</sup> : **転写因子 *Mesp1* の発現を指標とした心臓中胚葉の細胞系譜解析**

第35回日本発生生物学会 (2002. 6)

<sup>\*1</sup> 東京女子医大

<sup>\*2</sup> 国立遺伝学研究所

北嶋 聡：ワークショップ「創薬と疾患モデル」：マウス個体を用いた遺伝子機能の解析・転写因子 *Mesp1*, *Mesp2* ノックアウトマウスを中心に・

第19回日本疾患モデル学会 (2002. 11)

松島裕子, 井上 達, 菅野 純：卵巣摘出マウスの子宮肥大試験を用いた農薬 *o,p'*-DDT と Methoxychlor のエストロゲン様相互作用の検討

環境ホルモン学会 (日本内分泌攪乱化学物質学会) 第5回研究発表会 (2002. 11)

川崎勝義 <sup>\*1</sup>, 中島宙美 <sup>\*1</sup>, 関田清司, 小山高正 <sup>\*2</sup>, 寺尾恵治 <sup>\*3</sup>, 山海 直 <sup>\*3</sup>, 吉川泰弘 <sup>\*4</sup> : **コカイン自己投与カニクイザルの線条体ドーパミン・マイクロダイアリシス**  
第32回日本神経精神薬理学会年会 (2002. 10)

<sup>\*1</sup> 星薬科大学

<sup>\*2</sup> 日本女子大心理学部

<sup>\*3</sup> 国立感染研霊長類センター

<sup>\*4</sup> 東京大学大学院農学生命科学研究科

Urushidani, T., Matsukawa, J. <sup>\*</sup>, Tashiro, K. <sup>\*</sup> and Nagao, T. : **Role of small GTP-binding proteins and cytoskeleton in gastric acid secretion**

*Advances in GI Pharmacology* (2002. 7)

<sup>\*</sup> Graduate School of Pharmaceutical Sciences, The University of Tokyo.

Matsukawa, J. <sup>\*</sup>, Nagao, T., Urushidani, T. : **Possible role of ADP-ribosylation factor 6 and phospholipase D in acid secretion of isolated rabbit gastric glands**

*Advances in GI Pharmacology* (2002. 7)

<sup>\*</sup> Graduate School of Pharmaceutical Sciences, The University of Tokyo.

石井 絢<sup>\*</sup>, 長尾 拓, 一條秀憲<sup>\*</sup>, 漆谷徹郎 : **Parchorin**

**のリン酸化部位の決定及び未知のキナーゼの同定**

第106回日本薬理学会関東部会(2002.10)

\*東京大学薬学部

**田代啓一郎\*, 一條秀憲\*, 長尾 拓, 漆谷徹郎: ウサギ培養壁細胞における Rho の役割の解析**

第106回日本薬理学会関東部会(2002.10)

\*東京大学薬学部

**松川 純\*<sup>1</sup>, 中山和久\*<sup>2</sup>, 長尾 拓, 一條秀憲\*<sup>1</sup>, 漆谷徹郎: ADP-ribosylation factor 6 (ARF6) およびホスホリパーゼDの胃酸分泌への関与**

第25回日本分子生物学会年会(2002.12)

\*<sup>1</sup>東京大学薬学部\*<sup>2</sup>京都大学薬学部**大森聡子\*, 長尾 拓, 一條秀憲\*, 漆谷徹郎: 水分泌細胞特異的に発現する蛋白質 panchorin のマウスホモログのクローニング**

第25回日本分子生物学会年会(2002.12)

\*東京大学薬学部

**水川裕美子, 一條秀憲\*, 長尾 拓, 漆谷徹郎: 細胞内塩素イオンチャネル (CLIC) 関連蛋白質 panchorin の MDCK 細胞における膜移行**

第76回日本薬理学会年会(2003.3)

\*東京大学薬学部

**高橋 雄, 井上 達, 相賀裕美子\*: 体節形成における分子時計と前後極性の関係: Mesp2 の役割**

日本発生生物学会第35回大会(2002.5)

\*国立遺伝学研究所

**Takahashi, Y., Inoue, T. and Saga, Y.\*: Notch ligands Dll1 and Dll3 play distinct roles in establishment of stripe pattern in somitogenesis**

Mouse Molecular Genetics 2002 (2002.8-9)

\*National Institute of Genetics

**Saga, Y.\*, Takahashi, Y. and Inoue, T.: Molecular events leading to the establishment of rostral-caudal polarity of a somite**

Mouse Molecular Genetics 2002 (2002.8-9)

\*National Institute of Genetics

**小野 敦, 浅野和信\*, 橋本せつ子\*, 井上 達, 菅野純: 表面プラズモン共鳴センサーを用いた迅速内分泌かく乱物質スクリーニング法**

第29回日本トキシコロジー学会(2002.6)

\*ピアコア株式会社

**橋本せつ子\*, 小野 敦, 浅野和信\*, 大藤 努\*, 井上 達, 菅野 純: 表面プラズモン共鳴センサーを用いた内分泌かく乱化学物質スクリーニング法**

第75回日本生化学会(2002.10)

\*ピアコア株式会社

**高木篤也, 五十嵐勝秀, 金子豊蔵, 井上 達, 菅野純: ES細胞の遺伝子発現に及ぼすTCDDの影響**

第29回日本トキシコロジー学会学術年会(2002.6)

Takagi, A., Kaneko, T., Igarashi, K., Kanno, J. and Inoue, T.: Effects of TCDD and polychlorinated terphenyls (PCTs) on the development of cleft palate in mouse embryos.

The 22st International Symposium on halogenated Environmental Organic Pollutants and POPs. (2002.8)

Takagi, A., Matuda, N., Kaneko, T., Kanno, J. and Inoue, T.: Effects of TCDD on the gene expression in mouse embryonic stem cells in Culture

Teratology 2002 (2002.6)

平林容子, 尹 秉一, 李 光勲, 金子豊蔵, 内田雄幸, 川崎 靖, 淀井淳司\*, 菅野 純, 井上 達: Trx/ADF 遺伝子改変マウスの酸化ストレス抵抗性 ダイオキシン2,3,7,8-tetrachlorodibenzo-p-dioxin (TCDD) 暴露に対する影響について

第92回日本病理学会総会(2003.4)

\*京都大学ウイルス研

Hirabayashi, Y., Yoon, B.I., Li, G.X., Yoshida, K.\*, Kanno, J., and Inoue, T.: The BUUV method? New tool to measure stem cell kinetics for the hemopoietic progenitors. Keystone symposium (2003.3)

\*Radiation Hazards Research Group, NIRS, Chiba

Hirabayashi, Y., Yoon, B.I., Li, G.X., Kawasaki, Y., Kodama, Y., Kaneko, T., Kanno, J., Aizawa, S.\* and Inoue, T.: Mechanistic differences of benzene-induced leukemogenesis: genotoxic in p53-deficiency vs. Epigenetic in the wild type. Society of Toxicology, 42nd Annual Meeting &amp; ToxExpo (2003.3)

\*Lab. for Vertebrate Body Plan, Riken Center for Developmental Biology

田中 稔\*<sup>1</sup>, 平林容子, 井上 達, 勝木元也\*<sup>2</sup>, 宮島篤\*<sup>1</sup>: オンコスタチンM受容体ノックアウトマウスの造血機能の解析

第25回日本分子生物学会年会(2002.12)

\*<sup>1</sup>東大・分生研\*<sup>2</sup>基生研

平林容子, 尹 秉一, 李 光勲, 川崎 靖, 淀井淳司\*, 菅野 純, 井上 達: Thioredoxin/ADF の過剰発現による発がんの分子抑制

第25回日本分子生物学会年会(2002.12)

\*京都大学ウイルス研究所

Hirabayashi, Y., Yoon, B.I., Li, G.X., Kawasaki, Y., Kodama,

Y., Kaneko, T., Yodoi, J. \*, Kanno, J. and Inoue, T. : **Study of experimental model for leukemia-prevention by over-expression of non-transcription factor related gene: Attenuation of spontaneous and benzene-induced leukemias by absorption of reactive oxygen species (ROS) using thioredoxin over-expression mo**

The 44th Annual Meeting of the American Society of Hematology ( 2002. 12 )

\* Institute of Virus Research, Kyoto Univ.

Hirabayashi, Y., Yoon, B.I., Tsuboi, I., Huo, Y., Kodama, Y., Otto, T. \*<sup>1</sup>, Kanno, J., Willecke, K. \*<sup>1</sup>, Trosko, J.E. \*<sup>2</sup> and Inoue, T. : **Cx32 knockout mouse and leukemogenesis**

16th International Mouse Genome Conference ( 2002. 11 )

\*<sup>1</sup> Inst fur Genetik, Bonn Univ, Bonn, Germany

\*<sup>2</sup> Dept of Ped and Human Dev, Michigan State Univ,

College of Human Med, East Lansing, Michigan, U.S.A.

平林容子, 尹 秉一, 霍 艶, 川崎 靖, 児玉幸夫, 菅野 純, 井上 達 : **コネクシン欠失造血障害モデル (2)**

第19回日本疾患モデル学会 ( 2002. 11 )

Hirabayashi, Y., Yoon, B.I., Kawasaki, Y., Li, G.X., Kanno, J., and Inoue, T. : **On the mechanistic differences of benzene-induced leukemogenesis between wild type and p53 knockout mice**

International Symposium on Biological Effects of Low Dose Radiation ( 2002. 11 )

Hirabayashi, Y., Yoon, B.I., Tsuboi, I., Huo, Y., Kodama, Y., Otto, T. \*<sup>1</sup>, Kanno, J., Willecke, K. \*<sup>1</sup>, Trosko, J.E. \*<sup>2</sup> and Inoue, T. : **Connexin 32 (Cx32) plays double functions, a promotion and a protection, For the chemically induced leukemogenesis**

International Symposium on Biological Effects of Low Dose Radiation ( 2002.10 )

\*<sup>1</sup> Inst fur Genetik, Bonn Univ, Bonn, Germany

\*<sup>2</sup> Dept of Ped and Human Dev, Michigan State Univ, College of Human Med, East Lansing, Michigan, U.S.A.

平林容子, 尹 秉一, 川崎 靖, 李 光勲, 霍 艶, 金子豊蔵, 黒川雄二 \*<sup>1</sup>, 淀井淳司 \*<sup>2</sup>, 菅野 純, 井上 達 : **Thioredoxin 過剰発現によるベンゼン誘発白血病の抑制**

第61回日本癌学会総会 ( 2002. 2 )

\*<sup>1</sup> 佐々木研

\*<sup>2</sup> 京大ウイルス研

吉田和子 \*, 相沢志郎 \*, 渡辺恵子 \*, 平林容子, 井上 達 : **p53ヘテロ欠失B10マウスに放射線で誘発されるリンパ腫は副腎皮質ホルモン投与により抑制される**

日本放射線影響学会 第45回大会 ( 2002. 9 )

\* 放医研

相沢志郎 \*, 渡辺恵子 \*, 田中 薫 \*, 吉田和子 \*, 平林

容子, 井上 達 : **p53ヘテロ欠失マウスからの放射線誘発胸腺リンパ腫発生過程におけるp53ホモ欠失マウス胸腺細胞の出現の解析**

日本放射線影響学会 第45回大会 ( 2002. 9 )

\* 放医研

平林容子, 尹 秉一, 壺井 功, 霍 艶, 李 光勲, 井上 達 : **コネクシン32の骨髄の造血における機能と実験白血病の誘発における防護と促進の二面的役割**

第64回日本血液学会総会 ( 2002. 9 )

峯畑健一 \*, 竹内真樹 \*, 平林容子, 井上 達, 宮島篤 \*: **新生児の造血におけるオンコスタチンMの役割**

第64回日本血液学会総会 ( 2002. 9 )

\* 東大・分生研

Hirabayashi, Y., Miyajima, A. \*<sup>1</sup>, Yokota, T. \*<sup>2</sup>, Arai, K-I. \*<sup>2</sup>, Li, G.X., Yoon, B.I., Kaneko, T., Kanno, J. and Inoue, T. : **Effect of 2,3,7,8-tetrachlorodibenzo-p-dioxin (TCDD) on B cell differentiation in mouse pre-B colonization model regulated by artificially introduced human IL-3 receptors**

22nd International Symposium on Halogenated Environmental Organic Pollutant and POPs( Dioxin 2002 )

( 2002. 8 )

\*<sup>1</sup> 東大・分生研

\*<sup>2</sup> 東大・医科研

Hirabayashi, Y., Yoon, B.I., Kawasaki, Y., Yodoi, J. \* and Inoue, T. : **Thioredoxin overexpression mouse is less sensitive to benzene hematotoxicity and leukemogenicity**

31st Annual Meeting of the International Society for Experimental Hematology ( 2002. 7 )

\* Institute of Virus Research, Kyoto Univ.

Yoon, B.I., Hirabayashi, Y., Kanno, J., Fujii-Kuriyama, Y. \* and Inoue, T. : **Aryl hydrocarbon receptor (AhR) mediates benzene-induced hematotoxicity**

31st Annual Meeting of the International Society for Experimental Hematology ( 2002. 7 )

\* Department of Chemistry, Tohoku University, Graduate School for Science.

Minehata, K-I. \*<sup>1</sup>, Takeuchi, M. \*<sup>1</sup>, Sekine, K. \*<sup>1</sup>, Hara, T. \*<sup>2</sup>, Donovan, P. \*<sup>3</sup>, Hirabayashi, Y., Inoue, T. and Miyajima, A. \*<sup>1</sup> : **Role of OncostatinM for the expansion of erythroid progenitors in bone marrow and spleen during the embryogenic and neonatal stages**

31st Annual Meeting of the International Society for Experimental Hematology ( 2002. 7 )

\*<sup>1</sup> IMCB, Univ. of Tokyo

\*<sup>2</sup> Tokyo Metropolitan Institute

\*<sup>3</sup> Thomas Jefferson Univ., USA

平林容子, 尹 秉一, 川崎 靖, 児玉幸夫, 金子豊蔵, 菅野 純, 井上 達 : **アリルハイドロカーボン受容体を**

### 介したベンゼンの造血毒性発現

第29回日本トキシコロジー学会学術年会(2002.6)

平林容子, 川崎 靖, 尹 秉一, 児玉幸夫, 菅野 純, 淀井淳司\*, 井上 達: ADF過剰発現による老化遅延マウスでの遺伝子毒性発がんおよびエピジェネティック発がん  
日本基礎老化学会 第25回大会(2002.5)

\*京都大学ウイルス研究所

相沢 信\*<sup>1</sup>, 平本正樹\*<sup>1</sup>, 相崎健一, 藤井寿一\*<sup>2</sup>, 菅野仁\*<sup>2</sup>: ビルビン酸キナーゼ異常症における無効造血  
第64回日本血液学会総会(2002.9)

\*<sup>1</sup> 日本大学医学部

\*<sup>2</sup> 東京女子医科大学輸血・細胞プロセッシング部

大野泰雄: 薬物相互作用・臨床薬物動態試験: 実施その解釈と留意点

日本薬物動態学会ワークショップ(2002.5)

Yasuo Ohno: Japanese Regulatory Requirements for Clinical Pharmacokinetics

Microsome and Drug Oxidation(2002.7)

Yasuo Ohno: Validation & Regulatory Acceptance of Alternative Methods. Regulatory Acceptance in Japan

4th World Congress on Alternatives to Animal Experimentation(2002.8)

大野泰雄: 薬物相互作用

創薬薬理フォーラム(2002.9)

大野泰雄: 安全性薬理コアバッテリー試験のGLP適合性調査

医薬品機構主催シンポジウム, 東京(2002.9.18), 大阪(2002.9.20)

岡崎 治\*<sup>1</sup>, 糸川健一\*<sup>1</sup>, 山田泰弘\*<sup>2</sup>, 松本茂樹\*<sup>3</sup>, 中村明生\*<sup>4</sup>, 藤崎 浩\*<sup>5</sup>, 寺内嘉章\*<sup>6</sup>, 馬場隆彦\*<sup>7</sup>, 嶋田薫\*<sup>8</sup>, 大野泰雄: 代謝研究のためのヒト肝細胞のバリデーション(1)凍結ヒト肝細胞を用いた薬物代謝評価  
第17回日本薬物動態学会, 東京(2002.11)

\*<sup>1</sup> 第一製薬

\*<sup>2</sup> 田辺製薬

\*<sup>3</sup> 持田製薬

\*<sup>4</sup> 日本新薬

\*<sup>5</sup> アベンティスファーマ

\*<sup>6</sup> 大日本製薬

\*<sup>7</sup> 塩野義製薬

\*<sup>8</sup> ファイザー製薬

東郷克彦\*, 後藤 洋\*, 中村明生\*, 大野泰雄: 代謝研究のためのヒト肝細胞のバリデーション(2)凍結ヒト肝細胞を用いたエトドラクの代謝検討  
第17回日本薬物動態学会, 東京(2002.11)

\* 日本新薬

藤崎 浩\*, 有馬德行\*, 大野泰雄: 代謝研究のためのヒト肝細胞バリデーション(3)凍結ヒト肝細胞を用いたアザセトロン代謝評価

第17回日本薬物動態学会 東京(2002.11)

\*三菱ウェルファーマ

三瀬雅史\*, 寺内嘉章\*, 大野泰雄: 代謝研究のためのヒト肝細胞バリデーション(4)凍結ヒト肝細胞を用いたゾニサミドの代謝評価

第17回日本薬物動態学会 東京(2002.11)

\*大日本製薬

戸内 明\*, 佐藤隼人\*, 山口嘉隆\*, 桐田史郎\*, 馬場隆彦\*, 大野泰雄: 代謝研究のためのヒト肝細胞バリデーション(5)凍結ヒト肝細胞を用いたリルマザホン及びニトラゼパムの代謝

第17回日本薬物動態学会 東京(2002.11)

\*塩野義製薬

高島忠之\*, 村瀬茂夫\*, 嶋田 薫\*, 大野泰雄: 代謝研究のためのヒト肝細胞バリデーション(6) CYP2D6 PM/EM凍結ヒト肝細胞を用いたデキストロメトルファンの代謝評価

第17回日本薬物動態学会 東京(2002.11)

\*ファイザー製薬

大野泰雄: Mass Balance 試験の意義.

第17回日本薬物動態学会. フォーラム2002(2002.11.22)

大野泰雄: 臓器移植法の改定とヒト組織の研究利用. イントロダクション

第16回日本動物実験代替法学会シンポジウム(2002.12)

大野泰雄: 「Balb/c 3T3 細胞を用いたニュートラルレッド取り込みを指標とした光毒性試験代替法の評価」

厚生科学研究「動物実験代替法の開発と利用に関する調査研究」班及び日本動物実験代替法学会代替法評価委員会主催公開シンポジウム(2002.12)

大野泰雄: OECDガイドライン・皮膚吸収(427, 428)および皮膚腐食性(430, 431)について. 最近のOECD毒性試験・ガイドラインの動向について

国立衛研, 特別講演会(2003.2)

大野泰雄: ヒト肝(細胞, ミクロゾーム)を用いた薬物動態試験

第二回ヒューマンサイエンス研究資源バンク技術講習会, 財団法人ヒューマンサイエンス振興財団主催(2003.2)

Koizumi, S. and Inoue, K.: A dynamic regulation by astrocytic ATP of synaptic transmission in the hippocampus

The 3<sup>rd</sup> International symposium of brain function ( 2002. 5 )

Koizumi, S., Tsuda, M., Shigemoto-Mogami, Y., Fujishita, K. and Inoue, K. : Regulation by astrocytic ATP of synaptic transmission in cultured rat hippocampal neurons 7<sup>th</sup> International Symposium for Adenine & Adenine Nucleotide ( 2002. 5 )

Koizumi, S., Rosa, P. <sup>\*1</sup>, Willars, G.B. <sup>\*2</sup>, Challiss, R.A.J. <sup>\*2</sup>, Taverna, E. <sup>\*1</sup>, Francolini, M. <sup>\*1</sup>, Bootman, M.D. <sup>\*3</sup>, Lipp, P. <sup>\*3</sup>, Roder, J. <sup>\*4</sup>, Jeromin, A. <sup>\*4</sup> and Inoue, K. : P2Y 受容体を介する開口放出増強機序の解明  
日本神経科学会 ( 2002. 7 )

<sup>\*1</sup> CNR-Cell. Mol. Pharmacol. Center

<sup>\*2</sup> University of Leicester

<sup>\*3</sup> The Babraham Institute

<sup>\*4</sup> Mount Sinai Hospital

小泉修一, 井上和秀 : ATP による細胞間 Ca<sup>2+</sup> wave  
日本神経化学会 ( 2002. 7 )

小泉修一, 井上和秀 : グリア細胞のシナプス伝達 への関与  
ATP 研究会 ( 2002. 8 )

Koizumi, S., Fujishita, K., Tsuda, M., Shigemoto-Mogami, Y., and Inoue, K. : Characterization of intercellular calcium wave propagation in by endogenous ATP in cultured hippocampus  
Society for Neuroscience 31<sup>st</sup> Annual Meeting ( 2002. 11 )

小泉修一, 井上和秀 : アストロサイト由来 ATP は恒常的にシナプス伝達を制御している  
岡崎生理研研究会 ( 2002. 11 )

小泉修一, 井上和秀 : 目で見るアストロサイトの ATP 放出と Ca<sup>2+</sup> wave 伝播  
神経科学領域における分子モニタリング ( 2002. 11 )

小泉修一, 井上和秀 : ATP によるアストロサイト-神経連関  
グリア研究会 ( 2002. 11 )

小泉修一, 井上和秀 : ATP とグリア細胞による神経伝達調節  
クロマフィン研究会 ( 2002. 12 )

小泉修一 : P2Y 受容体と痛み  
ATP・アデノシン研究会第 8 回学術シンポジウム ( 2003. 3 )

小泉修一, 井上和秀 : ATP によるグリア-神経細胞クロストーク  
日本薬理学会 ( 2003. 3 )

小泉修一, 井上和秀 : アストロサイトからの ATP 放出と神経細胞機能  
日本薬理学会 ( シンポジウム ) ( 2003. 3 )

津田 誠<sup>\*</sup>, 小泉修一, 井上和秀 : Neuropathic pain and spinal glial cells: controlling by ATP receptors  
日本薬理学会 ( シンポジウム ) ( 2003. 3 )

藤下加代子, 小泉修一, 重本 最上 由香里, 小濱とも子, 井上かおり<sup>\*</sup>, 井上和秀 : ATP によるヒト表皮ケラチノサイトの細胞間 Ca<sup>2+</sup> wave 伝播の解析  
日本薬理学会 ( 2003. 3 )

溝腰朗人, 津田 誠, 重本(最上)由香里, 井上和秀 : 神経因性疼痛モデル動物のアロディニア発現は p38MAP キナーゼ阻害薬で抑制される  
日本薬理学会 ( 2003. 3 )

檜楨大介, 小泉修一, 溝腰朗人, 津田誠, 重本(最上)由香里, 井上和秀 : UTP によるアロディニア誘発機序の解明  
日本薬理学会 ( 2003. 3 )

宮竹真由美<sup>\*</sup>, 成田 年<sup>\*</sup>, 小泉修一, 井上和秀, 鈴木勉<sup>\*</sup> : メタンフェタミン誘発性運動亢進におけるアストロサイト役割  
日本薬理学会 ( 2003. 3 )  
<sup>\*</sup> 星薬科大学

篠崎陽一, 小泉修一, 石田誠一, 井上和秀 : ATP により誘発されるアストロサイトの遺伝子発現パターンの解析  
日本薬理学会 ( 2003. 3 )

戸崎秀俊, 重本(最上)由香里, 小濱とも子, 小泉修一, 井上和秀 : レチノイドによる P2X<sub>2</sub> 遺伝子発現亢進  
日本薬理学会 ( 2003. 3 )

重本(最上)由香里, 小泉修一, 津田 誠, 佐々木 洋<sup>\*</sup>, 大澤圭子<sup>\*</sup>, 石田誠一, 高坂新一<sup>\*</sup>, 多田 薫, 井上和秀 : ミクログリア P2Y<sub>6</sub> 受容体の生理機能  
日本薬理学会 ( 2003. 3 )  
<sup>\*</sup> 国立精神神経センター

Nakazawa, K. : Effects of amino acid substitution at external channel pore mouth on multivalent cation block of P2X<sub>2</sub> receptor  
7th International Symposium on Adenosine & Adenine Nucleotides ( 2002. 5 )

Sato, K., Matsuki, N., Ohno, Y., Nakazawa, K. : Effects of 17β-estradiol and xenoestrogen on the glutamate uptake in primary cultured rat astrocytes  
32<sup>nd</sup> Annual Meeting, Society for Neuroscience ( 2002. 11 )

中澤憲一, 生島裕恵, 大野泰雄: **P2X<sub>2</sub>受容体の細胞外領域のATP感受性に関わるアミノ酸残基**

ATP・アデノシン研究会第8回学術シンポジウム(2003.3)

佐藤 薫, 松木則夫\*, 中澤憲一, 大野泰雄: **エストロゲンによる培養アストロサイトのグルタミン酸取り込み阻害の作用メカニズム**

第76回日本薬理学会年会(2002.3)

\*東京大学

生島裕恵, 中澤憲一, 野澤(石井)玲子\*, 竹内幸一\*, 大野泰雄: **P2X<sub>2</sub>受容体活性化における細胞外ループ内ジスルフィド結合近隣アミノ酸の役割**

第76回日本薬理学会年会(2002.3)

\*明治薬科大学

中澤憲一, 生島裕恵, 野澤(石井)玲子\*, 竹内幸一\*, 大野泰雄: **P2X<sub>2</sub>受容体細胞外領域の高保存性トリプトファン残基のチャネル活性化における必要性**

第76回日本薬理学会年会(2002.3)

\*明治薬科大学

小澤正吾: **第 相薬物代謝酵素: 機能, 遺伝的多型性, および発現調節**

第20回生物薬剤学研究会(2002.6)

石田誠一, 重本(最上)由香里, 影近弘之, 首藤紘一, 小澤正吾, 澤田純一, 大野泰雄, 井上和秀: **遺伝子発現プロファイリングによって見出されたレチノイドシナージストの新しいサブクラスとその治療薬として可能性**

第13回日本レチノイド研究会(2002.11)

石田誠一: **DNA Chipの神経薬理学への応用**

第7回「神経科学領域における分子モニタリング」シンポジウム(2002.11)

小澤正吾: **投薬日本人患者の遺伝子多型解析**

第17回日本薬物動態学会(2002.11)

小澤正吾: **薬物代謝酵素遺伝子多型と抗癌剤の薬効・副作用**

第49回日本臨床検査医学会総会(2002.11)

小澤正吾: **日本人臓器の研究利用の必要性について: 日本人特異的なSNPとその機能について代謝酵素を材料として**

第16回日本動物実験代替法学会大会(2002.12)

八幡紋子\*, 金 秀良, 斎藤嘉朗, 久保 崇, 中島由起子, 大野泰雄, 松本宜明\*, 福岡正道\*, 小澤正吾, 澤田純一: **チミジル酸合成酵素遺伝子の5'-非翻訳領域(UTR)のくり返し配列多型**

第123回日本薬学会年会(2003.3)

\*昭和薬科大学

簾内桃子, 森田繁道\*<sup>1</sup>, 繁原英治\*<sup>2</sup>, 馬場隆彦\*<sup>3</sup>, 二宮真一\*<sup>4</sup>, 岡崎 治\*<sup>5</sup>, 寺内嘉章\*<sup>6</sup>, 山田泰弘\*<sup>7</sup>, 名淵義明\*<sup>8</sup>, 中村明生\*<sup>9</sup>, 安盛俊雄\*<sup>10</sup>, 嶋田 薫\*<sup>11</sup>, 藤崎浩\*<sup>12</sup>, 奥平典子\*<sup>13</sup>, 大西修平\*<sup>14</sup>, 大野泰雄: **代謝研究のためのヒト肝細胞バリデーション(7)倫理委員会への承認申請の現状**

第17回日本薬物動態学会(2002.11)

\*<sup>1</sup> アベンティスファーマ(株)薬物動態研究所

\*<sup>2</sup> 三共(株)薬剤動態研究所

\*<sup>3</sup> 塩野義製薬(株)新薬研究所

\*<sup>4</sup> 第一化学薬品(株)薬物動態研究所

\*<sup>5</sup> 第一製薬(株)創剤代謝研究所

\*<sup>6</sup> 大日本製薬(株)薬物動態研究所

\*<sup>7</sup> 田辺製薬(株)薬物動態ユニット

\*<sup>8</sup> 中外製薬(株)動態物性研究所

\*<sup>9</sup> 日本新薬(株)開発研究所

\*<sup>10</sup> 萬有製薬(株)生物医学研究所

\*<sup>11</sup> ファイザー製薬(株)中央研究所

\*<sup>12</sup> 三菱ウエルファーマ(株)開発研究所

\*<sup>13</sup> 明治製薬(株)薬物動態研究所

\*<sup>14</sup> 持田製薬(株)薬物動態研究所

紅林秀雄, 大野泰雄: **除草剤prometrynのヒトおよびラット肝ミクロソームにおける代謝**

日本薬学会第123年会(2003.3)

宇佐見誠, 大野泰雄: **培養ラット胚の発育に及ぼす補体成分C3フラグメントの効果に関する検討**

第42回日本先天異常学会学術集会(2002.7)

宇佐見誠, 大野泰雄: **培養ラット胚における補体成分C3の胚栄養因子活性と膜受容体との結合に関する研究**

日本動物実験代替法学会第16回大会(2002.12)

西川秋佳, 古川文夫, 広瀬雅雄: **BOP誘発ハムスター膀胱がんにおけるCOX-2の発現とnimesulideによる修飾**

第91回日本病理学会総会(2002.3)

西川秋佳, 広瀬雅雄: **強力なin vivo変異原物質MXのマウスにおける発がん性の検討**

第91回日本病理学会総会(2002.3)

広瀬雅雄, 岡崎和志, 西川秋佳: **Benzyl isothiocyanateによるラットBBN膀胱発がんの修飾作用**

第9回日本がん予防研究会(2002.7)

西川秋佳, 古川文夫, 梅村隆志, 岡崎和志, 神吉けい太, 若林敬二\*, 広瀬雅雄: **中期膀胱発がんモデルにおけるCOX-2阻害剤nimesulideの抑制効果**

第9回日本がん予防研究会(2002.7)

\*国立がんセンター研究所

西川秋佳, 岡崎和志, 中嶋 圓\*<sup>1</sup>, 木苗直秀\*<sup>2</sup>, 能美健彦, 広瀬雅雄: **gpt deltaマウスにおけるMXの変異原**

**性・がん原性検索**

第61回日本癌学会総会ワークショップ(2002.10)

\*<sup>1</sup> 安評センター

\*<sup>2</sup> 静岡県立大

今沢孝喜, 西川秋佳, 孫 和永, 岡崎和志, 梅村隆志, 神吉けい太, 広瀬雅雄: **DHPN 誘発ラット甲状腺発がんモデルにおける atrazine または tamoxifen の影響**  
第61回日本癌学会総会(2002.10)

岡崎和志, 西川秋佳, 今沢孝喜, 梅村隆志, 神吉けい太, 丸山覚司, 広瀬雅雄: **Benzyl isothiocyanate (BITC) のラット膀胱発がんに対する多様な修飾作用**  
第61回日本癌学会総会(2002.10)

神吉けい太, 岡崎和志, 西川秋佳, 今沢孝喜, 梅村隆志, 丸山覚司, 広瀬雅雄: **Benzyl isothiocyanate (BITC) の同時投与によるラットBBN膀胱発がんの抑制**  
第61回日本癌学会総会(2002.10)

丸山覚司, 岡崎和志, 西川秋佳, 今沢孝喜, 梅村隆志, 神吉けい太, 中澤裕之\*, 吉村吉博\*, 広瀬雅雄: **アスコルビン酸と亜硝酸塩併用投与によるラット前胃発がん促進作用のメカニズム**  
第61回日本癌学会総会(2002.10)

\* 星薬科大

梅村隆志, 児玉幸夫, 今沢孝喜, 岡崎和志, 神吉けい太, 丸山覚司, 西川秋佳, 広瀬雅雄, 黒川雄二\*: **肺発がん物質短期検出系 (rasH2/BHT モデル) の開発**  
第61回日本癌学会総会(2002.10)

\* 佐々木研究所

増村健一, 西川秋佳, 岡崎和志, 梅村隆志, 広瀬雅雄, 能美健彦: **臭素酸カリウム (KBrO<sub>3</sub>) による種特異的腎発がんと突然変異誘発の解析**  
第61回日本癌学会総会(2002.10)

Sung-Hee Lee \*, In-Seon Lee \*, Sung-Hee Lee \*, Syngook Lee \*, Akiyoshi Nishikawa: **Apoptosis induction by *Artemisia princeps* var. *orientalis* in human leukemia U937 cells**

第61回日本癌学会総会(2002.10)

\* Keimyung Univ.

西川秋佳: **化学発がんの修飾機構とがんの予防**  
第3回岐阜シンポジウム・日本癌学会シンポジウム(2002.11)

神吉けい太, 西川秋佳, 古川文夫, 岡崎和志, 梅村隆志, 北村泰樹, 今沢孝喜, 広瀬雅雄: **MNG ラット二段階段胃発がんにおける選択的 COX-2 阻害剤 Nimesulide の影響**  
第19回日本毒性病理学会(2003.1)

今沢孝喜, 西川秋佳, 曾根秀子\*, 梅村隆志, 北村泰樹, 神吉けい太, 広瀬雅雄: **LEC ラットにおけるメタロチオネイン, HNE 修飾蛋白および HSP60 の免疫電顕的観察**

第19回日本毒性病理学会(2003.1)

\* 国立環境研究所

梅村隆志, 児玉幸夫, 神吉けい太, 北村泰樹, 今沢孝喜, 西川秋佳, 広瀬雅雄: **DEN 低濃度長期投与により生じるマウス肝内胆管嚢胞状過形成に対するペンタクロロフェノールの促進効果**  
第19回日本毒性病理学会(2003.1)

北村泰樹, 西川秋佳, 神吉けい太, 梅村隆志, 今沢孝喜, 増村健一, 能美健彦, 広瀬雅雄: **MeIQx の gpt delta マウスにおける *in vivo* 変異原性とがん原性の比較**  
第19回日本毒性病理学会(2003.1)

Nishikawa, A., Furukawa, F., Umemura, T., Kanki, K., Wakabayashi, K. \*, Hirose, H.: **A COX-2 inhibitor inhibits post-initiation phase of *N*-nitrosobis(2-oxopropyl)amine-induced pancreatic carcinogenesis in hamsters**  
42<sup>nd</sup> Annual Meeting of Society of Toxicology(2003.3)

\* 国立がんセンター研究所

Uneyama, C., Shibutani, M., Masao, H.: **Application of methacarn fixation for genetic analysis in microdissected paraffin-embedded tissue specimens**  
The third international symposium on the study of brain function(2002.6)

榎富直哉, 渋谷 淳, 高木広憲, 畝山智香子, 高橋則行, 有村卓朗, 広瀬雅雄: **内分泌かく乱化学物質の周産期暴露による児動物下垂体前葉のゴナドトロピン陽性細胞数の変動について**  
第29回日本トキシコロジー学会学術年会(2002.6)

渋谷 淳, 有村卓朗, 畝山智香子, 高木広憲, 広瀬雅雄: **非遺伝子傷害性肝発がん物質投与ラットにおける発現遺伝子群のプロファイリング**  
第61回日本癌学会総会(2002.10)

高木広憲, 渋谷 淳, 岡崎和志, 畝山智香子, 広瀬雅雄: **Phenylethyl isothiocyanate (PEITC) のラット膀胱二段階発癌モデルにおけるイニシエーション作用**  
第61回日本癌学会総会(2002.10)

畝山智香子, 渋谷 淳, 高木広憲, 有村卓朗, 広瀬雅雄: **メタカーン固定・パラフィン包埋切片からの多目的な遺伝子解析(第四報)**  
第61回日本癌学会総会(2002.10)

渋谷 淳: **マイクロダイセクション法の基礎と毒性病理学への応用, メタカーン固定材料を用いた解析方法について**

日本毒性病理学会主催 平成14年度毒性病理教育セミナー (2002.11)

加藤奈津美\*, 渋谷 淳, 高木広憲, 眞島恵介\*, 畝山智香子, 井上弘子, 藤田春香, 広瀬雅雄: **Ethinylestradiol 28日間反復投与時のラット肝臓における遺伝子の網羅的発現解析**

第19回日本毒性病理学会(2003.1)

\*立教大学理学部

畝山智香子, 渋谷 淳, 高木広憲, 加藤奈津美, 藤田春香\*, 井上弘子\*, 広瀬雅雄: **メタカーン固定・免疫染色後 microdissection により採取した微小組織領域での突然変異解析**

第19回日本毒性病理学会(2003.1)

\*第一製薬研究技術センター

井上弘子\*, 渋谷 淳, 高木広憲, 加藤奈津美, 李 京烈, 有村卓朗, 畝山智香子, 藤田春香\*, 広瀬雅雄: **非遺伝子傷害性肝発がん物質長期間投与によって発現の変化する遺伝子群のカタログ化**

第19回日本毒性病理学会(2003.1)

\*第一製薬研究技術センター

藤田春香\*, 高木広憲, 渋谷 淳, 畝山智香子, 井上弘子\*, 加藤奈津美, 広瀬雅雄: **メタカーン固定・パラフィン包埋切片における laser microdissection, real-time RT-PCR を用いた微小細胞領域における mRNA 発現解析法の開発**

第19回日本毒性病理学会(2003.1)

\*第一製薬研究技術センター

高木広憲\*<sup>1</sup>, 渋谷 淳, 畝山智香子, 李 輝哲\*<sup>2</sup>, 西原真杉\*<sup>2</sup>, 三森国敏\*<sup>1,3</sup>, 広瀬雅雄: **Ethinylestradiol の周産期曝露により誘発されるラット内分泌・生殖器系の変化に及ぼす genistein の修飾作用の検討**

第19回日本毒性病理学会(2003.1)

\*<sup>1</sup> 岐阜大連合獣医

\*<sup>2</sup> 東京大学

\*<sup>3</sup> 東京農工大

Shibutani, M., Arimura, T., Kobayashi, T., Takahashi, N., Takagi, H.\*, Uneyama, C., Hirose, M.: **Molecular profiling of genes showing altered expression in the livers of rats treated with non-genotoxic carcinogens for 28 days**

42th Annual Meeting of Society of Toxicology (2003.3)

\* United Graduate School of Veterinary Sciences

Takagi, H.\*<sup>1</sup>, Shibutani, M., Masutomi, N., Uneyama, C., Takahashi, N., Mitsumori, K.\*<sup>1,2</sup>, Hirose, M.: **Effects of perinatal exposure of five putative endocrine disrupting chemicals (EDCs), methoxychlor, genistein, diisononyl-phthalate, 4-nonylphenol and bisphenol A, on endocrine/reproductive systems in rats**

42th Annual Meeting of Society of Toxicology (2003.3)

\*<sup>1</sup> United Graduate School of Veterinary Sciences

\*<sup>2</sup> Tokyo University of Agriculture and Technology

上田 誠, 今井俊夫, 小野寺博志, 瀧澤 保, 高木久宜, 三森国敏\*, 広瀬雅雄: **Atrazine の卵巣摘出ラットに対する乳腺発がん修飾作用の検討**

第29回日本トキシコロジー学会学術年会(2002.6)

\*東京農工大学

今井俊夫: **各種臓器における二段階発がんモデルの応用**

第134回日本獣医学会学術集会シンポジウム(2002.9)

瀧澤 保, 今井俊夫, 上田 誠, 広瀬雅雄: **エストラジオールのラット甲状腺発がんプロモーション作用に対する抗甲状腺剤の増強作用**

第61回日本癌学会総会(2002.10)

蓮村麻衣, 瀧澤 保, 上田 誠, 小野瀬淳一, 今井俊夫, 広瀬雅雄: **DHPN-sulfadimethoxine 誘発ラット甲状腺癌の被膜浸潤過程**

第61回日本癌学会総会(2002.10)

上田 誠, 今井俊夫, 小野寺博志, 瀧澤 保, 高木久宜, 小野瀬淳一, 蓮村麻衣, 三森国敏\*, 広瀬雅雄: **Atrazine の卵巣摘出ラットに対する乳腺発がん修飾作用の検討**

第61回日本癌学会総会(2002.10)

\*東京農工大学

小野瀬淳一, 上田 誠, 蓮村麻衣, 今井俊夫, 広瀬雅雄: **DMBA 誘導ラット乳腺腫瘍に対する各種化学物質の増殖抑制効果**

第61回日本癌学会総会(2002.10)

瀧澤 保, 今井俊夫, 田村 啓, 上田 誠, 安原加壽雄, 三森国敏\*, 広瀬雅雄: **コウジ酸の p53 ノックアウトマウスおよびラットにおける肝発がん作用**

第19回日本毒性病理学会(2003.1)

\*東京農工大学

上田 誠, 今井俊夫, 小野瀬淳一, 蓮村麻衣, 瀧澤 保, 広瀬雅雄: **化学物質によるラット乳癌退縮時におけるアポトーシスの関与**

第19回日本毒性病理学会(2003.1)

小野瀬淳一, 今井俊夫, 蓮村麻衣, 上田 誠, 広瀬雅雄: **腫瘍性病変を指標としたラット中期大腸発がん試験法の開発**

第19回日本毒性病理学会(2003.1)

蓮村麻衣, 今井俊夫, 小野瀬淳一, 瀧澤 保, 広瀬雅雄: **パラアミノ安息香酸のラット甲状腺発がん促進作用**

第19回日本毒性病理学会(2003.1)

今井俊夫, 小野瀬淳一, 蓮村麻衣, 上田 誠, 瀧澤 保, 広瀬雅雄: **DHPN-Sulfadimethoxine 誘発ラット甲状腺癌**

**潤癌の発生過程**

第19回日本毒性病理学会 (2003. 1)

林 眞：日本環境変異原学会に何が求められているのか  
日本環境変異原学会第31回大会 (2002. 11)Hayashi, M. : Asian Environmental Mutagen Societies  
(AAEMS)-The Japanese Environmental Mutagen Society  
(JEMS)-

日本環境変異原学会第31回大会フォーラム (2002. 11)

浜田修一<sup>\*1</sup>, 芹川忠夫<sup>\*2</sup>, 林 眞：ラット小核試験結果  
に影響を及ぼす因子と造血機能との関係

日本環境変異原学会第31回大会 (2002. 11)

<sup>\*1</sup> エスエス製薬中央研究所<sup>\*2</sup> 京都大学医学部鈴木 洋, 鈴木孝昌, 白鳥 孝, 池田直弘, 小林一男,  
島田 康, 萩原利行, 長岡孝子, 畠山茂樹, 吉田純一,  
林 眞：幼若ラット肝細胞小核試験 - げっ歯類肝がん原  
物質等による検討 -

日本環境変異原学会第31回大会 (2002. 11)

JEMS・MMS研究会, 多臓器小核試験, 肝臓小核試験グ  
ループ浅野哲秀<sup>\*1</sup>, 西川貴史<sup>\*2</sup>, 晴佐久満<sup>\*2</sup>, 鈴木孝昌, 林  
眞：げっ歯類の皮膚組織を用いる小核試験法の開発と検  
証 第2報

日本環境変異原学会第31回大会 (2002. 11)

<sup>\*1</sup> 日東電工<sup>\*2</sup> ライオン(株)安全性評価研究所Hayashi, M. : The potential and limitation of the comet  
assay-an example of genotoxicity assessment of amaranth  
Workshop on comet assay: Application in toxicology and  
molecular epidemiology (2003. 2)Hayashi, M. : International current of the genotoxicity  
testingXXVIII Annual Conf. Environ. Mutagen. Soc. India &  
Symposium on Environ. Genomics & Helth Sci. (2003. 2)Honma, M., Hakura, A., Miura, K.F., Morita, T.,  
Nakayama, S., Oka, H., Sato, S., Sugiki, Y., Yamashita, Y.,  
Wakata, A., Wakuri, S., Hayashi, M. : Establishment of a  
multiple-endpoint genotoxicity test system based on  
human cells25<sup>th</sup> Anniversary Meeting of the United Kingdom  
Environmental Mutagen Society (2002. 6)本間正充, 王 文晟<sup>\*1</sup>, 桜庭真弓, 泉 雅子<sup>\*2</sup>, 谷田貝  
文夫<sup>\*2</sup>, 林 眞：ほ乳類細胞におけるDNA2本鎖切断の  
運命

日本放射線影響学会第45回大会 (2002. 9)

<sup>\*1</sup> ロチェスター大学<sup>\*2</sup> 理化学研究所 RI谷田貝文夫<sup>\*</sup>, 森本茂子<sup>\*</sup>, 加藤武司<sup>\*</sup>, 本間正充：p53  
欠損によるLOHパターンの変化からDNA2本鎖切断修  
復経路についての示唆が可能か?

日本環境変異原学会第31回大会 (2002. 11)

<sup>\*</sup>理化学研究所 RI本間正充：ヒト細胞を基礎とした新しい*in vitro* 遺伝毒  
性評価系の構築

日本環境変異原学会第31回大会 (2002. 11)

岡 宏昭<sup>\*</sup>, 吉村宏美<sup>\*</sup>, 大内田昭信<sup>\*</sup>, 本間正充：マウ  
スおよびヒト由来細胞種間における5-Fluorouracilの遺  
伝毒性に対する感受性の検討

日本環境変異原学会第31回大会 (2002. 11)

<sup>\*</sup>大鵬薬品工業Zhan, Li. <sup>\*</sup>, Suzuki, T., Sakamoto, H., Koizumi, T.,  
Sakuraba, M., Hayashi, M., Honma, M. : Genotoxicity of  
mrococystin-LR *in vitro* and *in vivo*

第31回日本環境変異原学会 (2002. 11)

<sup>\*</sup>四川大学公衆衛生学院小原有弘<sup>\*</sup>, 鈴木孝昌, 小泉朋子, 本間正充, 林 眞：  
アクリジンマスタードICR-170, ICR-190のトランスジ  
ェニックマウスにおける変異原性

日本環境変異原学会第31回大会 (2002. 11)

<sup>\*</sup>第一化学薬品坂本浩子, 桜庭真弓, 小原有弘<sup>\*</sup>, 鈴木孝昌, 林 眞,  
本間正充：ヒト肝由来培養細胞株を用いた小核試験と、  
遺伝子突然変異試験に有用なトランスジェニック細胞の  
作成

日本環境変異原学会第31回大会 (2002. 11)

<sup>\*</sup>第一化学薬品Honma, M., Kato, T. <sup>\*</sup>, Yatagai, F. <sup>\*</sup>, Hayashi, M. :  
Characterization of the genomic instability in mismatch  
repair deficient human lymphoblastoid cell lines34<sup>th</sup> Annual Meeting of Environmental Mutagen Society  
(2003. 5)<sup>\*</sup>理化学研究所 RI能美健彦：微生物のトランスリージョンDNAポリメ  
ラーゼ

日本環境変異原学会公開シンポジウム (2002. 5)

Nohmi, T. : Y-family DNA polymerases as the dynamics  
of evolution

日本進化学会東京大会 (2002. 8)

グルーズ・ピーター, 清水雅富<sup>\*1</sup>, ピサーニ フラン  
ェスカ<sup>\*2</sup>, デフェリス マリアリタ<sup>\*2</sup>, 菅家祐輔<sup>\*1</sup>, 能  
美健彦：YファミリーDNAポリメラーゼによるDNA損

**傷部位の複製と突然変異**

日本放射線影響学会第45回大会(2002.9)

\*<sup>1</sup> 大妻女子大院家政学研究所\*<sup>2</sup> イタリア国立中央研究機構蛋白質酵素生化学研究所

増村健一, 星野真紀子\*<sup>1</sup>, 谷田貝文夫\*<sup>2</sup>, 落合雅子\*<sup>3</sup>,  
上田乙也\*<sup>4</sup>, 鈴木宏志\*<sup>4,5</sup>, 中釜 斉\*<sup>3</sup>, 福岡正道\*<sup>1</sup>,  
能美健彦: DNA PKcs に依存しない誤りがち非相同的組  
換え経路と放射線誘発突然変異

日本放射線影響学会第45回大会(2002.9)

\*<sup>1</sup> 昭和薬科大学\*<sup>2</sup> 理化学研究所RI\*<sup>3</sup> 国立がんセンター研究所\*<sup>4</sup> 中外製薬(株)探索研究所\*<sup>5</sup> 帯広畜産大学原虫病センター

齋藤祐介\*<sup>1</sup>, 上原芳彦\*<sup>1</sup>, 竹田直樹\*<sup>1</sup>, 鈴木 操\*<sup>1</sup>, 能  
美健彦, 関 政幸\*<sup>3</sup>, 榎本武美\*<sup>3</sup>, 野田哲生\*<sup>1</sup>, 小野哲  
也\*<sup>1</sup>: ミスマッチ修復酵素チミンDNA グリコシラーゼ  
のマウス発生過程における機能

日本放射線影響学会第45回大会(2002.9)

\*<sup>1</sup> 東北大学医学部\*<sup>2</sup> 熊本大学\*<sup>3</sup> 東北大学薬学部

堀 昌樹\*<sup>1</sup>, 張秋梅\*<sup>1</sup>, 能美健彦, グルーズ・ピーター,  
杉山 弘\*<sup>2</sup>, 米井脩治\*<sup>1</sup>: 大腸菌DNAポリメラーゼ  
(DinB)の酸化損傷塩基を含むDNAに対する合成能の  
解析

日本放射線影響学会第45回大会(2002.9)

\*<sup>1</sup> 京都大学理学部\*<sup>2</sup> 東京医歯大生体材料工学研究所

増村健一, 西川秋佳\*, 岡崎和志\*, 梅村隆志\*, 広瀬雅  
雄\*, 能美健彦: 臭素酸カリウム(KBrO<sub>3</sub>)による種特  
異的腎臓がん突然変異誘発の解析

日本癌学会61回総会(2002.10)

\* 病理部

柴田淳史\*<sup>1,2</sup>, 鎌田宣夫\*<sup>3</sup>, 野崎中成\*<sup>1</sup>, 藤原久子\*<sup>1</sup>,  
増村健一, 能美健彦, 小林静子\*<sup>2</sup>, 中釜 斉\*<sup>1</sup>, 杉村  
隆\*<sup>1</sup>, 鈴木宏志\*<sup>3,4</sup>, 益谷美都子\*<sup>1</sup>: *gpt delta/Parp-1* 欠  
損マウスにおける*N*-nitrosobis(hydroxypropyl)amine 投  
与後の突然変異

日本癌学会第61回総会(2002.10)

\*<sup>1</sup> 国立がんセンター研究所\*<sup>2</sup> 共立薬科大学\*<sup>3</sup> 中外製薬(株)探索研究所\*<sup>4</sup> 帯広畜産大学原虫病センター

能美健彦: トランスジェニック動物を用いる遺伝毒性試  
験

信州実験動物研究会(2002.10)

能美健彦: 古細菌のYファミリーDNAポリメラーゼ

第75回日本生化学会大会(2002.10)

Nohmi, T.: Misincorporation of oxidized dNTPs by Y-  
family DNA polymerases

第1回日米DNA修復会議(2002.10)

能美健彦: 突然変異の誘発に關与するYファミリー  
DNAポリメラーゼ

埼玉大学生命科学講演会(2002.11)

小久保清子, 山田雅巳, 松井恵子, 菅家祐輔\*<sup>1</sup>, 能美健  
彦: Ames 試験菌株におけるY-ファミリーDNAポリメ  
ラーゼ欠損株の作製と性状解析

日本環境変異原学会第31回大会(2002.11)

\*<sup>1</sup> 大妻女子大院家政学研究所

落合雅子\*<sup>1</sup>, 小林悠子\*<sup>1</sup>, 瀬尾友子\*<sup>1</sup>, 飯塚祐子\*<sup>1</sup>, 上  
田乙也\*<sup>2</sup>, 鈴木宏志\*<sup>2</sup>, 増村健一, 能美健彦, 杉村  
隆\*<sup>1</sup>, 中釜 斉\*<sup>1</sup>: SCID マウスにおける自然発生及び  
azoxymethane 誘発の欠失型突然変異の解析

日本環境変異原学会第31回大会(2002.11)

\*<sup>1</sup> 国立がんセンター研究所\*<sup>2</sup> 中外製薬(株)探索研究所

宇多洋美\*<sup>1</sup>, 増村健一, 岡崎和志\*<sup>2</sup>, 梅村隆志\*<sup>2</sup>, 林  
宏行\*<sup>3</sup>, 近藤 宏\*<sup>3</sup>, 神藤康弘\*<sup>3</sup>, 福岡正道\*<sup>1</sup>, 広瀬雅  
雄\*<sup>2</sup>, 西川秋佳\*<sup>2</sup>, 能美健彦: 臭素酸カリウム誘発突然  
変異の*gpt delta* トランスジェニックラット, マウスを用  
いた解析

日本環境変異原学会第31回大会(2002.11)

\*<sup>1</sup> 昭和薬科大学\*<sup>2</sup> 病理部\*<sup>3</sup> 明治製薬(株)薬理安全性研究所

増村健一, 松井恵子, 山田雅巳, 高村岳樹\*, 若林敬二\*,  
能美健彦: アルキル化剤高感受性サルモネラ株を用いた  
膀胱がん物質検索系の開発

日本環境変異原学会第31回大会(2002.11)

\* 国立がんセンター研究所

竹入 章\*, 三島雅之\*, 田中健司\*, 塩田明文\*, 原田  
麻子\*, 井上 誠\*, 増村健一, 能美健彦: *gpt delta* マウ  
ス由来の不死化細胞株の樹立と, *in vivo* 遺伝子突然変異  
検出系への応用

日本環境変異原学会第31回大会(2002.11)

\* 中外製薬(株)富士御殿場研究所

林 宏行\*, 千手奈美\*, 小川真由美\*, 江刺家恵子\*,  
長沢美恵子\*, 神藤康弘\*, 能美健彦: 新規変異原性試験  
用*gpt delta* トランスジェニックラットを用いた*N*-ethyl-  
*N*-nitrosourea による突然変異誘発の経時的変化及び変  
異スペクトラム解析

日本環境変異原学会第31回大会(2002.11)

\* 明治製薬(株)薬理安全性研究所

柴田淳史<sup>\*1,2</sup>, 益谷美都子<sup>\*1</sup>, 野崎中成<sup>\*1</sup>, 鎌田宣夫<sup>\*3</sup>, 藤原久子<sup>\*1</sup>, 増村健一, 中釜 斉<sup>\*1</sup>, 杉村 隆<sup>\*1</sup>, 小林 静子<sup>\*2</sup>, 鈴木宏志<sup>\*3,4</sup>, 能美健彦: *gpt delta* マウスにおける変異検出系としてのSpi-assayの改良 プラーク形成時のマグネシウムイオン添加の影響  
日本環境変異原学会第31回大会(2002.11)

<sup>\*1</sup> 国立がんセンター研究所

<sup>\*2</sup> 共立薬科大学

<sup>\*3</sup> 中外製薬(株)探索研究所

<sup>\*4</sup> 帯広畜産大学原虫病センター

松井恵子, 金秀良, 山田雅巳, 能美健彦: 多環芳香族炭化水素に対して交換受精を示すAmes試験菌株の開発  
日本環境変異原学会第31回大会(2002.11)

増村健一, 星野真紀子<sup>\*1</sup>, 谷田貝文夫<sup>\*2</sup>, 落合雅子<sup>\*3</sup>, 上田乙也<sup>\*4</sup>, 鈴木宏志<sup>\*4,5</sup>, 中釜 斉<sup>\*3</sup>, 福岡正道<sup>\*1</sup>, 能美健彦: SCID マウスにおける放射線誘発突然変異と誤りがち非相同的組換え  
第25回日本分子生物学会年会(2002.12)

<sup>\*1</sup> 昭和薬科大学

<sup>\*2</sup> 理化学研究所RI

<sup>\*3</sup> 国立がんセンター研究所

<sup>\*4</sup> 中外製薬(株)探索研究所

<sup>\*5</sup> 帯広畜産大学原虫病センター

堀 昌樹<sup>\*1</sup>, 張秋梅<sup>\*1</sup>, 能美健彦, グルーズ・ピーター, 杉山 弘<sup>\*2</sup>, 米井脩治<sup>\*1</sup>: 大腸菌DNAポリメラーゼVI (DinB) の酸化損傷塩基の複製機構  
第25回日本分子生物学会年会(2002.12)

<sup>\*1</sup> 京都大学理学部

<sup>\*2</sup> 東京医歯大生体材料工学研究所

清水雅富, Petr Gruz, 紙谷浩之<sup>\*1</sup>, Francesca M. Pisani<sup>\*2</sup>, 金秀良, 菅家祐輔<sup>\*3</sup>, 原島秀吉<sup>\*1</sup>, 能美健彦: YファミリーDNAポリメラーゼによる酸化損傷塩基の複製機構  
第25回日本分子生物学会年会(2002.12)

<sup>\*1</sup> 北海道大院 薬学研究科

<sup>\*2</sup> イタリア国立中央研究機構蛋白質酵素生化学研究所

<sup>\*3</sup> 大妻女子大院家政学研究科

Petr Gruz, Masatomi Shimizu, Francesca M Pisani<sup>\*</sup>, Mariarita De Felice<sup>\*</sup>, Takehiko Nohmi: Processing of heat-induced DNA modifications by the Y and B family DNA polymerases from archaeon *Sulfolobus solfataricus*  
第25回日本分子生物学会年会(2002.12)

<sup>\*</sup> イタリア国立中央研究機構蛋白質酵素生化学研究所

能美健彦: 個体レベルで見るゲノムの安定性と不安定性: トランスジェニックマウス動物を用いた突然変異の解析  
日本学術会議トキシコロジー研連シンポジウム(2002.12)

Nohmi, T.: Novel Y-family DNA polymerases and their

roles in mutagenesis

国立遺伝学研究所 Biological Symposia (2003.2)

Masumura, K., Nishikawa, A.<sup>\*</sup>, Okazaki, K.<sup>\*</sup>, Umemura, T.<sup>\*</sup>, Hirose, M.<sup>\*</sup>, Nohmi, T.: Analysis of different susceptibility of rat and mouse in mutagenesis induced by potassium bromate  
Keystone Symposium: Functional Genomics: Global Analysis of Complex Biological Systems (2003.2)

<sup>\*</sup> 病理部

Shimizu, M., Gruz, P., Kamiya, H.<sup>\*1</sup>, Kim, S.-R., Pisani, F.M.<sup>\*2</sup>, Kanke, Y.<sup>\*3</sup>, Harashima, H.<sup>\*1</sup>, Nohmi, T.: Misincorporation of oxidized dNTPs by archaeal Y-family DNA polymerases

International Workshop on Modeling of Radiation Effects at Molecular and Cellular level (2003.2)

<sup>\*1</sup> 北海道大院薬学研究科

<sup>\*2</sup> イタリア国立中央研究機構蛋白質酵素生化学研究所

<sup>\*3</sup> 大妻女子大院家政学研究科

Shimizu, M., Gruz, P., Kamiya, H.<sup>\*1</sup>, Kim, S.-R., Pisani, F.M.<sup>\*2</sup>, Kanke, Y.<sup>\*3</sup>, Harashima, H.<sup>\*1</sup>, Nohmi, T.: Misincorporation of oxidized dNTPs by archaeal Y-family DNA polymerases

International Workshop on Modeling of Radiation Effects at Molecular and Cellular level (2003.2)

<sup>\*1</sup> 北海道大院薬学研究科

<sup>\*2</sup> イタリア国立中央研究機構蛋白質酵素生化学研究所

<sup>\*3</sup> 大妻女子大院家政学研究科

清水雅富, Petr Gruz, 紙谷浩之<sup>\*1</sup>, Francesca M. Pisani<sup>\*2</sup>, 金秀良, 益谷央豪<sup>\*3</sup>, 菅家祐輔<sup>\*4</sup>, 原島秀吉<sup>\*1</sup>, 花岡文雄<sup>\*3</sup>, 能美健彦: YファミリーDNAポリメラーゼによる酸化的損傷ヌクレオチド(8-OH-dGTPと2-OH-dATP)の誤りがちな取り込み

ワークショップ「DNA Repair, Recombination and Mutagenesis 2003」(2003.2)

<sup>\*1</sup> 北海道大学院薬学研究科

<sup>\*2</sup> イタリア国立中央研究機構蛋白質酵素生化学研究所

<sup>\*3</sup> 大阪大学院生命機能研究科

<sup>\*4</sup> 大妻女子大院家政学研究科

能美健彦: 突然変異の誘発とDNAポリメラーゼ

ワークショップ「ゲノム維持におけるDNAポリメラーゼの役割」(2003.2)

清水雅富, Petr Gruz, 紙谷浩之<sup>\*1</sup>, 金秀良, Francesca M. Pisani<sup>\*2</sup>, 菅家祐輔<sup>\*3</sup>, 原島秀吉<sup>\*1</sup>, 能美健彦: 放射線などによる酸化損傷ヌクレオチドに対する古細菌YファミリーDNAポリメラーゼの取り込み

放射線リスク研究の革新的技術に関する国際シンポジウム - 量子生命科学時代の技術 - (2003.3)

<sup>\*1</sup> 北海道大学院薬学研究科

<sup>\*2</sup> イタリア国立中央研究機構蛋白質酵素生化学研究所

\*<sup>3</sup> 大妻女子大院家政学研究科

小久保清子\*, 山田雅巳, 松井恵子, 菅家祐輔\*, 能美健彦: **ネズミチフス菌 DNA ポリメラーゼ遺伝子破壊株の各種変異原に対する感受性**

ワークショップ「大腸菌ゲノミクスのさらなる発展に向けて: リソースの開発と今後」(2003. 3)

\*大妻女子大院家政学研究科

橋本顯子\*<sup>1</sup>, 天沼喜美子\*<sup>1</sup>, 日吉孝子\*<sup>1, 2</sup>, 高野裕久\*<sup>1</sup>, 増村健一, 能美健彦, 青木康展\*<sup>1</sup>: ***gpt delta* トランスジェニックマウスを用いた Benzo(a)pyrene の気管内投与による突然変異の解析**

日本薬学会第123年会(2003. 3)

\*<sup>1</sup> 国立環境研究所

\*<sup>2</sup> 筑波大学人間総合科学部

Shimizu, M.\*<sup>1</sup>, Gruz, P., Kamiya, H.\*<sup>2</sup>, Kim, S.-R., Pisani, F.M.\*<sup>3</sup>, Masutani, C.\*<sup>4</sup>, Kanke, Y.\*<sup>1</sup>, Harashima, H.\*<sup>2</sup>, Hanaoka, F.\*<sup>4</sup>, Nohmi, T.: **Incorrect incorporation of oxidized dNTPs by Y-family DNA polymerases**

34th Annual Meeting of Environmental Mutagen Society (2003. 5)

\*<sup>1</sup> 大妻女子大院家政学研究科

\*<sup>2</sup> 北海道大学院薬学研究科

\*<sup>3</sup> イタリア国立中央研究機構蛋白質酵素生化学研究所

\*<sup>4</sup> 大阪大学院生命機能研究科

Nohmi, T.: **Molecular nature of genome rearrangements induced by crosslinker mitomycin C in vivo**

Columbia University, Center for Radiological Research, Seminar (2003. 5)

能美健彦: **遺伝子導入動物を用いた遺伝毒性試験の開発**  
第50回日本実験動物学会総会(2003. 5)

Tanabe, H., Iizuka, R., Hojo, M., Kurematsu, M.\*<sup>1</sup>, Takada, Y., Masui, T. and Mizusawa, H.: **Identification system for cross-contamination in cultured cell lines by combined methods with STR-PCR and molecular cytogenetics in JCRB**

World Congress on In Vitro Biology 2002 (2002. 6)

\* Japan Health Sciences Foundation

増井 徹: **人体由来の「もの」と「情報」の研究利用を支える枠組み 科学的, 倫理的, 社会的問題について**

日本環境変異原学会 MMS 研究会第41回定例会(2002. 7)

田辺秀之, Felix A. Habermann\*<sup>1</sup>, Stefan Muller\*<sup>2</sup>, Marion Cremer\*<sup>2</sup>, Johann von Hase\*<sup>3</sup>, Christoph Cremer\*<sup>3</sup>, Thomas Cremer\*<sup>2</sup>, 北條麻紀, 林 真, 水沢 博: **染色体テリトリーの核内配置: ヒト18番および19番染色体ホモログの核内配置は二ワトリ, 霊長類細胞において進化的に保存されている**

第4回日本進化学会東京大会(2002. 8)

\*<sup>1</sup> ミュンヘン工科大学 動物育種学

\*<sup>2</sup> ミュンヘン大学 生物学科 - 人類学/人類遺伝学

\*<sup>3</sup> ハイデルベルグ大学 キルヒホフ物理学研究所

増井 徹, 高田容子, 林 真, 田辺秀之, 水澤 博: **ヒト組織・細胞の公共性のある研究用バンク提供における拒諾意思決定を支えるプロセスの設計**

第61回日本癌学会総会(2002. 10)

増井 徹: **次世代医療を支えるヒト組織・病歴等のバンク構築**

第64回臨床外科学会(2002. 11)

増井 徹, 高田容子, 田辺秀之, 水沢 博: **科学の性質に注目した人体由来資料の研究利用**

第14回日本生命倫理学会年次大会(2002. 11)

田辺秀之, 石田誠一, 篠崎陽一, 北條麻紀, 首藤紘一\*, 井上和秀, 林 真, 水沢 博: **HL60 関連3細胞株の核型分析とレチノイン酸による分化誘導**

日本人類遺伝学会第47回大会(2002. 11)

\* 日本医薬情報センター

田辺秀之: **3D-FISH 法による染色体のトポロジー解析: interphase cytogenetics について**

日本環境変異原学会第31回大会 FISH 懇談会(2002. 11)

Tanabe, H., Hojo, M., Hayashi, M. and Mizusawa, H.: **Chromosome territory arrangement in interphase cell nuclei by 3D-FISH technique**

International Workshop on Nuclear Dynamics (2002. 12)

増井 徹: **臓器移植法の改定とヒト組織の研究利用: ヒト組織の分類**

日本実験動物代替法学会(2002. 12)

田辺秀之, Marion Cremer\*<sup>1</sup>, Stefan Muller\*<sup>1</sup>, Felix A. Habermann\*<sup>2</sup>, Johann von Hase\*<sup>3</sup>, Christoph Cremer\*<sup>3</sup>, Thomas Cremer\*<sup>1</sup>, 北條麻紀, 林 真, 水沢 博: **染色体テリトリー: 3D-FISH 法による核内配置の解析**

第20回染色体ワークショップ(2003. 1)

\*<sup>1</sup> ミュンヘン大学 生物学科 - 人類学/人類遺伝学

\*<sup>2</sup> ミュンヘン工科大学 動物育種学

\*<sup>3</sup> ハイデルベルグ大学 キルヒホフ物理学研究所

Masui, T.: **On the characterization of consent required by medical research**

International symposium on "patients" right to self-determination and informed consent (2003. 2)

増井 徹: **ゲノム研究と薬学の倫理**

日本薬学会第123年会(2003. 3)

Masui, T.: **Taming genome information**

A Japanese and American dialogue on the ethical and social issues facing researchers, community groups, and ethics committees (2003. 5)

増井 徹: **病歴の二次利用を支えるシステム**  
第4回日本がん分子疫学研究会(2003. 5)

大野泰雄, 増井 徹(オーガナイザー): **移植不適合臓器の研究利用環境を作るために何をすべきか**  
HAB 学術機構年会(2003. 5)

田辺秀之, Johann von Hase\*, Christoph Cremer\*, 北條麻紀, 林 真, 水沢 博: **染色体再編成を伴うヒト培養細胞株 T98G における染色体テリトリーの核内配置**  
日本細胞生物学会第56回大会(2003. 5)  
\*ハイデルベルグ大学 キルヒホフ物理学研究所

田辺秀之, 北條麻紀, 樽松美治\*, 安田留菜, 水沢博: **培養細胞株ムービーファクトリー作成の試み: 生きている細胞の姿をみる**  
日本組織培養学会第76回大会(2003. 5)  
\*ヒューマンサイエンス振興財団

北條麻紀, 安田留菜, 田辺秀之, 高田容子, 樽松美治\*, 増井 徹, 水沢 博: **長期継代培養で観察された STR ピークの変化と染色体構成の変化との関連性: HeLa AG クローン株を用いた FISH 法による解析**  
日本組織培養学会第76回大会(2003. 5)  
\*ヒューマンサイエンス振興財団

増井 徹, 高田容子, 水沢 博, 田辺秀之, 樽松美治\*, 北條麻紀, 安田留菜, 林 真: **公的細胞バンク(JCRB)への組織提供に関する意思決定を支援するビデオ及び文書の作成**  
日本組織培養学会第76回大会(2003. 5)  
\*ヒューマンサイエンス振興財団

西 義介\*, 増井 徹(オーガナイザー): **生命科学ビジネスの将来と企業化のための特許戦略: 特にヒト細胞におけるビジネスの展望と知的所有権の問題について**  
日本組織培養学会第76回大会(2003. 5)  
\*日本たばこ産業株

江馬 眞, 宮脇英美子, 原園 景: **可塑剤 butyl benzyl phthalate のラット雄胎児における生殖器系発生に及ぼす影響**  
第29回日本トキシコロジー学会学術年会(2002. 6)

江馬 眞: **ジブチルフタレート及び代謝物モノブチルフタレートの抗アンドロゲン作用**  
第42回日本先天異常学会学術集会シンポジウム(2002. 7)

江馬 眞, 宮脇英美子: **偽妊娠ラットの子宮脱落膜反応に及ぼすジフェニルスズの影響**

第42回日本先天異常学会学術集会(2002. 7)

江馬 眞: **内分泌かく乱化学物質問題の現状と将来**  
第23回 in vitro 発生毒性研究会(2002. 8)

Emma, M. and Miyawaki, E.: **Decreased anogenital distance (AGD) and undescended testes in fetuses of rats given monobutyl phthalate (MBEP) during pregnancy**  
Society of Toxicology, 42th Annual Meeting (2003)

江馬 眞: **可塑剤フタル酸エステルのラット次世代の発生に及ぼす影響**  
第5回生殖発生毒性東京セミナー(2003. 3)

和泉宏幸\*<sup>1</sup>, 和田 肇\*<sup>1</sup>, 小泉睦子, 鎌田栄一, 長谷川隆一: **2,4,6-トリニトロフェノールの新生児反復投与毒性および若齢動物毒性試験結果との比較**  
第29回日本トキシコロジー学会学術年会(2002. 6)  
\*<sup>1</sup> パナファーム・ラボラトリーズ

西村信雄\*<sup>1</sup>, 須永昌男\*<sup>2</sup>, 小泉睦子, 鎌田栄一, 長谷川隆一: **3-アミノフェノールの新生児反復投与毒性および若齢動物毒性試験結果との比較**  
第29回日本トキシコロジー学会学術年会(2002. 6)  
\*<sup>1</sup> ボゾリサーチセンター  
\*<sup>2</sup> 化合物安全性研究所

野田 篤\*<sup>1</sup>, 山口真樹子\*<sup>1</sup>, 山本 謙\*<sup>1</sup>, 伊藤義彦\*<sup>1</sup>, 小泉睦子, 鎌田栄一, 長谷川隆一: **3種アルキルフェノールの新生児ラットにおける発現毒性および若齢ラットとの比較検討**  
第29回日本トキシコロジー学会学術年会(2002. 6)  
畜産生物科学安全研究所

栗屋智一, 花岡英樹, 藤原康弘\*, 平山佳伸: **最近の糖尿病治療薬を中心とした医薬品の承認申請について**  
第40回日本糖尿病学会中国・四国地方会(2002. 11)  
\*国立がんセンター中央病院

宇山佳明: **遺伝子治療用医薬品**  
第7回 ICH 即時報告会(2002. 10)

宇山佳明: **最近の新薬承認審査における論点と今後の課題 (1) 新医薬品等の承認申請資料に関する留意事項について(臨床分野), (2) 第三分野医薬品の事例について**  
第14回新薬審査部門定期説明会(2002. 10)

宇山佳明: **新医薬品承認審査の現状と課題**  
星薬科大学公開セミナー(2002. 11)

花岡英樹, 宇山佳明, 柴田大朗, 永井尚美, 今川正紀 & 森 和彦: **関節リウマチ治療薬の承認申請における最近の問題点, 海外臨床試験成績の利用を巡って**  
第47回日本リウマチ学会総会(2003. 4)

日高慎二<sup>\*1</sup>, 永井尚美, 小林史明<sup>\*1</sup>, 荒戸照世, 榎本博雄<sup>\*1</sup>, 柴田大朗, 奥田晴宏: **新医薬品承認審査資料における薬物相互作用情報**

第17回日本薬物動態学会年会(2002.11)

<sup>\*1</sup> 医薬品機構

小林史明<sup>\*1</sup>, 榎本博雄<sup>\*1</sup>, 永井尚美, 日高慎二<sup>\*1</sup>, 荒戸照世, 柴田大朗, 奥田晴宏: **新医薬品承認審査資料における臨床薬物相互作用情報**

第23回日本臨床薬理学会年会(2002.12)

<sup>\*1</sup> 医薬品機構

Kihira, T.: **Electronic Common Technical Document MHLW's Current Status**

DIA 3rd Annual Workshop in Japan for Medicinal Information Processing (2002.4)

Kihira, T.: **Implementation of eCTD in MHLW**

DIA 38th Annual Meeting (2002.6)

紀平哲也: **CTD 申請と薬物動態の審査について**

第18回Population PK研究会(2002.11)

Kihira, T.: **Japanese Module 1**

DIA 4th Annual Workshop in Japan for Medicinal Information Processing (2003.2)

Kihira, T.: **Reviewer's Experience and Prospect of CTD/eCTD Review**

DIA 4th Annual Workshop in Japan for Medical Writing (2003.5)

紀平哲也: **Life Cycle Management と審査プロセスについて**

eCTDシンポジウム(2002.5)

紀平哲也: **今後の本邦における eCTD の導入に向けて**

医薬電子標準研究会シンポジウム(2002.11)

戸高浩司: **新薬の承認審査 - 医師の役割**

第65回日本循環器学会総会・学術集会(2003.3)

戸高浩司: **新薬の承認審査 - 医師の役割**

第26回日本医学会総会(2003.4)

荒戸照世, 永田龍二, 小笠原弘道, 奥田晴宏, 鹿野真弓, 嶋澤るみ子, 豊島聡, 永井尚美, 長岡寛明, 中村高敏, 星隆弘, 本田二葉, 前田大輔, 山田博章: **生物薬品承認審査上の規格・安定性分野について - 審査報告書の事例を踏まえ -**

日本薬学会第123年会(2003.3)

児玉庸夫: **医薬品の承認審査における臨床薬理試験**

第23回日本臨床薬理学会シンポジウム(臨床薬理試験

における非侵襲的生体機能評価法の位置づけ)(2002.12)

細木るみこ, 大室弘美, 児玉庸夫: **日本におけるブリッジング試験の現状**

日本薬学会第123年会(2003.3)

鹿野真弓: **CTD モックアップ(バイオ医薬品)について**

日本薬学会第123年会(2003.3)

鹿野真弓: **バイオ医薬品のウイルス安全性確保と薬事法改正の動向**

ウイルス安全性シンポジウム(2003.5)

Ando Yuki, Taro Shibata, Takashi Omori: **The CPMP Points to Consider on Statistical Topics, Part 2: Meta-Analyses, and One Pivotal Study**

Drug Information Association(DIA) 38th annual meeting, Chicago (2002.6)

大森崇: **規制当局で働くある担当者が思う医薬品開発における外国臨床データの使用の現状と課題**

大分統計談話会 第26回大会(2002.10)

柴田大朗: **規制側から見た医薬品開発における母集団薬物動態解析の意義**

第16回日本計算機統計学会シンポジウム(2002.11)

豊島 聡, 大森 崇: **医薬品等有効性評価法の生物統計学的検討**

国際動向を踏まえた医薬品等の新たな有効性及び安全性の評価に関する研究 平成13年度班会議(2002.1)

森 和彦: **世界中のデータを活用した審査に向けて**

第5回治験の国際化シンポジウム(2002.9)

森 和彦: **新薬開発における Global Study の課題とその克服: 抗がん剤開発における国際共同治験に対する期待と課題**

第40回日本癌治療学会総会(2002.10)

森 和彦: **医師・患者・モニターがCRCに希望すること: 規制側がCRC期待すること**

第2回CRCと臨床試験のあり方を考える会議(2002.10)

森 和彦: **感染症治療のための抗菌薬療法のサイエンス: 新薬承認の最近の動向**

第51回日本化学療法学会総会(2003.5)

豊島 聡, 大森 崇: **医薬品等有効性評価法の生物統計学的検討**

国際動向を踏まえた医薬品等の新たな有効性及び安全性の評価に関する研究 平成14年度班会議(2002.12)

西條 薫<sup>\*1</sup>, 加藤麻矢子<sup>\*1</sup>, 大森 崇, 吉村 功<sup>\*2</sup>: 担

**当者を泣かせるバリデーション研究：守ってほしいポイント**

第16回日本動物実験代替法学会（2002.12）

\*<sup>1</sup> 理化学研究所細胞開発銀行\*<sup>2</sup> 東京理科大学経営工学部**佐藤真理<sup>\*1</sup>、大森 崇、吉村 功<sup>\*1</sup>：光毒性試験代替法におけるカットオフ値決定のための一検討**

第16回日本動物実験代替法学会（2002.12）

\*<sup>1</sup> 東京理科大学経営工学部**中川雅生：研究者（医師）主導の臨床研究に向けて  
滋賀医科大学治験推進説明会（2003.2）****上田達也<sup>\*1</sup>、井上久子<sup>\*1</sup>、渡邊格子<sup>\*2</sup>、神谷 博<sup>\*2</sup>、藤野英俊<sup>\*2</sup>、中川雅生、宇野正章<sup>\*3</sup>：川崎病発症より1か月後に再発した1女児例**

第27回近畿川崎病研究会（2003.3）

\*<sup>1</sup> 野洲病院小児科\*<sup>2</sup> 滋賀医科大学小児科\*<sup>2</sup> 湖南メディカルセンター三愛小児科**中川雅生：最近の治験の動向**

第3回神戸市医師会共同治験セミナー（2003.5）

**長岡寛明、豊島 聡、武田 健<sup>\*</sup>：1,2-Diphenylethylenediamineを用いた尿中遊離カテキン類の蛍光分析法の開発**

日本薬学会第123年会（2003.3）

\* 東京理科大学

**嶋澤るみ子、荒戸照世、小笠原弘道、奥田晴宏、鹿野真弓、豊島聡、永井尚美、長岡寛明、永田龍二、中村高敏、星 隆弘、本田二葉、前田大輔、山田博章：医薬品承認審査上の規格・安定性分野について - 審査報告書の事例を踏まえ -**

日本薬学会第123年会（2003.3）

**楠 博文、高鳥浩介、植村 興<sup>\*</sup>：イヌにおける腸管出血性大腸菌O157感染疾患モデル作成の検討**

第19回日本疾患モデル学会総会（2002.11）

\* 大阪府立大

**Sato, J. : Updated Regulatory Environment in Japan.  
DIA Workshop（2003.2）****Chung, S. M. <sup>\*1</sup>, Sato, J., Venitz, J. <sup>\*2</sup>, Wei, X. <sup>\*1</sup>, Malinowski, H. <sup>\*1</sup>, and Ahn, H. <sup>\*1</sup> : Effects of Drug Treatment on Osteoporosis Using a Disease Progress Model.**

American Society of Clinical Pharmacology and Therapeutics（2003.4）

\*<sup>1</sup> Food and Drug Administration, USA\*<sup>2</sup> Virginia Commonwealth University**佐藤淳子：FDAの医薬品審査について**

第77回日本感染症学会総会（2003.4）

**佐藤淳子：市販抗菌薬その後の操業**

第51回日本化学療法学会総会（2003.5）

**村上美保、谷本 剛、斎藤博幸、小出達夫：カリジノゲナーゼ製剤の新しい品質評価法**

第39回全国衛生化学技術協議会年会（2002.10）

**斎藤博幸、Sissel Lund-Katz <sup>\*1</sup>, Karl H. Weisgraber <sup>\*2</sup>, Michael C. Phillips <sup>\*1</sup> : 脂質膜結合によって誘起されるアポEの構造変化**

第34回日本動脈硬化学会総会（2002.7）

\*<sup>1</sup> The Children's Hospital of Philadelphia\*<sup>2</sup> Gladstone Institute of Cardiovascular Disease**斎藤博幸、谷本 剛、Sissel Lund-Katz <sup>\*1</sup>, Karl H. Weisgraber <sup>\*2</sup> and Michael C. Phillips <sup>\*1</sup> : Isothermal Titration Calorimetryによる脂質-アポリポタンパク質相互作用の解析**

第75回日本生化学会大会（2002.10）

\*<sup>1</sup> The Children's Hospital of Philadelphia\*<sup>2</sup> Gladstone Institute of Cardiovascular Disease**田中将史<sup>\*1</sup>、小森 洋<sup>\*1</sup>、中野 実<sup>\*1</sup>、Sissel Lund-Katz <sup>\*2</sup>, Michael C. Phillips <sup>\*2</sup>, 半田哲郎<sup>\*1</sup>、斎藤博幸：アポリポ蛋白質A-Iと脂質エマルションとの結合性に対するC-末端ドメインの影響**

第24回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム（2002.11）

\*<sup>1</sup> 京都大学大学院薬学研究科\*<sup>2</sup> The Children's Hospital of Philadelphia**斎藤博幸、谷本 剛、Sissel Lund-Katz <sup>\*1</sup>, Michael C. Phillips <sup>\*1</sup> : アポリポタンパク質A-Iの水溶液構造**

日本薬学会第123年会（2003.3）

\*<sup>1</sup> The Children's Hospital of Philadelphia**田中将史<sup>\*1</sup>、斎藤博幸、中野 実<sup>\*1</sup>、半田哲郎<sup>\*1</sup>：蛍光プローブ標識によるアポEの脂質結合構造の評価**

日本薬学会第123年会（2003.3）

\*<sup>1</sup> 京都大学大学院薬学研究科**外海泰秀、堀伸二郎<sup>\*1</sup>、田中敏嗣<sup>\*2</sup>、岡 尚男<sup>\*3</sup>、中村好志<sup>\*4</sup>、永山敏廣<sup>\*5</sup>、佐々木久美子、前川吉明<sup>\*6</sup>、村上りつ子<sup>\*7</sup>、松木宏晃<sup>\*8</sup>：ガスクロマトグラフィー/質量分析法による食品中の残留農薬多成分一斉分析法**

日本薬学会第123回年会（2003.3）

\*<sup>1</sup> 大阪府公衛研\*<sup>2</sup> 神戸市環境研\*<sup>3</sup> 愛知県衛研\*<sup>4</sup> 静岡県大\*<sup>5</sup> 東京都衛研\*<sup>6</sup> 日本食品分析センター\*<sup>7</sup> 茨城県水戸保健所\*<sup>8</sup> サントリー

堀 伸二郎<sup>\*1</sup>, 田中敏嗣<sup>\*2</sup>, 外海泰秀, 岡 尚男<sup>\*3</sup>, 中村好志<sup>\*4</sup>, 永山敏廣<sup>\*5</sup>, 佐々木久美子, 前川吉明<sup>\*6</sup>, 村上りつ子<sup>\*7</sup>, 松木宏晃<sup>\*8</sup>: **食品中のアフラトキシン分析法**

日本薬学会第 123 回年会 ( 2003. 3 )

<sup>\*1</sup> 大阪府公衛研

<sup>\*2</sup> 神戸市環保研

<sup>\*3</sup> 愛知県衛研

<sup>\*4</sup> 静岡県大

<sup>\*5</sup> 東京都衛研

<sup>\*6</sup> 日本食品分析センター

<sup>\*7</sup> 茨城県水戸保健所

<sup>\*8</sup> サントリー

石光 進, 吉井公彦, 津村ゆかり, 外海泰秀: **HPLC による農産物中フェノキシプロブエチルの分析法の開発**

日本薬学会第 123 回年会 ( 2003. 3 )

Y. Tonogai, Y. Tsumura, K. Yoshii and S. Ishimitsu : **Simultaneous determination of N-methylcarbamates in citrus fruits by HPLC(FL) and LC/MS(SIM)**

10th IUPAC International Congress on the Chemistry of Crop Protection ( 2002. 8 )

中野 真希, 辻 澄子, 中村優美子, 外海泰秀: **食用タール色素アルミニウムレーキ中の水溶性塩化物及び水溶性硫酸塩について**

第 39 回全国衛生化学技術協議会年会 ( 2001. 10 )

辻 澄子, 中野真希, 中村優美子, 寺田久屋<sup>\*</sup>, 田村征男<sup>\*</sup>, 外海泰秀: **食品中のフェノール系酸化防止剤の確認方法について**

日本食品衛生学会第 84 回学術講演会 ( 2002. 11 )

<sup>\*</sup>名古屋市衛生研究所

柴田敏郎, 成瀬ひとみ, 畠山好雄, 青柳光敏<sup>\*</sup>, 姉帯正樹<sup>\*</sup>: **栽培圃場の土壌硬度及び栽植密度がモッコウの生育, 収量, 生薬の品質に及ぼす影響**

日本生薬学会北海道支部第 26 回例会 ( 2002. 6 )

<sup>\*</sup>北海道立衛生研究所

姉帯正樹<sup>\*</sup>, 柴田敏郎, 熊谷健夫: **白芷の調製法と化学的品質評価**

日本生薬学会北海道支部第 26 回例会 ( 2002. 6 )

<sup>\*</sup>北海道立衛生研究所

Toshiro Shibata : **Studies on Cultivation of Glycyrrhizae Radix in Hokkaido, Japan**

The 1-st Medicinal Plants International Symposium in Xinjiang, China ( 2002. 8 )

山岸 喬<sup>\*1</sup>, 船木 稔<sup>\*1</sup>, 中村賀香<sup>\*1</sup>, 柴田敏郎, 石田正彦<sup>\*2</sup>, 本田優子<sup>\*3</sup>: **蝦夷地の薬物, アイヌのアタネについて**

日本薬学会 123 年会 ( 2003. 3 )

<sup>\*1</sup> 北見工業大学

<sup>\*2</sup> 東北農業研究センター

<sup>\*3</sup> 北海道立アイヌ民族文化研究センター

南 基泰<sup>\*1</sup>, 近藤誠三<sup>\*2</sup>, 菱田敦之, 細川敬三<sup>\*3</sup>, 佐竹元吉<sup>\*4</sup>, 柴田敏郎: **茵陳蒿の生産について (7) 沖縄産カワラヨモギ (*Artemisia capillaris*) 及びリュウキュウヨモギ (*A. campestris*) の頭花形態, 成分及び葉緑体 DNA の rpl16 及び rpl14 遺伝子間領域の比較**

日本薬学会 123 年会 ( 2003. 3 )

<sup>\*1</sup> 中部大学応用生物学部

<sup>\*2</sup> 小太郎漢方製薬(株)

<sup>\*3</sup> 兵庫大学健康科学部

<sup>\*4</sup> 日本薬剤師研修センター

山下 浩<sup>\*1</sup>, 高橋宣明<sup>\*1</sup>, 坂東英雄<sup>\*1</sup>, 畠山好雄<sup>\*2</sup>, 柴田敏郎: **ニシキギ科植物コマユミの成分研究 (2) ・アイヌ有用植物から**

日本薬学会 123 年会 ( 2003. 3 )

<sup>\*1</sup> 北海道薬科大学

<sup>\*2</sup> ゆにガーデン

柴田敏郎, 成瀬ひとみ, 沢井清道, 中根孝久, 関田節子: **寒冷地におけるマオウ (*Ephedra distachya*) の生育, アルカロイド及び無機成分含量について**

日本生薬学会北海道支部第 27 回例会 ( 2003. 5 )

Sekita, S. : **The study of standard compounds of crude drugs on Japanese Pharmacopoeia**

International Seminar on Harmonization of Oriental Herbal Medicines ( 2002. 9 )

Sekita, S. : **Aristolochic acids assay in Japanese Pharmacopoeia**

International Conference on Modernization of Traditional Chinese Medicine ( 2002. 10 )

Kiuchi, F. : **Anti-parasitic natural products**

The 33th Annual Meeting of the Korean Society of Pharmacognosy ( 2002. 12 )

松尾健児<sup>\*1</sup>, 木内文之, 伊藤美千穂<sup>\*1</sup>, 本多義昭<sup>\*1</sup>, Qui, T. K.<sup>\*2</sup>, 嶋田淳子<sup>\*3</sup>, 青木 孝<sup>\*3</sup>: **ベトナムで用いられる生薬に含まれる抗トリパノソーマ活性成分 - *Pogostemon cablin* について -**

日本薬学会第 123 年会 ( 2003. 3 )

<sup>\*1</sup> 京都大学大学院薬学研究科

<sup>\*2</sup> University of Ho Chi Min City

<sup>\*3</sup> 順天堂大学医学部

吉松嘉代, 関田節子, 山川 隆<sup>\*1</sup>: **トウキ形質転換及び非形質転換シュートの超低温保存**

日本生薬学会第 49 回年会 ( 2002. 9 )

<sup>\*1</sup> 東京大学大学院農学生命科学研究科

磯貝里子<sup>\*</sup>, 吉松嘉代, 東野 薫<sup>\*</sup>, 下村講一郎<sup>\*</sup>: **培養トコンシュートの生育及びアルカロイド生産に及ぼすジベレリンの影響**

日本薬学会第123年会(2003.3)

<sup>\*</sup>東洋大学生命科学部

吉松嘉代, 飯田 修, 木内文之, 関田節子, 牧野由起子<sup>\*</sup>: **国内でみられたケシの実態といわゆるボタンゲシの形態・アルカロイド**

日本薬学会第123年会(2003.3)

<sup>\*</sup>関東信越厚生局麻薬取締部

淵野裕之, 中根孝久, 高橋真理衣, 関田節子: **テンマ, キョウカツ, テンモンドウの確認試験法について**

日本生薬学会第49回年会(2002.9)

高橋真理衣, 淵野裕之, 関田節子, 佐竹元吉<sup>\*</sup>: **抗リシューマニア活性を有する薬用植物の探索(その3)**

日本生薬学会第49回年会(2002.9)

<sup>\*</sup>日本薬剤師研修センター

淵野裕之, 高橋真理衣, 関田節子, 佐竹元吉<sup>\*</sup>: **抗リシューマニア活性を有する薬用植物の探索(その4)**

日本薬学会第123年会(2003.3)

<sup>\*</sup>お茶の水女子大学

高橋真理衣, 淵野裕之, 関田節子, 佐竹元吉<sup>\*</sup>: **抗リシューマニア活性を有する薬用植物の探索(その5)ペル一産生薬 Yanali の活性成分について**

日本薬学会第123年会(2003.3)

<sup>\*</sup>お茶の水女子大学

菱田敦之, 淵野裕之, 飯田 修, 関田節子, 森田ゆかり<sup>\*</sup>, 細川敬三<sup>\*</sup>: **クソニンジン *Artemisia annua* の栽培研究 - 収穫時期と栽植密度 -**

日本生薬学会第49回年会(2002.9)

<sup>\*</sup>兵庫大学健康科学部

菱田敦之, 姉帯正樹<sup>\*1</sup>, 淵野裕之, 飯田 修, 関田節子, 香月茂樹, 細川敬三<sup>\*2</sup>: **葉緑体遺伝子 (*rpl16-rpl14* 及び *atpF-atpA*) spacer 領域の塩基配列解析に基づく *Achyranthes* 属植物の識別**

日本薬学会第123回年会(2003.3)

<sup>\*1</sup>北海道立衛生研究所

<sup>\*2</sup>兵庫大学健康科学部

中根孝久, 菱田敦之, 柴田敏郎, 飯田 修, 香月茂樹, 関田節子, 佐竹元吉<sup>\*</sup>: **マオウ科 *Ephedraceae* 植物のエフェドリン含量 - 国内栽培試験種及び国外野生種 -**

日本生薬学会第49回年会(2002.9)

<sup>\*</sup>日本薬剤師研修センター

中根孝久, Javier, L. R.<sup>\*1</sup>, Alim, C. V.<sup>\*1</sup>, Oribello, J.<sup>\*1</sup>, 石橋無味雄<sup>\*2</sup>, 佐竹元吉<sup>\*3</sup>, 関田節子: **フィリピン薬局方における生薬のTLC法を用いた確認試験の設定**

日本薬学会第123回年会(2003.3)

<sup>\*1</sup>BFAD

<sup>\*2</sup>JICA

<sup>\*3</sup>お茶の水女子大学

高上馬希重<sup>\*1</sup>, 村中俊哉<sup>\*1</sup>, 吉田茂男<sup>\*1</sup>, 飯田 修, 関田節子, 佐竹元吉<sup>\*2</sup>, 牧野由起子<sup>\*3</sup>: **パイオリソースのデータベース化 大麻 (*Cannabis sativa* L.) におけるDNA多型情報**

日本生薬学会第49回年会(2002.9)

<sup>\*1</sup>理化学研究所

<sup>\*2</sup>日本薬剤師研修センター

<sup>\*3</sup>関東信越厚生局麻薬取締部

飯田 修: **薬用植物の栽培・品質評価指針 Part10 薬用植物フォーラム2002(2002.7)**

尹永淑<sup>\*1</sup>, 井上麻里絵<sup>\*1</sup>, 功刀彰<sup>\*1</sup>, 佐竹元吉<sup>\*2</sup>, 香月茂樹: **食用カンナ (*Canna edulis*) のスーパーオキシド消去活性成分について**

日本薬学会第123年会(2003.3)

<sup>\*1</sup>東京薬科大学

<sup>\*2</sup>日本薬剤師研修センター

大根谷章浩<sup>\*</sup>, 香月茂樹, 北中 進<sup>\*</sup>: **クスノハガシワ (*Mallotus philippensis*) の抗アレルギー成分の研究(4)**

日本薬学会第123年会(2003.3)

<sup>\*</sup>日本大学薬学部

香月茂樹, 坂崎信之<sup>\*</sup>: **匍匐性ピーナッツ (*Arachis repens* Handro) の栽培と利用**

日本植物園協会第37回大会(2002.5)

<sup>\*</sup>名誉会員

香月茂樹, 坂崎信之<sup>\*1</sup>, 岡村隼人<sup>\*2</sup>, 滝川忠明<sup>\*2</sup>: **希少植物カンラン (*Canarium album* Raeusch.) の日本史と栽培**

日本植物園協会第37回大会(2002.5)

<sup>\*1</sup>名誉会員

<sup>\*2</sup>会員

大根谷章浩<sup>\*</sup>, 北中 進<sup>\*</sup>, 香月茂樹: **クスノハガシワ (*Mallotus philippensis*) の抗アレルギー成分の研究(3)**

日本生薬学会第49回年会(2002.9)

<sup>\*</sup>日本大学薬学部